



# ハードウェアおよびソフトウェア ガイド

## HP Compaq ノートブック シリーズ

製品番号 : 364598-291

**2005年1月**

このガイドでは、外付けデバイスのコネクタを含む、ノートブック コンピュータのハードウェア機能を確認および使用する方法や、コンピュータの電源およびセキュリティを管理する際の設定と手順について説明します。また、コンピュータを持ち運ぶ際に役立つ電力および環境要件や、トラブルを検出、解決、および防止するためにシステムの情報を入手する方法と診断用ユーティリティを使用する方法についても説明します。

© 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

SDロゴは、その所有者の商標です。

Bluetoothは、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいてHewlett-Packard Companyが使用しています。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術のあるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェアおよびソフトウェア ガイド

HP Compaq ノートブック シリーズ

初版 2005年1月

参照番号：nc6220、nc6230

製品番号：364598-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

---

# 目次

## 1 各部の名称

表面の各部	1-1
ランプ	1-1
ポインティング デバイス	1-3
ボタン	1-4
キー	1-6
前面の各部	1-7
背面の各部	1-8
右側面の各部	1-9
左側面の各部	1-10
裏面の各部	1-12
その他のハードウェア コンポーネント	1-14
その他のコンポーネント	1-15
オプティカル ディスク	1-15
ラベル	1-16

## 2 電源

電源ボタン類とランプの位置	2-1
電力の供給	2-3
スタンバイおよびハイバネーション	2-4
スタンバイ	2-4
ハイバネーション	2-5
スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行	2-6
デフォルトの電源設定	2-8
ノートブック コンピュータまたはディスプレイの オン/オフ	2-8
ハイバネーションからの復帰または起動	2-9
スタンバイからの復帰または起動	2-10
緊急停止手順の使用	2-11

---

電源オプション .....	2-11
[電源オプションのプロパティ]へのアクセス .....	2-12
[電源メーター]アイコンの表示 .....	2-12
電源設定の指定または変更 .....	2-13
セキュリティ パスワードの使用 .....	2-13
プロセッサ パフォーマンスの制御 (一部のモデルのみ) .....	2-14
バッテリ パック .....	2-16
バッテリ パックの概要 .....	2-17
メイン バッテリ パックの装着と取り外し .....	2-18
バッテリ パックの充電 .....	2-20
バッテリ パックの充電の監視 .....	2-22
ローバッテリ 状態の対処 .....	2-24
バッテリ ゲージの調整 .....	2-26
バッテリ の節電 .....	2-30
バッテリ パックの保管 .....	2-32
使用済みのバッテリ パックの処理 .....	2-33
<b>3 ポイントティング デバイスおよびキーボード</b>	
ポイントティング デバイス .....	3-1
タッチパッドの使用 .....	3-2
ポイントティング スティックの使用 .....	3-3
マウス機能のカスタマイズ .....	3-4
ホットキー .....	3-5
ホットキーのクリック リファレンス .....	3-5
ホットキー コマンドの使用 .....	3-6
外付けキーボードでのホットキーの使用 .....	3-8
Quick Launch Buttons .....	3-9
Quick Launch Buttons の位置 .....	3-9
Quick Launch Buttons ソフトウェアの使用 .....	3-10
Info Center .....	3-16
テンキー .....	3-17
内蔵テンキーの使用 .....	3-17
外付けテンキーの使用 .....	3-19

---

<b>4 マルチメディア</b>	
オーディオ機能	4-1
オーディオ入力（マイク）コネクタの使用	4-2
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用	4-2
音量の調整	4-3
ビデオ機能	4-4
Sビデオ出力コネクタの使用	4-5
モニタまたはプロジェクタの接続	4-6
マルチメディアソフトウェア	4-7
著作権に関する警告について	4-8
ソフトウェアのインストール	4-8
自動再生の有効化	4-9
DVDの地域設定の変更	4-10
<b>5 ドライブ</b>	
ドライブの取り扱い上の注意	5-1
IDE ドライブ ランプ	5-3
メイン ハードドライブ	5-3
マルチベイII ハードドライブ	5-8
ハードドライブ モジュールの挿入	5-8
ハードドライブ モジュールの取り出し	5-9
マルチベイII オプティカル ドライブの使用	5-10
オプティカル ドライブの挿入	5-10
オプティカル ドライブの取り出し	5-11
オプティカル ディスクの使用	5-12
<b>6 PCカード</b>	
PCカードとは	6-1
挿入	6-2
取り出し	6-3
<b>7 SDカード</b>	
SDカードとは	7-1
挿入	7-2
取り出し	7-3

**8 メモリ モジュール**

メモリ モジュールとは	8-1
拡張メモリ モジュールスロット	8-2
メインメモリ モジュールスロット	8-7
ハイバネーション ファイル	8-12

**9 USBデバイス**

USBとは	9-1
USBデバイスの接続	9-2
オペレーティング システムおよびソフトウェア	9-2
USBレガシー サポート	9-3

**10 モデムおよびネットワーク接続**

内蔵モデム	10-1
モデム ケーブルの使用	10-2
各国仕様のモデム ケーブルアダプタの使用	10-3
モデムの使用国の選択	10-4
プリインストールされている通信ソフトウェア	10-9
ネットワーク	10-9

**11 無線**

無線ローカルエリア ネットワーク（一部のモデルのみ）	11-3
社内無線LANへの無線ノートブック コンピュータの接続	11-4
公共の無線LANへの無線ノートブック コンピュータの接続	11-4
自宅での無線LANの設定	11-5
無線LAN接続の使用	11-6
無線セキュリティ機能の使用	11-7
無線ソフトウェアのインストール（オプション）	11-7
デバイスのトラブルシューティング	11-9
Bluetooth（一部のモデルのみ）	11-10
デバイスの電源状態	11-12
デバイスの電源投入	11-14
デバイスの電源切断および無効化	11-15
赤外線通信	11-16
赤外線転送の設定	11-17
赤外線転送中のスタンバイの使用	11-17
Mobile Printing	11-18

## 12 セキュリティ

セキュリティの機能	12-1
[Computer Setup]でのセキュリティ設定	12-3
パスワード	12-4
HPパスワードとWindowsのパスワード	12-4
HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン	
HP管理者パスワード	12-6
HP管理者パスワードの設定	12-7
HP管理者パスワードの入力	12-8
電源投入時パスワード (Power-On Password)	12-9
電源投入時パスワードの設定	12-9
電源投入時パスワードの入力	12-10
再起動時の電源投入時パスワードの要求	12-11
DriveLock (ドライブロック)	12-11
DriveLockパスワードの設定	12-12
DriveLockパスワードの入力	12-13
再起動時のDriveLockパスワードの要求	12-14
DriveLockパスワードの変更	12-15
DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除	12-16
デバイスセキュリティ	12-17
システム情報	12-18
[システム情報]オプションの設定	12-19
ウィルス対策ソフトウェア	12-20
ファイアウォールソフトウェア	12-21
Windows XPの緊急セキュリティアップデート	12-23
スマートカードリーダーの使用	12-24
スマートカードの挿入	12-25
スマートカードの取り出し	12-26
HP ProtectToolsセキュリティマネージャ	
(一部のモデルのみ)	12-27
Embedded Security for ProtectTools	12-27
Credential Manager for ProtectTools	12-28
BIOS Configuration for ProtectTools	12-29
Smart Card Security for ProtectTools	12-30
別売のセキュリティロックケーブル	12-31

**13 [Computer Setup]**

[Computer Setup]へのアクセス .....	13-2
[Computer Setup]のデフォルト設定 .....	13-3
[File] (ファイル) メニュー .....	13-4
[Security] (セキュリティ設定) メニュー .....	13-5
[Tools] (ツール) メニュー .....	13-6
[Advanced] (詳細設定) メニュー .....	13-6

**14 ソフトウェアの更新と修復**

ソフトウェアの更新 .....	14-1
ノートブック コンピュータ情報へのアクセス .....	14-2
インターネット上のソフトウェア .....	14-3
システムROMのダウンロード .....	14-3
その他のソフトウェアのダウンロード .....	14-5
システムの復元 .....	14-6
データの保護 .....	14-6
Altiris Local Recovery .....	14-7
[システムの復元] ポイントの使用 .....	14-8
アプリケーションの修復または再インストール .....	14-9
ハードドライブからのアプリケーションの 再インストール .....	14-9
オペレーティング システムの修復 .....	14-10
オペレーティング システムの再インストール .....	14-11
デバイス ドライバとその他のソフトウェアの 再インストール .....	14-12

**15 ノートブック コンピュータの手入れ**

温度 .....	15-2
ノートブック コンピュータ本体 .....	15-2
キーボード .....	15-3
ディスプレイ .....	15-4
タッチパッド .....	15-4
外付けマウスの清掃 .....	15-5

**16 持ち運びおよび送付**

持ち運びおよび送付の準備 .....	16-1
持ち運びの際の注意 .....	16-2

**A 仕様**

作業環境 .....	A-1
定格入力電源 .....	A-2

**B マルチブート**

デフォルトのブート シーケンス .....	B-2
[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの設定 .....	B-4
マルチブートの結果 .....	B-5
マルチブート設定 .....	B-6
新しいデフォルトのブート シーケンスの設定 .....	B-6
MultiBoot Express画面の設定 .....	B-7
MultiBoot Express設定の入力 .....	B-8

**C Client Management Solutions**

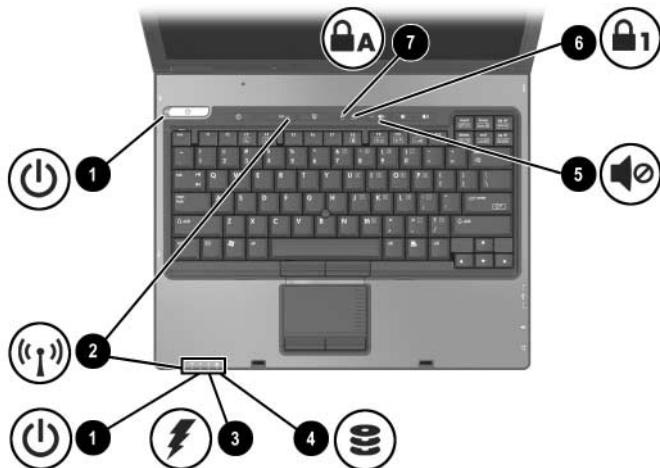
出荷時設定の変更 .....	C-2
ソフトウェアの管理とアップデート .....	C-3
HP Client Manager Software .....	C-3
Altiris PC Transplant Pro .....	C-5
System Software Manager .....	C-6

**索引**

## 各部の名称

### 表面の各部

#### ランプ

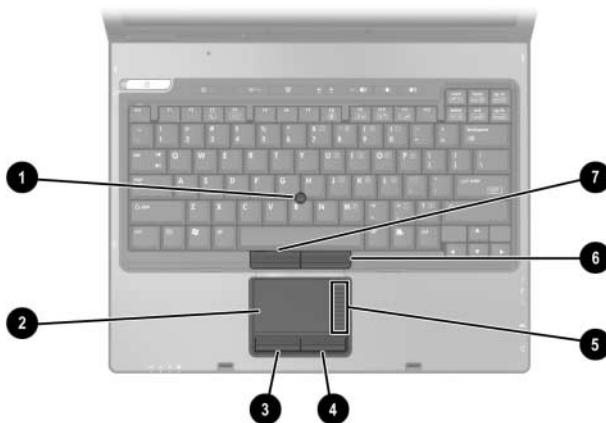


名称	機能
<b>①</b> 電源/スタンバイ ランプ (×2)	点灯：ノートブック コンピュータの電源がオンになっています 点滅：ノートブック コンピュータがスタンバイ モードになっています
<b>②</b> 無線ランプ (×2)	内蔵無線デバイスがオンになっているときに点灯します

(続く)

名称	機能
③ バッテリ ランプ	オレンジ色に点灯：バッテリ パックが充電中です 緑色に点灯：バッテリ パックが完全充電時に近い状態です オレンジ色に点滅：電源にバッテリ パックのみを使用している状態で、ローバッテリ状態になっています。完全なローバッテリ状態になると、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます 消灯：ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、コンピュータのすべてのバッテリが完全に充電されるとバッテリ ランプが消灯します。コンピュータが外部電源に接続されていない場合は、ローバッテリ状態になるまでランプが消灯したままになります
④ Integrated Drive Electronics (IDE) ドライブランプ	ハードドライブ ベイまたはマルチベイII内のドライブにアクセスしているときに点灯します
⑤ ミュート ランプ	システムの音量が消音されているときに点灯します
⑥ Num Lockランプ	Num Lockがオンのときまたは内蔵テンキーが使用可能なときに点灯します
⑦ Caps Lockランプ	Caps Lockがオンのときに点灯します

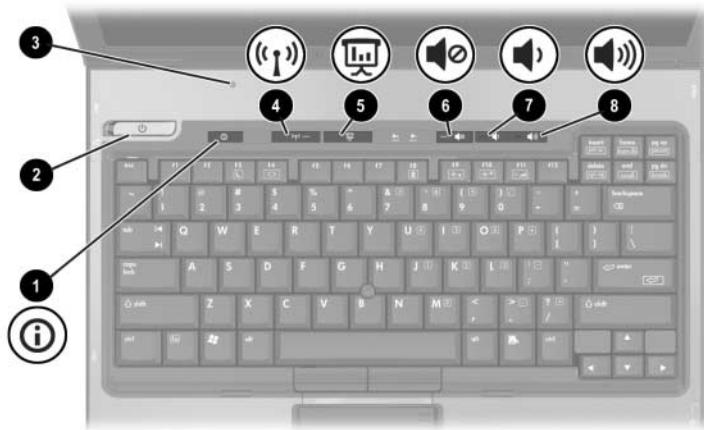
## ポインティング デバイス



名称	機能
① ポインティング スティック	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
② タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします。スクロールやダブルクリックなど、他のマウス機能も実行するよう設定できます
③ 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
④ 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑤ タッチパッドのスクロール ゾーン*	画面を上下にスクロールします
⑥ 右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑦ 左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します

\*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの機能の変更については、「[第3章 ポインティング デバイス およびキーボード](#)」の「タッチパッドの使用」を参照してください。

## ボタン



名称	機能
① Info Center Button (Info Centerボタン)	よく使用するソフトウェア ソリューションの一覧を表示します
② 電源ボタン*	<p>ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートブック コンピュータの電源が切れているときに押して離すと、電源が入ります</li> <li>■ スタンバイ モードのときに押して離すと、スタンバイが終了します</li> <li>■ ハイバネーション モードのときに押して離すと、ハイバネーションが終了します</li> </ul> <p>システムが応答せず、Microsoft® Windows®のシャットダウン手順を実行できないときは、5秒間程度ボタンを左方向に押したままにすると、ノートブック コンピュータの電源が切れます</p>

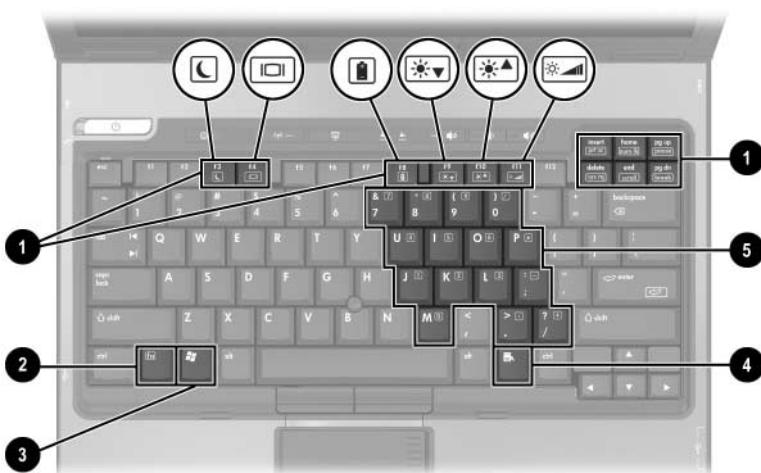
\*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源の機能の変更については、「[第2章 電源](#)」の「[電源オプション](#)」を参照してください。

(続く)

名称	機能
③ ディスプレイスイッチ*	ノートブックコンピュータの電源が入ったままディスプレイを閉じたときに、スタンバイを起動します
④ 無線ボタン*	無線LANおよびBluetooth®デバイスの有効/無効を切り替えます
⑤ Presentation Mode Button (プレゼンテーションモードボタン)	プレゼンテーションモードをオンにします
⑥ ミュートボタン	ノートブックコンピュータの音量を消音(ミュート)します
⑦ 音量下げボタン	ノートブックコンピュータの音量を下げます
⑧ 音量上げボタン	ノートブックコンピュータの音量を上げます

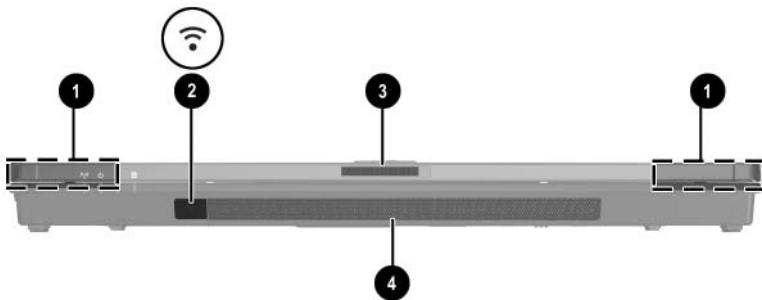
\*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源の機能の変更については、「[第2章 電源](#)」の「[電源オプション](#)」を参照してください。無線機能の使用については、「[第11章 無線](#)」の「[デバイスの電源状態](#)」を参照してください。

## キー



名称	機能
❶ ファンクションキー ([f3]、[f4]、および[f8]～[f10])	[fn]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
❷ [fn]キー	ファンクションキーまたは[esc]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
❸ Windowsロゴキー	Microsoft Windowsの[スタート]メニューを表示します
❹ Windowsアプリケーションキー	マウスポインタが指しているアイテムのショートカットメニューを表示します
❺ 内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます

## 前面の各部



名称	機能
① 無線アンテナ (×2) *	無線デバイスの信号を送受信します
	<p><b>⚠ 警告 :</b> 無線周波放射を浴びる場合            電波産業会 (ARIB、<a href="http://www.arib.or.jp">http://www.arib.or.jp</a>) の            電波防護標準規格 (RCR STD-38) によれば、人体に許容できる電力密度は、2.4 GHz            帯で、1 mW/cm<sup>2</sup> とされています。弊社の            無線LAN 製品では、ノートブック コン            ピュータのディスプレイを閉じた場合を含            めて、アンテナから 20 cm 離れた場所で約            0.0063 mW/cm<sup>2</sup> 程度で、問題のないレベル            となっています。ただし、ペースメーカー            や医療機器、航空機の計器類には、携帯電            話やPHS同様、障害を与える恐れがありま            すので、携帯電話やPHS等と同様の使用            ルールに従うようにしてください</p>
② 赤外線ポート	別売のIrDA互換デバイスとの間で無線通信を行 います
③ ディスプレイリリースラッチ	ノートブックコンピュータを開けるときにスライ ドさせます
④ スピーカ (×2)	ノートブックコンピュータのサウンドを出力し ます

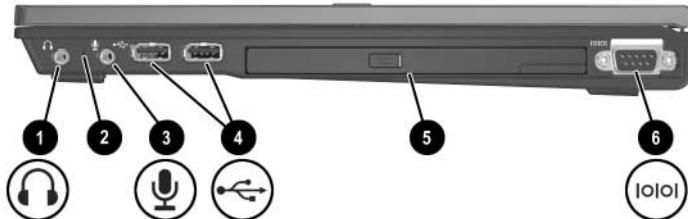
\*アンテナは一部のモデルでのみ使用可能で、ノートブックコンピュータの外側からは見えません。最適な転送のため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

## 背面の各部



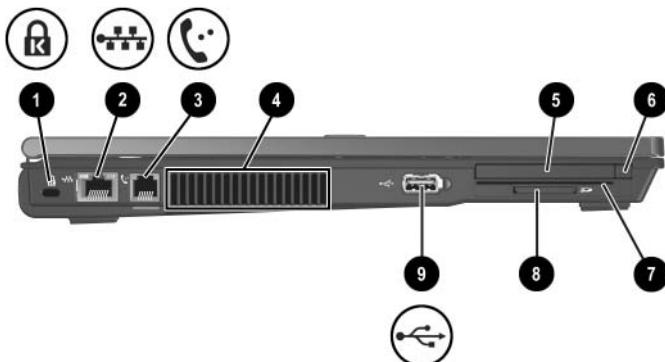
名称	機能
① 外付けモニタ ポート	別売の外付けモニタやオーバーヘッド プロジェクタを接続します
② 電源コネクタ	ACアダプタまたはカー アダプタ（別売）を接続します
③ Sビデオ出力コネクタ	2つの用途がある、7ピンのコネクタです テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッド プロジェクタ、ビデオ キャプチャカードなどの別売のSビデオ機器を、別売の標準（4ピン）Sビデオ ケーブルで接続します 追加の3ピンを使用して、別売のSビデオ-コンポジットアダプタをノートブック コンピュータに接続することもできます

## 右側面の各部



名称	機能
❶ オーディオ出力（ヘッドフォン） コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカ、ヘッドフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続したときに、システムのサウンドを出力します
❷ 内蔵マイク	サウンドを録音します
❸ オーディオ入力（マイク） コネクタ	別売のマイクを接続します
❹ USBポート（×2）	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをノートブックコンピュータに接続します
❺ マルチベイII	マルチベイIIデバイスを挿入します
❻ シリアルポート	別売のシリアルデバイスを接続します

## 左側面の各部



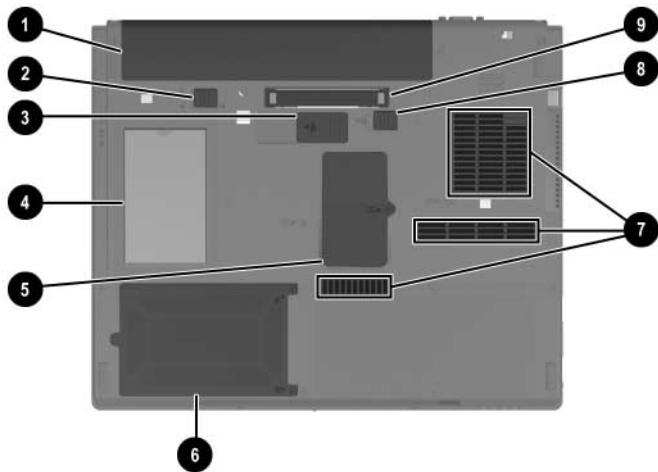
名称	機能
❶ セキュリティ ロック ケーブル用 スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルでノート ブック コンピュータを固定物に接続すること によって、盗難を防止します
	 注意：セキュリティ機能は、誤った取り 扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や 誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
❷ RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
❸ RJ-11 (モデム) コネクタ	モデム ケーブルを接続します
❹ 通気孔	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないよ うに空気を通します
	 注意：コンピュータの温度が上がりすぎ ると、システムが予期しないタイミング で停止する場合があります。通気孔はふ さがないように注意してください。枕や 毛布のように柔らかい物の上でコン ピュータを使用したりすると、空気の流 れを妨げる原因となりますのでお止めく ださい

(続く)

名称	機能
⑤ PCカード スロット	別売のType IまたはType II PCカードに対応しています
⑥ PCカード イジェクト ボタン	PCカードをPCカード スロットから取り出します
⑦ スマート カード リーダー	スマート カードを挿入します
⑧ SDカード スロット	SD (Secure Digital) メモリ カードを挿入します
⑨ USBポート	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをノートブック コンピュータに接続します

## 裏面の各部

以下の図と表に、ノートブックコンピュータ裏面の各部およびその説明を示します。



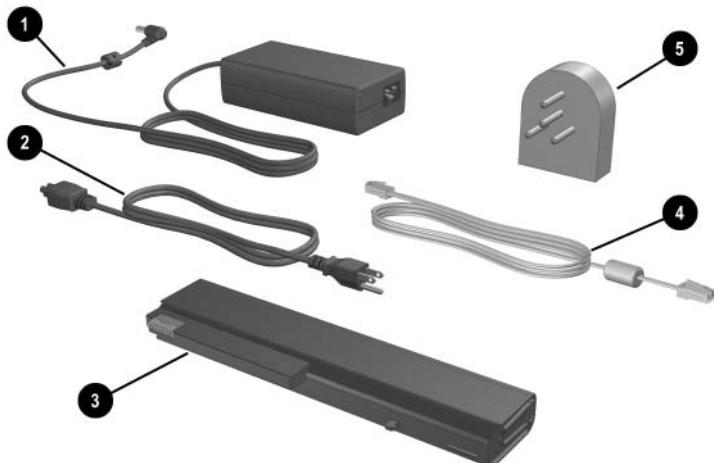
名称	機能
① メイン バッテリ ベイ	メイン バッテリ パックを装着します
② メイン バッテリ 固定ラッチ	メイン バッテリ パックをバッテリ ベイに固定します
③ トラベル バッテリ コネクタ	別売のトラベル バッテリを装着します
④ 名刺ホルダ	標準サイズの名刺を入れます
⑤ 拡張メモリ モジュール コンパートメント	別売のメモリ モジュール1基を取り付けます
⑥ ハード ドライブ ベイ	メイン ハード ドライブを装着します

(続く)

名称	機能
⑦ 通気孔（×3）	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します
	 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりすると、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
⑧ メインバッテリリリースラッチ	バッテリベイからメインバッテリパックを取り外します
⑨ ドッキングコネクタ	ノートブックコンピュータを別売のドッキングデバイスに接続します

## その他のハードウェア コンポーネント

以下の図と表に、ノートブック コンピュータに同梱の器具およびその説明を示します。



名称	機能
① ACアダプタ	AC電源をDC電源に変換します
② 電源コード*	ACアダプタと電源コンセントを接続します
③ メイン バッテリ パック*	ノートブック コンピュータが外部電源に接続されていないときに、コンピュータを動作させます
④ モデム ケーブル*	内蔵のモデムを電話コネクタまたは各国仕様のモデム アダプタに接続するときに使用します
⑤ モデム アダプタ*	モデム ケーブルをRJ-11電話コネクタ以外のコネクタに接続するときに使用します

\*電源コード、モデム ケーブル、およびモデム アダプタは、地域や国によって外観が異なります。バッテリ パックの種類は、モデルによって異なります。

## その他のコンポーネント

### オプティカル ディスク

ノートブック コンピュータのすべてのモデルには、ソフトウェアが収録されたCDやDVDなどのオプティカルディスクが付属しています。

- 同梱の「セットアップに必要です」と書かれた袋に入っているソフトウェアは、ノートブック コンピュータにはプリインストールされていません。コンピュータの使用方法に応じて、これらのアプリケーションの一部またはすべてをインストールすることができます。
- 同梱の「大切に保管しておいてください」と書かれた袋に入っているソフトウェアは、ノートブック コンピュータにプリインストールまたはプリロードされています。ソフトウェアが収録されているディスクは、ソフトウェアの修復または再インストールを行う場合に使用します。
  - ノートブック コンピュータと一緒に包装されているその他のディスクには、オペレーティング システムおよびドライバのリカバリ ソフトウェアが収録されています。アプリケーションのリカバリ ソフトウェアは、一部のモデルにのみ付属しています。
  - Notebook Documentation CD (ノートブック ドキュメンテーションCD) には、ソフトウェアではなく Adobe® PDF ファイルが収録されています。Notebook Documentation CDに収録されているファイルは、ノートブック コンピュータにプリインストールまたはプリロードされていません。

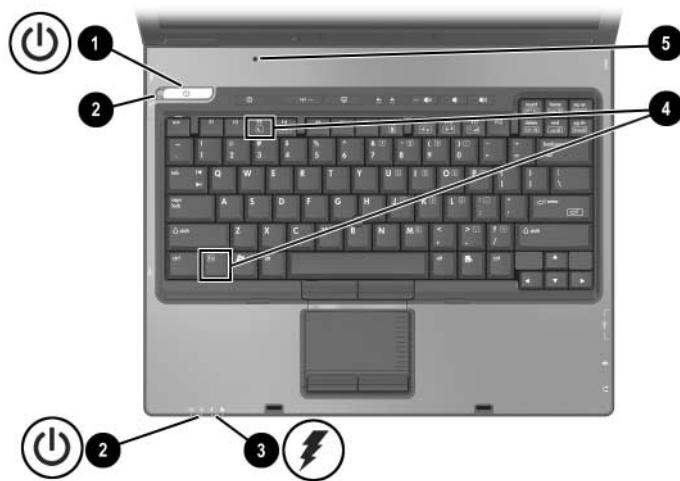
## ラベル

ノートブック コンピュータに付いているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピュータを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：コンピュータの製品名、製品番号 (P/N)、およびシリアル番号 (S/N) が記載されています。製品番号およびシリアル番号は、サポート窓口に問い合わせるときに必要です。サービス タグ ラベルは、コンピュータの裏面に付いています。サービス タグに記載されている情報をコンピュータの画面に表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
- Microsoft Certificate of Authenticity : Microsoft Windows のプロダクトキー (Product Key、Product ID) が記載されています。プロダクトキーは、オペレーティング システムのアップデートまたは問題解決のときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピュータの裏面に付いています。
- 規定ラベル：コンピュータの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリ ベイの内側に付いています。
- モデム認定/認証ラベル：モデムの規定に関する情報、および各国でのモデムの認定/認証マークや番号の一覧が記載されています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。モデム認定/認証ラベルは、メモリ コンパートメント カバーの内側に付いています。
- 無線認定/認証ラベル：コンピュータの一部のモデルには、オプションの無線LANデバイスやBluetooth®デバイスが付属しています。お使いのコンピュータに1つ以上の無線デバイスが付属している場合は、それぞれのデバイスの規定に関する情報、および各国でのデバイスの認定/認証マークや番号の一覧が記載されたラベルが付いています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、ミニPCIコンパートメント カバーの内側に付いています。

## 電源

## 電源ボタン類とランプの位置



名称	機能
❶ 電源ボタン*	<p>ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートブック コンピュータの電源が切れているときに押して離すと、電源が入ります</li> <li>■ スタンバイ モードのときに押して離すと、スタンバイが終了します</li> <li>■ ハイバネーション モードのときに押して離すと、ハイバネーションが終了します</li> </ul> <p>システムが応答せず、Microsoft Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、5秒間程度ボタンを左方向に押したままになると、ノートブック コンピュータの電源が切れます</p>
❷ 電源/スタンバイ ランプ	<p>点灯：ノートブック コンピュータの電源がオンになっています</p> <p>点滅：ノートブック コンピュータがスタンバイ モードになっています</p>
❸ バッテリ ランプ	<p>オレンジ色に点灯：バッテリ パックが充電中です</p> <p>緑色に点灯：バッテリ パックが完全充電時に近い状態です</p> <p>オレンジ色に点滅：電源にバッテリ パックのみを使用している状態で、ローバッテリ状態になっています。完全なローバッテリ状態になると、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます</p> <p>消灯：ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、コンピュータのすべてのバッテリが完全に充電されるとバッテリ ランプが消灯します。コンピュータが外部電源に接続されていない場合は、ローバッテリ状態になるまでランプが消灯したままになります</p>

\*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源の機能の変更については、この章の「[電源オプション](#)」を参照してください。

(続く)

名称	機能
④ [fn]+[f3]キー	スタンバイを起動します
⑤ ディスプレイスイッチ*	ノートブックコンピュータの電源が入ったままディスプレイを閉じたときに、スタンバイを起動します

\*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源の機能の変更については、この章の「[電源オプション](#)」を参照してください。

## 電力の供給

このノートブックコンピュータは、内部または外部電力で動作できます。以下の表で、一般的な作業に最適な電源について説明します。

作業	推奨される電源
一般的なソフトウェアアプリケーションを使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 充電済みのバッテリパックをノートブックコンピュータに装着します</li> <li>■ 次の機器の1つから外部電力を供給します <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 付属のACアダプタ</li> <li>□ 別売のACアダプタ</li> <li>□ 別売のドッキングデバイス</li> <li>□ 別売のカーアダプタ</li> </ul> </li> </ul>
ノートブックコンピュータのバッテリパックを充電または調整する	<p>次の機器から外部電力を供給します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACアダプタ</li> <li>■ 別売のドッキングデバイス</li> <li>■ 別売のカーアダプタ</li> </ul>
システムソフトウェアをインストールまたは変更する、またはCDやDVDに書き込む	<p>次の機器から外部電力を供給します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACアダプタ</li> <li>■ 別売のドッキングデバイス</li> </ul>

## スタンバイおよびハイバネーション

スタンバイおよびハイバネーションは省電力機能であり、電力を節約し、起動時間を短縮します。スタンバイおよびハイバネーションは、ユーザまたはシステムが起動できます。それぞれの設定の使用条件について詳しくは、この章の「[スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行](#)」を参照してください。

### スタンバイ



**注意:** 完全なローバッテリ状態になることを防ぐため、お使いのノートブックコンピュータを長時間スタンバイ状態にしておかいでください。コンピュータは外部電源に接続してください。

スタンバイは、使用されていないシステムコンポーネントへの電力供給を少なく抑えます。スタンバイが起動されると、データがランダムアクセスメモリ (RAM) に保存され、画面がクリアされます。ユーザがスタンバイから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。

- 通常、スタンバイを起動する前にデータを保存する必要はありませんが、念のため保存しておくことをお勧めします。
- ノートブックコンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイランプが点滅します。

## ハイバネーション



**注意:** ハイバネーションの起動中にノートブック コンピュータのシステムのコンフィギュレーションを変更すると、ハイバネーションから復帰できなくなることがあります。ハイバネーションの起動中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ノートブック コンピュータを、ドッキング デバイスに取り付けたり取り外したりしないでください。
- メモリ モジュールを着脱しないでください。
- ハードドライブを着脱しないでください。
- 外付けデバイスを取り付けたり取り外したりしないでください。
- PC カードやSD (Secure Digital) メモリ カードを挿入したり取り出したりしないでください。

ハイバネーションは省電力機能の1つで、データをハードドライブのハイバネーション ファイルに保存した後、ノートブック コンピュータの電源を切る保護機能でもあります。ハイバネーションから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。電源投入時パスワード (Power-on password) が設定されている場合は、ハイバネーションから復帰するときにパスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションは、無効に設定することができます。ただし、ハイバネーションが無効に設定されており、ノートブック コンピュータがローバッテリ状態に達した場合、コンピュータの電源がオンまたはスタンバイ状態のときにデータは自動的に保存されません。

ハイバネーションが無効に設定されている場合、[電源オプション] ウィンドウに**[休止状態]**オプションは表示されません。[電源オプション] ウィンドウで**[休止状態]**オプションを選択するには、ハイバネーションを有効にしておく必要があります。

ハイバネーションが有効に設定されているかを確認するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

## スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行

ここでは、スタンバイやハイバネーションの起動、およびノートブックコンピュータの電源切断をいつ行うかについて説明します。

### 作業を中断する場合

スタンバイを起動すると画面がクリアされ、通常の動作時より消費電力が抑えられます。スタンバイ状態から復帰すると、直ちに画面が元の状態に戻ります。

ハイバネーションを起動すると画面がクリアされ、データがハードドライブに保存され、スタンバイより消費電力をさらに少なく抑えることができます。

長時間ノートブックコンピュータを外部電力に接続しない場合は、バッテリパックの寿命を延ばすためにコンピュータの電源を切り、バッテリパックを取り出しておくことをお勧めします。バッテリパックの保管方法について詳しくは、この章の「[バッテリパックの保管](#)」を参照してください。

## 電力の供給が不安定な場合

ハイバネーションが有効に設定されていることを確認します。バッテリ電源を使用しており、外部電源に接続できない場合は特に注意してください。バッテリパックが消耗すると、ハイバネーションによりデータがハイバネーションファイルに保存され、ノートブックコンピュータの電源が切れます。

電力の供給が不安定なときに作業を中断する場合は、次の操作のどれかを行うことをお勧めします。

- ハイバネーションを起動する
- ノートブックコンピュータの電源を切断する
- データを保存してからスタンバイを起動する

## 赤外線通信またはオプティカル ドライブ メディアの使用中

再生の停止または再生品質の低下を防ぐため、CDやDVDなどのドライブメディアの再生中はスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

- ノートブックコンピュータがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合、赤外線またはBluetoothによる通信を開始できません。
- オプティカルドライブメディア(CDまたはDVDなど)を使用中に、誤ってハイバネーションまたはスタンバイを起動した場合、次のことが発生します。
  - 再生が中断される場合があります。
  - [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]を選択します。
  - オーディオやビデオの再生を再開する必要があることがあります。

## デフォルトの電源設定

次の表では、ノートブック コンピュータの工場出荷時の電源設定について説明します。ほとんどの設定は、ユーザの好みに応じて変更することができます。電源設定を変更する方法について詳しくは、この章の「[電源オプション](#)」を参照してください。

### ノートブック コンピュータまたはディスプレイのオン/オフ

操作	手順	結果
ノートブック コンピュータの電源を入れる	電源ボタンを押して離します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが点灯します</li> <li>■ オペレーティング システムがロードされます</li> </ul>
ノートブック コンピュータの電源を切る*	<p>データを保存し、開いているすべてのアプリケーションを閉じます。以下のどちらかの手順で操作します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源ボタンを押して離し、画面の指示（表示される場合）に従ってノートブック コンピュータの電源を切ります</li> <li>■ オペレーティング システムを使用してノートブック コンピュータの電源を切ります。 [スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが消灯します</li> <li>■ オペレーティング システムが終了します</li> <li>■ ノートブック コンピュータの電源が切れます</li> </ul>

\*システムが応答せず、この手順でノートブック コンピュータの電源を切ることができない場合は、この章の「[緊急停止手順の使用](#)」を参照してください。

## ハイバネーションからの復帰または起動

操作	手順	結果
ハイバネーションを起動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ [スタート]→[終了オプション]→[休止状態]の順に選択します ([休止状態]オプションが表示されない場合は、[shift]キーを押したままにします)</li> <li>■ ハイバネーションが設定されている場合は、電源ボタンを押します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが消灯します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
システムによってハイバネーションを起動する（ハイバネーションが有効に設定されている場合）	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートブック コンピュータがバッテリ電源で動作している場合は、30分間ノートブックコンピュータを使用していないとき、または装着されているバッテリパックが完全なローバッテリ状態になったときにハイバネーションが起動します</li> <li>■ ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、ハイバネーションは起動しません</li> </ul> <p>電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが消灯します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
ユーザまたはシステムによって起動されたハイバネーションから復帰する	<p>電源ボタンを押して離します</p> <p> 完全なローバッテリ状態からハイバネーションが起動された場合は、外部電源に接続するか充電済みのバッテリパックを装着してから電源ボタンを押します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが点灯します</li> <li>■ 画面が元の状態に戻ります</li> </ul>

## スタンバイからの復帰または起動

操作	手順	結果
スタンバイを起動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートブック コンピュータの電源が入った状態で、[fn]+[f3]キーを押します</li> <li>■ ディスプレイを閉じます</li> <li>■ [スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します（[スタンバイ]オプションが表示されない場合は、[shift]キーを押します）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが点滅します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
システムによってスタンバイを起動する	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートブック コンピュータがバッテリ電源で動作している場合、10分間コンピュータを使用しないとスタンバイが起動します（デフォルト設定）</li> <li>■ ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、スタンバイは起動しません</li> </ul> <p>電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが点滅します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
ユーザまたはシステムによって起動されたスタンバイから復帰する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源ボタンを押して離します</li> <li>■ ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときにディスプレイを閉じた場合は、ディスプレイを開きます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイ ランプが点灯します</li> <li>■ 画面が元の状態に戻ります</li> </ul>

## 緊急停止手順の使用



**注意:**緊急停止手順を実行したときに重要なデータが失われることを防ぐため、データは定期的に保存してください。

ノートブック コンピュータがWindowsの通常のシャットダウン手順に応答しない場合は、記載されている順に次の緊急停止手順を試みてください。

- [ctrl]+[alt]+[delete]キーを押し、ドロップダウンリストから[シャットダウン]を選択してから[OK]を選択します。
- 電源ボタンを5秒間以上押し続けます。
- ノートブック コンピュータを外部電源から切断して、バッテリ パックを取り外します。バッテリ パックを取り外す方法については、この章の「[メイン バッテリ パックの装着と取り外し](#)」を参照してください。

## 電源オプション

ほとんどのデフォルトの電源設定は、Windowsの[コントロール パネル]で変更できます。たとえば、バッテリ パックがローバッテリ状態になったときに警告音を鳴らすように設定できます。また、電源ボタンのデフォルトの設定も変更できます。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータの電源が入っている状態で、以下の機能を使用できます。

- [fn]+[f3]ホットキー（オペレーティング システムでは「スリープ ボタン」と呼ばれます）を押すと、スタンバイが起動します。
- ディスプレイスイッチによりスタンバイが起動します。ディスプレイスイッチは、ディスプレイを閉じると機能します。（デフォルトおよびカスタム設定で、ディスプレイスイッチには、ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときにディスプレイを開くとスタンバイから復帰する機能もあります。）

## [電源オプションのプロパティ]へのアクセス

[電源オプションのプロパティ]にアクセスするには、以下の手順で操作します。

» 通知領域の[電源メーター]アイコンをダブルクリックします。

または

» [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

## [電源メーター]アイコンの表示

デフォルトでは、[電源メーター]アイコンは通知領域に表示されます。このアイコンは、ノートブックコンピュータがバッテリパックまたは外部電源のどちらで動作しているかを示す形に変わります。アイコンをダブルクリックすると、[電源オプションのプロパティ]が表示されます。

通知領域の[電源メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプション]を表示します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [アイコンをタスクバーに常に表示する]チェックボックスをオンまたはオフにします。
4. [適用]を選択します。
5. [OK]を選択します。



通知領域に配置したアイコンが見当たらない場合は、アイコンが隠れている可能性があります。通知領域の矢印または太い縦線をクリックして拡大し、隠れているアイコンが表示されるようにします。

## 電源設定の指定または変更

[電源オプションのプロパティ]の[電源設定]タブでは、システムコンポーネントに電源レベルを割り当てることができます。ノートブックコンピュータがバッテリーパックと外部電源のどちらで動作しているかによって、異なる電源設定を割り当てることができます。

また、指定した時間が経過した後にスタンバイを起動するように、またはディスプレイかハードドライブの電源を切断するように電源レベルを設定できます。

電源レベルを設定するには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプションのプロパティ]の[電源設定]タブを表示します。
2. 変更する電源設定を選択して、画面上の一覧のオプションを調節します。
3. [適用]を選択します。

## セキュリティ パスワードの使用

ノートブックの電源を入れたり、スタンバイまたはハイバネーションから復帰したりするときにパスワード入力を求めるように、セキュリティ機能を追加することができます。

パスワード入力を求めるように設定するには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプションのプロパティ]の[詳細設定]タブを表示します。
2. [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]チェックボックスをオンにします。
3. [適用]を選択します。

セキュリティパスワードの使い方について詳しくは、「[第12章 セキュリティ](#)」を参照してください。

## プロセッサ パフォーマンスの制御 (一部のモデルのみ)

一部のノートブック コンピュータ モデルでは、Windows XPでプロセッサのパフォーマンスを制御するための独自のソフトウェアがインストールされています。中央演算処理装置 (CPU) の速度を最適のパフォーマンス モードに設定でき、電力消費を最適に設定できます。

たとえば、電源が外部電力からバッテリ パックの電力に切り替わるとき、またはノートブック コンピュータの使用がアクティブ状態とアイドル状態で切り替わるときに、プロセッサ速度を自動的に変更するようにソフトウェアを設定できます。

プロセッサ パフォーマンスの制御は、[電源オプションのプロパティ]ダイアログ ボックスで行います。

Windows XPのプロセッサ パフォーマンスの制御にアクセスするには、以下の手順で操作します。

» [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択します。

選択した電源設定によって、ノートブック コンピュータが外部電源に接続されているとき、またバッテリ 電力で動作しているときのプロセッサのパフォーマンスが判断されます。外部電力やバッテリ 電力に対応する各電源設定によって、特定のプロセッサの状態が設定されます。

ノートブック コンピュータが外部電力とバッテリ 電力のどちらで動作しているかに応じて、さまざまな設定を使用できます。電源レベルの設定後は、コンピュータのプロセッサ パフォーマンスを制御するためのその他の操作は必要ありません。次の表では、外部電源およびバッテリ 電源で使用可能な電源設定でのプロセッサ パフォーマンスを示します。

電源設定	外部電力使用時のプロセッサパフォーマンス	バッテリ電力使用時のプロセッサパフォーマンス
[自宅または会社のデスク]	常に最大のパフォーマンス状態で動作します	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[ポータブル/ラップトップ]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[プレゼンテーション]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス状態で起動します
[常にオン]	常に最小のパフォーマンス状態で動作します	常に最小のパフォーマンス状態で動作します
[最小の電源管理]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[バッテリの最大利用]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス状態で起動します

## バッテリ パック

外部電源に接続しているときは、ノートブック コンピュータは外部電源で動作します。充電済みのバッテリ パックを装着し、外部電源に接続していないときは、コンピュータはバッテリ電源で動作します。

ノートブック コンピュータでは、外部電源が利用できるかどうかによって、外部電源とバッテリ電源が自動的に切り替わります。たとえば、充電済みのバッテリ パックを装着し、ACアダプタを通して外部電源を使用しているときにACアダプタをコンピュータから取り外すと、バッテリ電源の使用に切り替わります。

バッテリ パックをノートブック コンピュータに装着しておくかどうかは、作業状況に応じて決めることができます。バッテリ パックを装着しておくと、コンピュータを外部電源に接続している間にバッテリ パックを充電できます。また、停電があった場合でも作業中のファイルを守ることができます。

ただし、ノートブック コンピュータの電源が切れている間に、バッテリ パックは少しづつ放電します。このため、メイン バッテリ パックはコンピュータに装着していない状態で出荷されます。コンピュータをバッテリ電源で動作させるには、バッテリを装着してください。

## バッテリ パックの概要

お使いのノートブック コンピュータには、バッテリ パックを2つまで装着できます。

- メイン バッテリ パックは、バッテリ ベイでのみ使用可能です。お使いのノートブック コンピュータには、メイン バッテリ パック1個が装着されています。
- 別売のトラベル バッテリ パックは、ノートブック コンピュータの裏面に装着可能です。

2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、バッテリ パックを取り出して保管すると、バッテリ パックの寿命を延ばすことができます。保管方法については、この章の「[バッテリ パックの保管](#)」を参照してください。しばらく作業を行わない場合の操作方法について詳しくは、この章の「[スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行](#)」を参照してください。



ACアダプタおよびバッテリ パックは、お使いのノートブック コンピュータに対応しているもののみを使用する必要があります。詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/jp/>) を参照するか、またはサポート窓口にお問い合わせください。

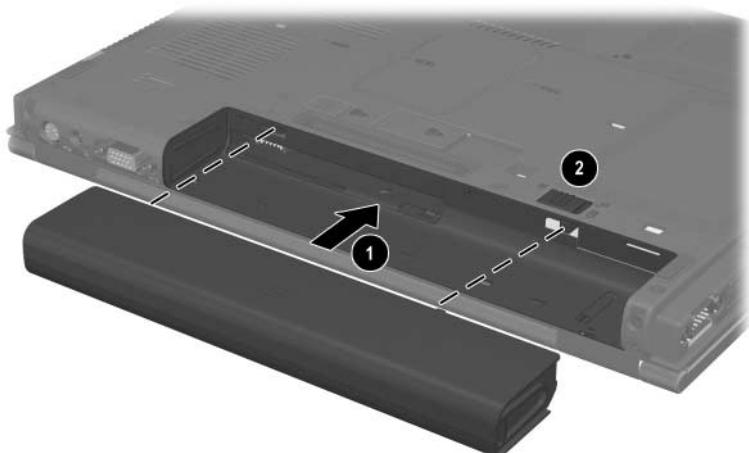
## メイン バッテリ パックの装着と取り外し



**注意：**ノートブック コンピュータの電源としてバッテリ パックのみを使用しているときに、そのバッテリ パックを取り外す場合は、データの損失を防ぐため、ハイバネーションを起動するかコンピュータの電源を切ってから作業を行ってください。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを左または右方向に押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。

メイン バッテリ パックを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを裏返します。
2. バッテリ ベイにバッテリ パックをスライドさせ①、しっかりと収まるまで押し込みます（バッテリが装着されると、固定ラッチ②が自動的にロックされます）。



メイン バッテリ パックを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. バッテリ ベイが手前に向くように、ノートブック コンピュータを裏返します。
2. バッテリ 固定ラッチを右方向に押します①。
3. バッテリ リリース ラッチを右方向に押します②。
4. バッテリ パックを、ノートブック コンピュータの外側にスライドさせます③。



## バッテリ パックの充電

バッテリ パックを複数使用している場合、各バッテリ パックは、あらかじめ設定された順序で充電および放電されます。

### ■ 充電の順序：

1. ノートブック コンピュータのバッテリ ベイに装着されている  
メインバッテリ パック
2. トラベルバッテリ パック

### ■ 放電の順序：

1. トラベルバッテリ パック
2. ノートブック コンピュータのバッテリ ベイに装着されている  
メインバッテリ パック

バッテリ パックの充電中は、ノートブック コンピュータのバッテリ ランプがオレンジ色に点灯します。バッテリ パックがほぼ完全に充電されると、バッテリ ランプが緑色に点灯します。すべてのバッテリ パックが完全に充電されると、バッテリ ランプが消灯します。



メイン バッテリ パックがノートブック コンピュータに装着されており、コンピュータが外部電源に接続されている場合、メイン バッテリ パックが充電されます。外部電源は、次の機器から供給できます。

- 付属のACアダプタ
- 別売のACアダプタ
- 別売のドッキング デバイス
- 別売のカーアダプタ

### **新しいバッテリ パックの充電**

ACアダプタを使ってノートブック コンピュータを外部電源に接続し、バッテリ パックを完全に充電してください。

新しいバッテリ パックは、完全に充電されていない状態でも使用できますが、バッテリ残量の表示が不正確になることがあります。

### **使用中のバッテリ パックの充電**

バッテリの寿命を延ばし、バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、次の点に注意します。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント未満になるまでバッテリ パックを放電してから充電してください。
- バッテリ パックを充電するときは、完全に充電してください。

## バッテリ パックの充電の監視

ここでは、バッテリ パック内の電力の残量を判断する方法をいくつか説明します。

### 正確なバッテリ残量の表示

バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、次のことに注意します。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント未満になるまでバッテリ パックを放電してから充電します。
- バッテリ パックを充電するときは、完全に充電してください。
- バッテリ パックを 1 か月以上使用していなかった場合は、充電ではなくバッテリ ゲージの調整を行います。バッテリ ゲージの調整方法については、この章の「[バッテリ ゲージの調整](#)」を参照してください。

### 充電情報画面の表示

ここでは、充電情報画面を表示して画面の情報を読む方法について説明します。

#### 充電情報の表示

ノートブック コンピュータに装着したバッテリ パックの状態について情報を表示するには、次のどちらかの操作を行います。

- » 通知領域にある[電源メーター]アイコンを選択します。  
または
- » [電源メーター]タブにアクセスします。アクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源メーター]タブの順に選択します。

## 充電情報の読み方

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリの状態がバッテリ残量のパーセントと残りの使用可能時間（分）で示されます。

- パーセントは、バッテリパック内の電力の残量を示します。
- 時間は、現在のレベルでバッテリパックの電力を使い続けた場合にバッテリパックを使用できる残り時間を示します。たとえば、DVDの再生を開始すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

ほとんどの充電情報では、バッテリパックが位置番号で示されます。

- #1はメインバッテリベイのバッテリパックです。
- #2は別売のトラベルバッテリパックです。

画面によっては、画面上のバッテリパックの位置表示の隣に稲妻のマークが表示されます。このマークは、その位置のバッテリパックが充電中であることを示します。

## ローバッテリ状態の対処

ローバッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、オペレーティングシステムの[電源オプション]ウィンドウで変更できます。ここでは、出荷時設定の警告およびシステム応答について説明します。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

## ローバッテリ状態の識別

ここでは、ローバッテリおよび完全なローバッテリの状態を判断する方法について説明します。

### ローバッテリ状態

ノートブックコンピュータの電源としてバッテリパックのみを使用しているときに、バッテリパックがローバッテリ状態になると、バッテリランプが点滅します。

### 完全なローバッテリ状態

ローバッテリ状態を解決しないと、ノートブックコンピュータは完全なローバッテリ状態に入ります。

完全なローバッテリ状態になると、システムは次のように応答します。

- ハイバネーションが有効で、ノートブックコンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動します。
- ハイバネーションが無効で、ノートブックコンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存していない情報は失われます。

ハイバネーションが有効になっていることを確認するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェックボックスがオンになっていることを確認します。

## ローバッテリ状態の解決



**注意:** ノートブック コンピュータが完全なローバッテリ状態になり、ハイバネーションが起動した場合は、電源/スタンバイ ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

### 外部電源が利用できる場合

外部電源が利用できる場合にローバッテリ状態を解決するには、以下のどれかを接続します。

- 付属のACアダプタ
- 別売のACアダプタ
- 別売のカー アダプタ

### 充電済みのバッテリ パックが利用できる場合

充電済みのバッテリ パックが利用できる場合にローバッテリ状態を解決するには、ノートブック コンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動し、充電済みのバッテリ パックを装着してから、ノートブック コンピュータの電源を入れます。

### 電源が利用できない場合

電源が利用できない場合にローバッテリ状態を解決するには、ハイバネーションを起動するか、作業中のファイルを保存してシステムを終了します。

### ハイバネーションから復帰できない場合

ハイバネーションから復帰するための電力がノートブック コンピュータに残っていない場合にローバッテリ状態を解決するには、以下の手順で操作します。

1. 充電済みのバッテリ パックを装着するか、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを左または右方向に押して、ハイバネーションから復帰します。

## バッテリ ゲージの調整

### バッテリ ゲージが必要な時

バッテリ パックを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上調整を行う必要はありません。また、新しいバッテリ パックを初めて使用する前にバッテリ ゲージを調整する必要はありません。次の場合は、バッテリ ゲージの調整が必要です。

- バッテリ 充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリ の通常の動作時間が極端に変化した場合
- バッテリ パックを1か月以上使用していない場合

### バッテリ ゲージの調整方法

バッテリ ゲージを調整するには、バッテリ パックを完全に充電し、完全に放電してから、再び完全に充電します。

### バッテリ パックの充電

バッテリ パックは、ノートブック コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電できますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。

バッテリ パックを充電するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータにバッテリ パックを装着します。
2. ノートブック コンピュータを電源コンセントまたは別売のアダプタに接続します。(コンピュータのバッテリ ランプが点灯します。)
3. バッテリ パックが完全に充電されるまで、ノートブック コンピュータを外部電源に接続しておきます。(充電が完了すると、コンピュータのバッテリ ランプが消灯します。)

## バッテリ パックの放電

バッテリ パックを完全に放電する前に、ハイバネーションを無効にします。

ハイバネーションを無効にするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェック ボックスをオフにします。
3. [適用]を選択します。

バッテリ パックの放電中は、ノートブック コンピュータの電源を入れたままにする必要があります。バッテリ パックは、コンピュータを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が放電が早く完了します。

- 放電中にノートブック コンピュータを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にノートブック コンピュータを使用する予定で、省電力設定を利用していた場合、放電処理中はシステムの動作が次のようにになります。
  - モニタが自動的にオフになりません。
  - ノートブック コンピュータがアイドル状態のときでも、ハード ドライブの速度が自動的に下がりません。
  - システムによるスタンバイの起動が実行されません。

バッテリ パックを完全に放電するには、以下の手順で操作します。

1. 通知領域の[電源メーター]アイコンを選択します。  
または  
[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択して、[電源設定]タブを表示します。
2. バッテリ ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[電源に接続]列の2つの設定と[バッテリ使用]列の2つの設定をメモに取っておきます。
3. ドロップダウンリストで、これら4つ（各列に2つ）のオプションをすべて[なし]に設定します。
4. [OK]を選択します。
5. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。ただし、コンピュータの電源は切らないでください。
6. バッテリ パックが完全に放電するまで、バッテリ電源でノートブック コンピュータを動作させます。バッテリ パックがロー バッテリ状態まで放電すると、バッテリ ランプが点滅し始めます。バッテリ パックが完全に放電すると、バッテリ ランプが消灯して、コンピュータの電源が切れます。

## バッテリ パックの再充電



**注意:** 予期しないバッテリの消耗や、完全なローバッテリ状態になったときのデータの損失を防ぐため、バッテリ ゲージの調整後はハイバネーションを再び有効にしてください。ハイバネーションを有効にするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]の順に選択します。次に[休止状態を有効にする]チェック ボックスをオンにして、[OK]を選択します。

バッテリ パックを再充電するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、バッテリ パックが完全に再充電されるまで接続したままにします。(充電が完了すると、コンピュータのバッテリ ランプが消灯します。)  
バッテリ パックの再充電中でもノートブック コンピュータは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。
2. ノートブック コンピュータの電源を切っていた場合は、バッテリ パックが完全に充電されてバッテリ ランプが消灯したら、コンピュータの電源を入れます。
3. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択して、[電源設定]タブを表示します。
4. [電源に接続]列と[バッテリ 使用]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
5. [OK]を選択します。

## バッテリの節電

ここで説明するバッテリ節電方法および設定を使用して、1回の充電でノートブック コンピュータを動作させる時間を長くすることができます。

## 作業中の節電

ノートブック コンピュータの使用時に節電するには、次の操作を行います。

- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続をオフにして、使用していないモデム アプリケーションを終了します。
- ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続する必要がないときは LANデバイスをオフにします。ネットワーク ケーブルを取り外すと、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。詳しくは、この章の「[LAN節電モードの使用](#)」を参照してください。
- 外部電源に接続されておらず、使用していない外付けデバイスを取り外します。
- 使用していないPCカードを停止するか取り外します。詳しくは、「[第6章 PCカード](#)」を参照してください。
- 使用していないCDやDVDを取り出します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、[fn]+[f9]および[fn]+[f10] ホットキーを使用します。
- 内蔵スピーカの代わりに、別売の電源付きスピーカを使用します。または、音量ボタンを使用してシステム警告音の音量を調節します。
- Sビデオ出力コネクタに接続しているデバイスをオフにするとときは、[fn]+[f4] ホットキーを使用するか、WindowsでSビデオ デバイスのサポートをオフにします。
- フロッピーディスクをフォーマットしている間は、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、ノートブック コンピュータの電源を切ります。

## 節電の設定

ノートブック コンピュータの節電を設定するには、以下の手順で操作します。

- スクリーン セーバが起動するまでの時間を短くし、グラフィックスおよび動きの少ないスクリーン セーバを選択します。

スクリーン セーバの設定画面を表示するには、次の操作を行います。

[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[スクリーン セーバを選択する]の順に選択します。

- オペレーティング システムの[電源設定]で、電力の使用量が少ない設定を選択します。この章の「[電源設定の指定または変更](#)」を参照してください。

## LAN節電モードの使用

お使いのノートブック コンピュータにはLAN節電機能が搭載されており、バッテリ電力の消費を抑えることができます。コンピュータが外部電源から切断され、ネットワーク ケーブルが取り外されると、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。

LAN節電モードはデフォルトで有効に設定されています。LAN節電モードの設定は[Computer Setup]で変更できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\] の \[Advanced\] \(詳細設定\) メニュー](#)」を参照してください。

LAN節電モードを起動するには、次の操作を行います。

- » ネットワーク ケーブルを取り外します。



LAN節電モードを実行している間は、LANデバイスが[デバイス マネージャ]に表示されません。LANデバイスにアクセスするには、次のどちらかの操作を行います。

- 外部電源に接続します。
- ネットワーク ケーブルを接続します。
- [Computer Setup]でLAN節電モードを無効に設定します。

## バッテリ パックの保管



**注意:** バッテリ パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリ パックを取り出して別々に保管します。

高温の場所にバッテリ パックを保管すると、自然放電の速度が速まります。保管中にバッテリ パックが放電するのを抑えるには、バッテリ パックを気温や湿度の低い場所に保管します。

バッテリ パックを安全に保管できる期間については、次の表を参考にしてください。ここに示す保管期間は、バッテリ パックが50パーセント充電されている場合の期間です。完全に充電されている場合は、安全に保管できる期間はこれよりも長くなります。また、電力の残量が少ない場合は、これよりも短くなります。

1か月以上保管したバッテリ パックを使用するときは、最初にバッテリ ゲージの調整を行ってください。

温度の範囲	安全に保管できる期間
46~60°C	1か月未満
26~45°C	3か月以下
0~25°C	1年

## 使用済みのバッテリ パックの処理



**警告:** 化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリ パックをつぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたりしないでください。さらに、60°Cより高温の環境に放置しないでください。バッテリ パックを交換する場合は、この製品専用のバッテリ パックをお使いください。

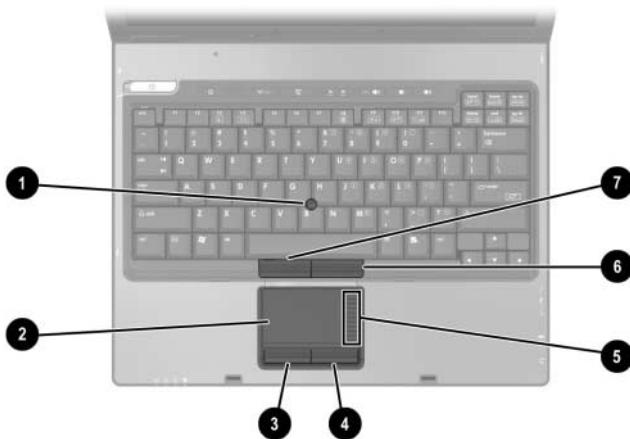


日本では、バッテリ パックを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

## ポインティング デバイス およびキーボード

### ポインティング デバイス

ポインティング スティックとタッチパッドのどちらを使用しても外付けマウスと同様の機能を実行できます。



名称	機能
① ポインティング スティック	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
② タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします。スクロールやダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます

(続く)

名称	機能
③ 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
④ 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑤ タッチパッドのスクロール ゾーン*	画面を上下にスクロールします
⑥ 右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑦ 左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します

\*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの機能の変更については、この章の「マウス機能のカスタマイズ」を参照してください。

## タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指を動かします。タッチパッドの左ボタンと右ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。タッチパッド垂直スクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの上で指を上下にスライドさせます。

## ポインティング スティックの使用

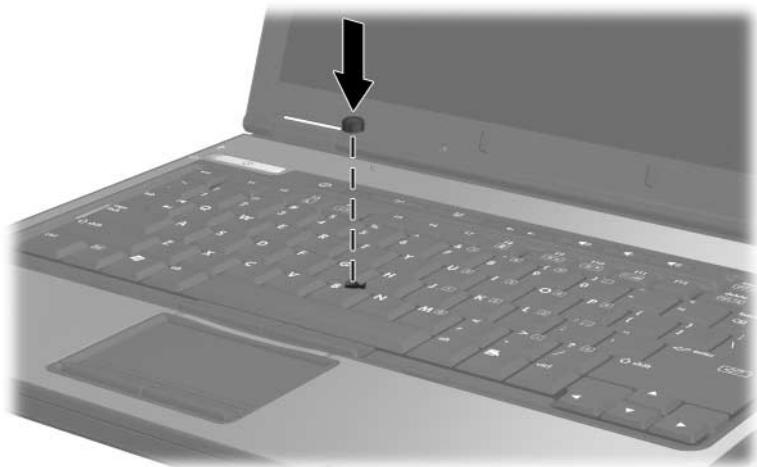
ポインタを移動するには、ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポインティング スティックの左ボタンと右ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

ポインティング スティックのキャップを交換するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。
2. ポインティング スティックの古くなったキャップをゆっくりと引き抜きます。
3. 新しいキャップを取り付けます。



交換用キャップは、ノートブック コンピュータには付属していません。



## マウス機能のカスタマイズ

Windowsの[マウスのプロパティ]を使用して、次のようにポインティング デバイスの設定をカスタマイズできます。

- ポインティング デバイスを有効または無効に設定します（デフォルトで有効に設定されています）。
- タッチパッドのタップ。タッチパッドを1回タップするとオブジェクトを選択し、2回タップするとオブジェクトをダブルクリックするように設定できます（デフォルトで有効に設定されています）。
- エッジ モーション。指がタッチパッドの端まできてもスクロールし続けるように設定できます（デフォルトで無効に設定されています）。
- パーム チェック。入力中にタッチパッドに手が触れても、カーソルが意図せず移動しないように設定できます（デフォルトで無効に設定されています）。

マウスの速度や軌跡などの機能も[マウスのプロパティ]で設定できます。

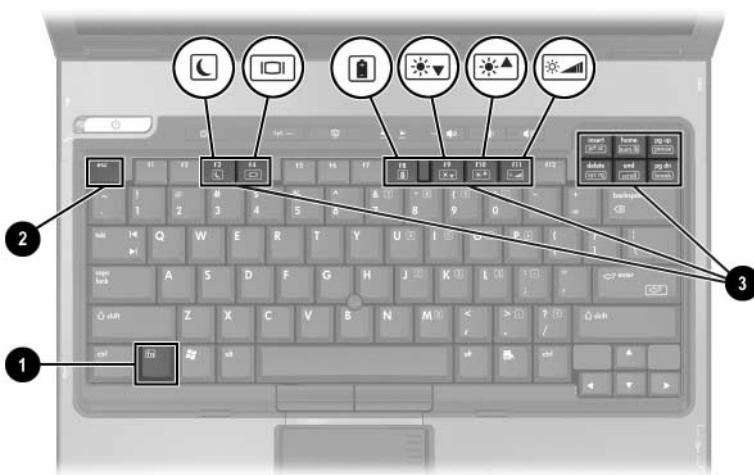
[マウスのプロパティ]にアクセスするには、以下の手順で操作します。

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハード ウェア]→[マウス]の順に選択します。

## ホットキー

ホットキーは、[fn]キー ①と、[esc]キー ②またはファンクションキー ③との組み合わせです。

ホットキーの機能は、[f3]、[f4]、および[f8]～[f10]のファンクションキーにアイコンで示されています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。



## ホットキーのクイック リファレンス

機能	機能をアクティブにするキーの組み合わせ	機能を非アクティブにするキーの組み合わせ
スタンバイの起動	[fn]+[f3]	電源ボタンを押す
ノートブック コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの画面の切り替え	[fn]+[f4]	[fn]+[f4]
バッテリ情報の表示	[fn]+[f8]	[fn]+[f8]
画面の輝度を下げる	[fn]+[f9]	なし
画面の輝度を上げる	[fn]+[f10]	なし
周辺光センサのオン/オフの切り替え	[fn]+[f11]	[fn]+[f11]
システム情報の表示	[fn]+[esc]	[fn]+[esc]

## ホットキー コマンドの使用

### スタンバイの起動 ([fn]+[f3])

ノートブック コンピュータの電源が入っているときに [fn]+[f3] ホットキーを押すと、スタンバイが起動します。スタンバイが起動すると、作業中のファイルがランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面が消えて、節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態のときは、スタンバイ ランプおよび電源/スタンバイランプが点滅します。

スタンバイを終了するには、電源ボタンを右または左方向に押します。

[fn]+[f3] ホットキーは、スタンバイを起動するように出荷時に設定されています。[fn]+[f3] ホットキーの機能 (Windows では「スリープ ボタン」と呼ばれます) は、変更することができます。たとえば、[fn]+[f3] ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するよう設定できます。スタンバイ、ハイバネーション、および [fn]+[f3] ホットキーの機能の変更方法について詳しくは、「[第2章 電源](#)」を参照してください。

### 表示画面の切り替え ([fn]+[f4])

[fn]+[f4] ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータの外付けモニタ コネクタと S ビデオ出力コネクタに接続されているディスプレイ デバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、[fn]+[f4] ホットキーを複数回押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外部 VGA ビデオ方式を使ってノートブック コンピュータからビデオ情報を受け取ります。[fn]+[f4] ホットキーでは、外部 VGA 以外の方式を使用するデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

次の5つのビデオ伝送方式が[fn]+[f4]ホットキーでサポートされます。  
かつこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (ノートブック コンピュータ本体のディスプレイ)
- 外部VGA (ほとんどの外付けモニタ)
- Sビデオ (Sビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャボード)
- コンポジット ビデオ(コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャボード)
- DVI-D (DVI-Dインターフェースをサポートする外付けモニタ)



DVI-Dデバイスは、ノートブック コンピュータが別売のドッキング デバイスに接続されている場合にのみ、コンピュータに接続できます。

### バッテリ充電情報の表示 ([fn]+[f8])

[fn]+[f8]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリ パックの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリ パックと、各バッテリ パックの残量が確認できます。

バッテリ パックの位置は、次の番号で表示されます。

- #1はメイン バッテリ パックです。
- #2はトラベル バッテリ パックです。

### 輝度を下げる ([fn]+[f9])

[fn]+[f9]ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが増分します。

### 輝度を上げる ([fn]+[f10])

[fn]+[f10]ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが増分します。

## 周辺光センサの有効化 ([fn]+[f11])

[fn]+[f11] ホットキーを押すと、周辺光センサのオン/オフを切り替えることができます。周辺光センサについて詳しくは、この章の「[周辺光センサ](#)」を参照してください。

## システム情報の表示 ([fn]+[esc])

[fn]+[esc] ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやソフトウェアのバージョン番号に関する情報が表示されます。[fn]+[esc] ホットキーをもう1回押すと、システム情報が画面から消えます。



システム BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号です。 BIOS の日付は 10/19/2002 F.07 などの 10 進数形式で表示される場合があります。

---

## 外付けキーボードでのホットキーの使用

接続する別売の外付けキーボードの種類によって、使用できるホットキーが異なります。USB キーボードは Quick Launch Buttons ソフトウェアで制御されるホットキー機能のみをサポートします。Quick Launch Buttons ソフトウェアについて詳しくは、この章の「[Quick Launch Buttons](#)」を参照してください。

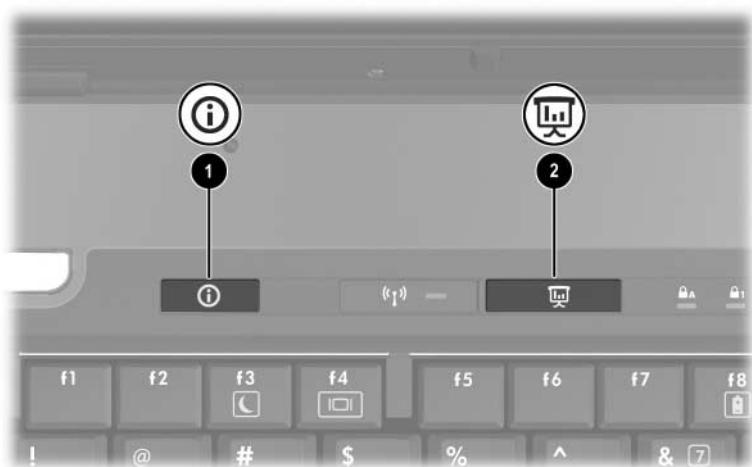
以下の表に、一部のホットキー機能を外付けキーボードで実行する方法を示します。

ノートブック コンピュータのキー	外付けキーボードのキー
[fn]+[f3]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f3] (PS/2 キーボードのみ)
[fn]+[f4]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f4] (PS/2 キーボードのみ)
[fn]+[f8]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f8]
[fn]+[f9]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f9] (PS/2 キーボードのみ)
[fn]+[f10]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f10] (PS/2 キーボードのみ)
[fn]+[f11]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f11]
[fn]+[esc]	[scroll lock]+[scroll lock]+[esc]

## Quick Launch Buttons

### Quick Launch Buttonsの位置

このノートブック コンピュータには、よく使用するアプリケーションを起動できるQuick Launch Buttonsが2つあります。



番号	名称	機能
①	Info Center Button (Info Centerボタン)	よく使用するソフトウェア ソリューションの一覧を表示します
②	Presentation Mode Button (プレゼンテーション モード ボタン)	プレゼンテーション モードを起動します。このモードでは、画面表示を外付けモニタ用に最適化したり、Microsoft PowerPointなどユーザが定義したプログラムを起動して表示したりできます。プレゼンテーション モードについて詳しくは、この章の「 <a href="#">プレゼンテーション モード</a> 」を参照してください

## Quick Launch Buttonsソフトウェアの使用

Quick Launch Buttons ソフトウェアは、Quick Launch Buttons と、ノートブック コンピュータのキーボードおよび外付けキーボードのホットキーをサポートします。外付けキーボードは、コンピュータまたは別売のドッキングデバイスにあるUSBポートに接続できます。

Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動するには、次の操作を行います。

» [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

または

» デスクトップの[Quick Launch Buttons]アイコンをダブルクリックします。

または

» 通知領域の[Quick Launch Buttons]アイコンを選択します。

アイコンを通知領域またはデスクトップに追加するには、以下の手順で操作します。

1. Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. 通知領域にアイコンを追加するには、[通知領域にアイコンを表示]の隣にチェックマークを入れます。

通知領域のアイコンを左クリックすると現在の設定を変更でき、右クリックすると以下のようなメニュー項目が表示されます。

- [Quick Launch Buttonsのプロパティの調整] : Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
- [アイコンを隠す] : システムトレイからアイコンを削除します。
- [プレゼンテーションをオンにする]または[プレゼンテーションをオフにする] : プrezentation モードをオンまたはオフにします。

- [周辺光センサをオンにする]または[周辺光センサをオフにする]：周辺光センサをオンまたはオフにします。

## プレゼンテーション モード

Presentation Mode Buttonを初めて押したときに、[ようこそ]ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで、Presentation Mode Buttonを押したときに自動的に項目が開き、電源の設定が最適な状態に調整されるようにプログラムできます。また、Presentation Mode Buttonを押すたびに[ようこそ]ダイアログ ボックスを開くかどうかも、このダイアログ ボックスで制御できます。

[ようこそ]ダイアログ ボックスで[今後このダイアログ ボックスを表示しない]チェック ボックスをオンにした場合、設定を変更するにはQuick Launch Buttonsソフトウェアを起動する必要があります。

## プレゼンテーション モード ボタン

Presentation Mode Buttonを使用すると、プレゼンテーション モードのオンとオフが切り替わります。プレゼンテーション モードをオンにすると、指定したアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトが起動または表示されます。画像は、ノートブック コンピュータの画面と、背面の外付けモニタ ポートやSビデオ出力コネクタまたは別売のドッキング デバイスのポートやコネクタに接続された外付けデバイスに、同時に表示されます。



### プレゼンテーション モードの設定

プレゼンテーション モードの設定は、Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用して変更することができます。プレゼンテーション モードの設定を変更するには、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。

[起動するプログラム] フィールドでは、Presentation Mode Buttonを押すと起動または表示されるファイル、アプリケーション、Web サイト、またはフォルダを指定できます。[参照] ボタンをクリックして項目を参照するか、[起動するプログラム] フィールドの下向き矢印をクリックして最近設定した項目を指定します。

[電源設定] フィールドでは、プレゼンテーション モードでの電源のプロパティを制御できます。下向き矢印をクリックして電源オプションプロファイルを選択します。[電源設定] フィールドの隣の[電源プロパティの調整] ボタンを押すと Windows の[電源オプション] が起動し、電源設定を表示または変更できます。

外付けディスプレイを自動的に検索するかどうかを指定することもできます。[自動的に外付けディスプレイに切り替える]ボックスにチェックが入っていて外付けビデオ機器がコンピュータに接続されていない場合、指定したファイルは開きますが、ビデオ表示は外付けディスプレイに切り替わりません。このボックスにチェックが入っていない場合、[起動するプログラム]フィールドで指定したファイルが開きます。

## 周辺光センサ

このノートブック コンピュータには、周囲の明るさに応じて画面の輝度を自動的に調節する光センサが内蔵されています。周囲の明るさが変わると、周辺光センサが変化を感知して画面の輝度を自動的に調節します。

次の3つの方法で、周辺光センサのオン/オフを切り替えられます。

- [fn]+[f11]ホットキーを押す
- Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用する
- 通知領域の[Quick Launch Buttons] ソフトウェア アイコンを使用する



Quick Launch Buttons ソフトウェアまたは通知領域のソフトウェア アイコンを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、Quick Launch Buttons ソフトウェアがインストールされている必要があります。

ホットキーを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、[fn]+[f11]ホットキーを押します。



Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、以下の手順で操作します。

1. 次のどちらかの方法で、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
  - [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。または
  - 通知領域の[Quick Launch Buttons] ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [周辺光センサを有効にする]チェック ボックスをオンまたはオフにします。
4. [適用]→[OK]の順に選択します。

通知領域の[Quick Launch Buttons] ソフトウェア アイコンを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、以下の手順で操作します。

1. 通知領域の[Quick Launch Buttons] ソフトウェア アイコンを右クリックします。
2. [周辺光センサをオンにする] または [周辺光センサをオフにする] を選択します。

## Quick Tile

Quick Tileを使用して、デスクトップに表示されているウィンドウをすばやく整理できます。

1. 次のどちらかの方法で、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
  - [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。
  - または
  - 通知領域の[Quick Launch Buttons] ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
2. [Quick Tile]タブを選択します。
3. [上下に並べて表示] または [左右に並べて表示] オプションを選択します。
4. 適用するソフトウェアを、[現在実行中のアプリケーション]リストから選択します。
5. [OK]を選択します。

## Info Center

Info Centerを使用して、次のソフトウェアをすばやく起動することができます。

- HPへの問い合わせ
- Altiris Local Recovery
- ProtectToolsセキュリティ マネージャ
- ヘルプとサポート
- HPノートブック オプション製品ツアー
- Software Setup
- システム設定
- Wireless Assistant

Info Centerにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. Info Centerボタンを押します。  
または  
[スタート]→[Info Center]の順に選択します。
2. 起動するソフトウェアを選択します。

詳しくは、Info Centerのオンライン ヘルプを参照してください。

## テンキー

お使いのノートブック コンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

### 内蔵テンキーの使用

15個の内蔵テンキーは外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。



番号	名称
①	[fn]キー
②	Num Lockランプ
③	[num lock]キー
④	内蔵テンキー

## 有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、[fn]+[num lock]キーを押します。Num Lockランプが点灯します。[fn]+[num lock]キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。



外付けキーボードやテンキーがノートブック コンピュータまたは別売のドッキングデバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

---

## キーの機能の切り替え

[fn]キーまたは[fn]+[shift]キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーの機能をテンキーの入力機能に変更するには、[fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、次の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、[fn]キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、[fn]+[shift]キーを押しながら文字を入力します。

## 外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lockモードがオンのときとオフのときとで機能が異なります。たとえば、次のようにになります。

- Num Lockがオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lockがオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

外付けテンキーでNum Lockモードをオンにすると、ノートブックコンピュータのNum Lockランプが点灯します。外付けテンキーでNum Lockをオフにすると、コンピュータのNum Lockランプが消灯します。

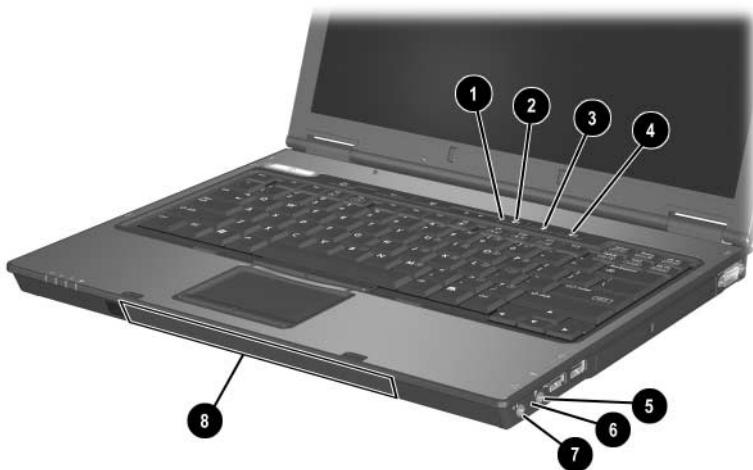
外付けテンキーを接続している間は、内蔵テンキーを使用することができません。

作業中に外付けテンキーのNum Lockモードのオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

- » ノートブックコンピュータではなく、外付けテンキーの[num lock]キーを押します。

## マルチメディア

## オーディオ機能



名称	機能
① ミュート ボタン	システムの音量を消音（ミュート）します
② ミュート ランプ	システムの音量が消音されているときに点灯します
③ 音量下げボタン	システムの音量を下げます
④ 音量上げボタン	システムの音量を上げます
⑤ オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のマイクを接続します

(続く)

名称	機能
⑥ 内蔵マイク	サウンドを録音します
⑦ オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカ、ヘッドフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続したときに、システムのサウンドを出力します
⑧ ステレオスピーカ（×2）	システムのステレオ サウンドを出力します

## オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

お使いのノートブック コンピュータには、ステレオのマイク コネクタが装備されています。マイクをマイク コネクタに接続する場合は、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

- ステレオ（デュアルチャンネル）マイクを接続する場合、ステレオ サウンドが録音されます。
- モノラル（シングルチャンネル）マイクを接続する場合、左チャンネルのサウンドが両方のチャンネルに録音されます。
- ダイナミックマイクを接続する場合、感度が不足して明瞭に録音できない可能性があります。
- 外付けマイクを接続する場合、ノートブック コンピュータ本体の内蔵マイクは無効になります。

## オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用



**警告：**突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォンやヘッドセットを使用してください。



**注意：**外付けデバイスの損傷を防ぐため、モノラル コネクタをヘッドフォン コネクタに接続しないでください。

ヘッドフォン コネクタは、テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ機器のオーディオ機能を接続するためにも使用します。

ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続する場合、次の点に注意してください。

- 3.5 mmのステレオ プラグのみを使用してください。
- 最高の音質を得るには、24~32 Ωのヘッドフォンを使用してください。



ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、内蔵スピーカは無効になります。

## 音量の調整

音量の調整には、次のどちらかを使用します。

- ノートブック コンピュータ本体の音量ボタン
  - 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタンを押します。また、[−]ボタンと[+]ボタンを同時に押して、消音したり音量を元に戻したりすることもできます。
  - 音量を下げるには、音量下げボタンを押します。
  - 音量を上げるには、音量上げボタンを押します。
- Windowsの[ボリューム コントロール]
  1. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]の順に選択します。
  2. [サウンドとオーディオ デバイス]を選択します。
  3. [音量]タブを選択します。
  4. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック ボックスをオンにします。
  5. [適用]を選択します。



ソフトウェアによっては、音量調節機能を持つものもあります。

## ビデオ機能

ノートブック コンピュータの7ピンのSビデオ出力コネクタには2つの用途があり、テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッドプロジェクタ (OHP)、またはビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を、別売の標準（4ピン）Sビデオ ケーブルで接続できます。Sビデオ出力コネクタの追加の3ピンを使用して、別売のSビデオ-コンポジット アダプタをコンピュータに接続できます。

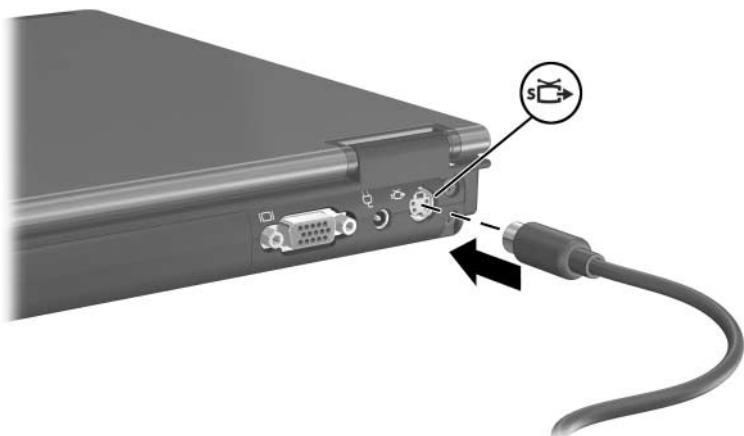
ノートブック コンピュータのSビデオ出力コネクタには、1台のSビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイとその他のサポートされている外付けディスプレイに、画面を同時に表示できます。通常、Sビデオの接続では、コンポジット ビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ信号をSビデオ出力コネクタ経由で送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能なSビデオ ケーブルが必要です。DVDの動画をテレビで再生するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオ ケーブルが必要です。

## Sビデオ出力コネクタの使用

ビデオ機器をSビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. Sビデオケーブルの一端をノートブックコンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。



2. ビデオ機器に付属の説明書の指示に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。



ノートブックコンピュータに別売のドッキングデバイスを装着しているためにコンピュータのSビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキングデバイスのSビデオ出力コネクタに機器を接続できます。

## モニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタまたはプロジェクタをノートブックコンピュータに接続するには、コンピュータ背面の外付けモニタポートにモニタケーブルを差し込みます。



---

外付けモニタまたはプロジェクタを正しく接続しても画面が表示されない場合は、[fn]+[f4]ホットキーを押して、モニタに画面を切り替えます。

---

## マルチメディア ソフトウェア

ノートブック コンピュータに含まれるマルチメディア ソフトウェアは、コンピュータを購入された地域やモデルによって決定されます。

コンピュータに含まれる可能性のあるマルチメディア ソフトウェアのいくつかの機能を、以下に説明します。

- Windows Media Player : オーディオCDとDVDを再生し、オーディオCDとデータCDをコピーします。また、MP3、WMA、AVI、MPG、WMVなど一般的な形式のオーディオおよびビデオ ファイルを再生します。このソフトウェアはWindowsオペレーティング システムに含まれています。
- InterVideo WinDVD : ビデオCDおよびDVDの動画を再生します。このソフトウェアは一部のノートブック コンピュータにプリインストールされています。このソフトウェアは、以下のどれかの方法で入手することもできます。
  - ほとんどのHPノートブック コンピュータに付属しているDriver RecoveryディスクからInterVideo WinDVDをインストールします。
  - Driver Recoveryディスクがない場合は、HPのサポート窓口に連絡し、お使いのコンピュータのリストアCDのコピーを入手します。
  - HPのWeb サイト (<http://www.hp.com/jp>) からダウンロードします。
- InterVideo WinDVD Creator Plus : DVDやビデオCD上で動画を作成および編集したり、ディスクに動画を焼き付けたりする機能を備えています。このソフトウェアは、一部のノートブック コンピュータに同梱されているInterVideo WinDVD Creator CDに収録されています。
- Sonic RecordNow! : データ/オーディオCDおよびDVDのコピーを作成したり、個人用のオーディオCDおよびDVDを作成したりできます。RecordNow!は一部のノートブック コンピュータにプリインストールされています。



マルチメディア ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

---

お使いのノートブック コンピュータには、その他のマルチメディア ソフトウェアが含まれている場合があります。以下の項目を必ず確認してください。

- デスクトップ アイコン
- [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択して一覧表示される アプリケーション
- [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]で利用可能な、 プリロードされている項目

## 著作権に関する警告について

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法違反です。このノートブック コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

## ソフトウェアのインストール

ノートブック コンピュータに同梱されているオプティカルディスクからソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. 「第5章 ドライブ」の「オプティカル ドライブの挿入」に記載されている指示に従って、適切なオプティカル ドライブをノートブック コンピュータのマルチベイIIに挿入します。
2. 安定した電源を供給している電源コンセントに、コンピュータの電源コードを差し込みます。
3. 開いているアプリケーションをすべて閉じます。
4. ソフトウェア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
  - 自動実行機能が有効な場合は、インストール ウィザードが表示されます。

□ 自動実行機能が無効な場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択してから、次のように入力します。

**x:¥setup.exe**

(xはオプティカル ドライブを示します) その後、[OK]を選択します。

5. インストール ウィザードが表示されたら、画面上のインストール指示に従って操作します。
6. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。



インストールする各ソフトウェアに対してこのインストール手順を繰り返します。



WinDVD Creatorを正しくインストールするには、ドライブが特別な要件を満たしている必要があります。WinDVD Creatorのインストールについては、InterVideo WinDVD Creator CDに付属のインストール手順を参照してください。

## 自動再生の有効化

自動再生は、自動実行機能を有効または無効にするWindowsのオプションです。自動実行機能により、ディスクをドライブに入れてドライブのトレイを閉めるとすぐにプログラムが起動されたりトランクが再生されたりします。デフォルトでは、ノートブック コンピュータの自動再生機能は有効になっています。

自動再生機能を無効にしたり、無効になっている自動再生機能を有効にしたりする方法については、お使いのオペレーティング システムのマニュアルまたはMicrosoftのWebサイト (<http://www.microsoft.com/japan/>) を参照してください。

## DVDの地域設定の変更

---



**注意：**DVD ドライブの地域設定は、5回までしか変更できません。

- 5回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの永続的な地域設定になります。
- ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[地域確認] ウィンドウの[この変更前に確定するまで、残りの変更が許可されます。] フィールドに表示されます。このフィールドの数には、5回目の永続的な変更が含まれます。

---

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどのDVDには、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVDの地域コードが、お使いのDVD ドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれているDVDを再生できます。

DVDの地域コードがお使いのドライブの地域設定と一致しない場合は、そのDVDをドライブに挿入すると[このコンテンツの再生は、この地域(リージョンコード) では許可されていません。]というメッセージが表示されます。このDVDを再生するには、お使いのDVD ドライブの地域設定を変更する必要があります。DVDの地域設定は、オペレーティングシステムまたは一部のDVDプレーヤーで変更できます。

## オペレーティング システムを使用する場合

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [デバイス マネージャ]を開きます。[スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択し、ウィンドウを右クリックして[プロパティ]→[ハード ウェア]タブ→[デバイス マネージャ]の順に選択します。
2. [DVD/CD-ROM ドライブ]を選択し、地域設定を変更するDVD ドライブを右クリックします。次に[プロパティ]を選択します。
3. [DVD地域]タブで変更を行います。
4. [OK]を選択します。
5. 詳しくは、Windows オペレーティング システムの[ヘルプとサポート]を参照してください。

## WinDVDを使用する場合

WinDVD を使用してドライブの地域設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. 以下のどちらかを実行して、WinDVDを起動します。
  - 通知領域の[InterVideo WinDVD]アイコンをダブルクリックします。
  - [スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。
2. WinDVD Playerのウィンドウを右クリックします。
3. [セットアップ]を選択します。
4. 地域のボタンを選択します。
5. [OK]を選択します。

## 他のDVDソフトウェアを使用する場合

WinDVD 以外のDVD プレーヤを使用してドライブの地域設定を変更する場合は、そのプレーヤに付属のマニュアルを参照してください。

## ドライブ

リムーバブル ドライブを使うと、データを保存したり、データにアクセスしたりできます。

- 標準的なドライブをシステムに追加するには、ノートブック コンピュータのマルチベイIIまたは別売のドッキング デバイスにドライブを取り付けます。
- USB ドライブを追加するには、ノートブック コンピュータまたは別売のドッキング デバイスのUSBポートに接続します。

USB ドライブの接続については、「[第9章 USBデバイス](#)」の「[USBデバイスの接続](#)」を参照してください。

### ドライブの取り扱い上の注意

ドライブは、ノートブック コンピュータ コンポーネントの中でも繊細なコンポーネントです。そのため、注意して取り扱う必要があります。次に示すのは、すべてのドライブに適用される注意事項です。特定の手順に関する注意事項は、操作手順の説明に含まれています。



**注意:** コンピュータや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、データの損失を防ぐため、必ず事前にスタンバイを起動してください。スタンバイを起動するには、[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します。詳しくは、「[第2章 電源](#)」の「[スタンバイおよびハイバネーション](#)」を参照してください。



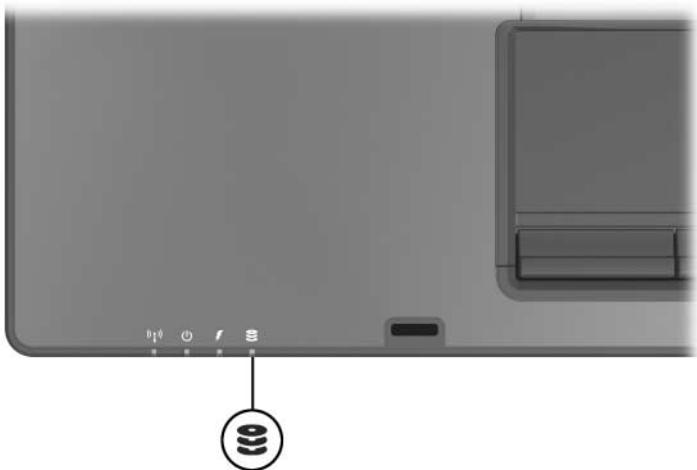
**注意：**コンピュータやメイン ハードドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

- 人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。静電気によるドライブの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。
  - ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面またはコンピュータ背面のコネクタの止めネジ部分に触れるなどして、静電気を放電します。
  - ドライブまたはコンピュータのドライブ コネクタ ピンに触れないでください。
- 磁気を発する装置にドライブを近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をベルト コンベア上でチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。
- ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落とさないでください。
- ドライブをハードドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。
- 高温の場所にドライブを放置しないでください。
- ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、直接液体クリーナーなどを吹きかけないでください。
- ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

---

## IDE ドライブ ランプ

メイン ハード ドライブ、またはマルチベイ II に挿入された ハード ドライブ や オプティカル ドライブ にアクセスしているときは、IDE ドライブ 動作 ランプ が点灯します。



## メイン ハード ドライブ



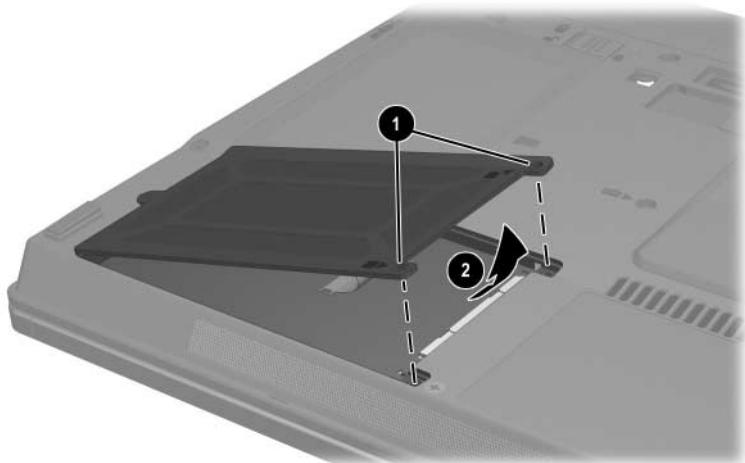
**注意:** システムのロック や データの損失を防ぐため、以下の注意を守ってください。

ハード ドライブ ベイ から ハード ドライブ を取り外す前に、ノートブック コンピュータ の 電源 を切ってください。コンピュータ の 電源 が 入っているときや、スタンバイ または ハイバネーション の 状態 の ときには、ハード ドライブ を取り外さないでください。

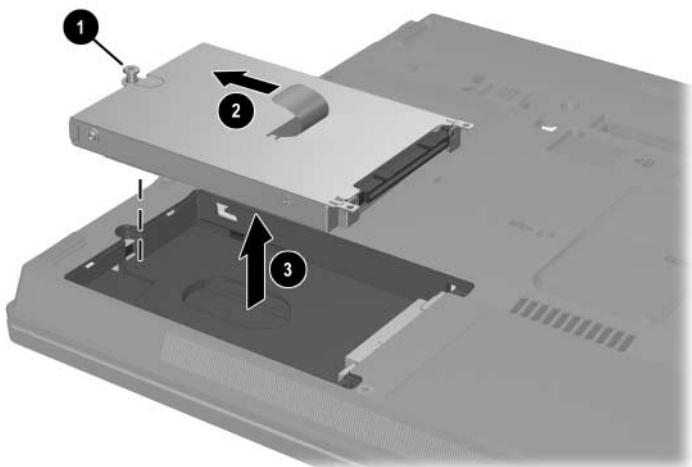
ハードドライブベイのハードドライブはメイン ハードドライブです。ハードドライブを取り外す前に、必ずノートブック コンピュータをシャットダウンしてください。

メイン ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源がハイバネーション状態かどうか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押して離すことでコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータを裏返し、スピーカが手前になるようにして置きます。
4. ハードドライブ カバーの2つのネジ①を緩めます。
5. ハードドライブ カバーを持ち上げて、ノートブック コンピュータから取り外します②。

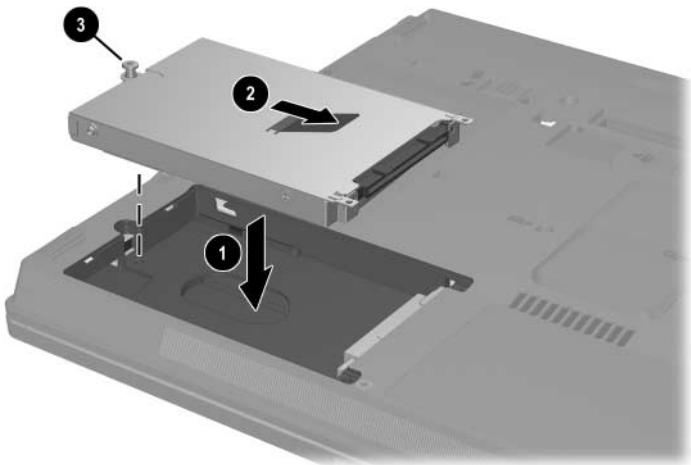


6. ハードドライブのネジ①を緩めます。
7. ハードドライブタブを左方向に引いて、ハードドライブの固定を解除します②。
8. ハードドライブをノートブックコンピュータから持ち上げます③。

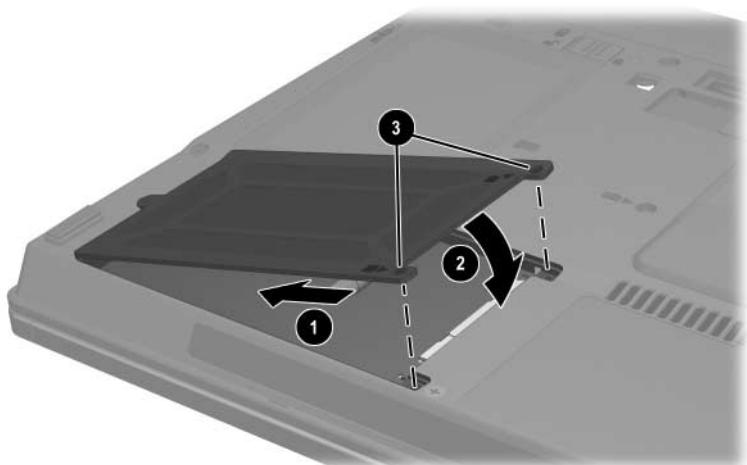


ハードドライブを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブを、ノートブックコンピュータの裏面にあるハードドライブベイに挿入します①。
2. ハードドライブタブを右方向に引いて、ハードドライブを固定します②。
3. ハードドライブのネジ③を締めます。



4. ハードドライブ カバーのタブを、ノートブック コンピュータの溝に合わせます①。
5. カバーを閉じます②。
6. ハードドライブ カバーのネジ③を締めます。



## マルチベイIIハードドライブ

マルチベイIIには、ハードドライブにアダプタが装備されている、別売のハードドライブモジュールを挿入できます。

### ハードドライブモジュールの挿入

ハードドライブモジュールをマルチベイIIに挿入するには、以下の手順で操作します。

1. 所定の位置に固定されるまで、ハードドライブモジュールをマルチベイIIにゆっくりとスライドさせます。



2. ノートブックコンピュータを裏返します。
3. 固定ネジを差し込んで締めます。

## ハードドライブ モジュールの取り出し

ハードドライブ モジュールをマルチベイIIから取り出すには、以下の手順で操作します。

1. 作業中のデータを保存します。
2. 通知領域の [ ハードウェアの安全な取り外し ] アイコンを選択します。(接続されているデバイスの一覧がダイアログ ボックスに表示されます。)
3. ハードドライブを選択してから[停止]ボタンを選択します。(画面に [ ハードウェアの取り外し ] メッセージが表示されます。)
4. ノートブック コンピュータの裏面に固定ネジが取り付けられている場合は、以下の手順で取り外します。
  - a. ノートブック コンピュータを裏返します。
  - b. 固定ネジを取り外します。
  - c. ノートブック コンピュータを裏返して、ディスプレイの面を上にします。
5. ハードドライブ モジュールをゆっくりと押して①、ロックを解除します。
6. ハードドライブ モジュールをスライドさせてマルチベイIIから取り出します②。



## マルチベイIIオプティカル ドライブの使用

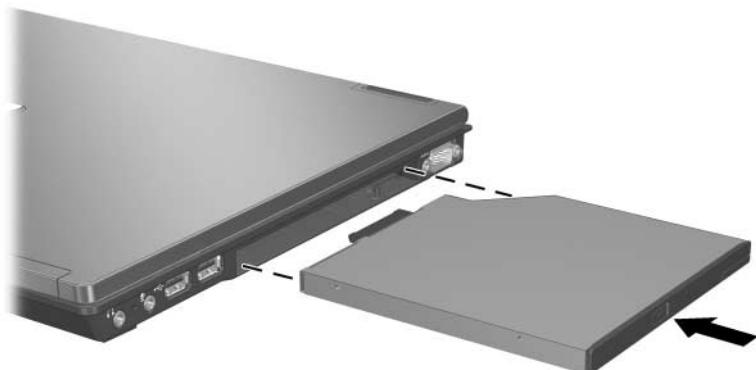
ここでは、マルチベイIIでのオプティカルディスク ドライブ（CD ドライブやDVD ドライブなど）の使用方法について説明します。

CDおよびDVD ソフトウェア使用について詳しくは、「[第4章 マルチメディア](#)」の「マルチメディア ソフトウェア」を参照してください。

### オプティカル ドライブの挿入

オプティカル ドライブをマルチベイIIに挿入するには、以下の手順で操作します。

1. 所定の位置に固定されるまで、ドライブをマルチベイIIにゆっくりとスライドさせます。

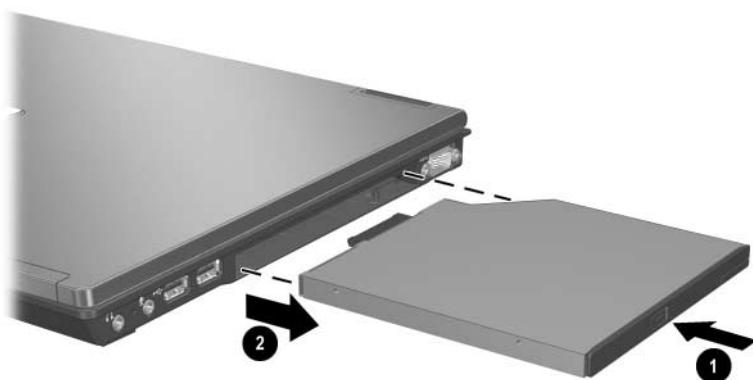


2. ノートブック コンピュータを裏返します。
3. 固定ネジを差し込んで締めます。

## オプティカル ドライブの取り出し

オプティカル ドライブをマルチベイIIから取り出すには、以下の手順で操作します。

1. 作業中のデータを保存します。
2. 通知領域の [ ハードウェアの安全な取り外し ] アイコンを選択します。(接続されているデバイスの一覧がダイアログ ボックスに表示されます。)
3. オプティカル ドライブを選択してから [ 停止 ] ボタンを選択します。(画面に [ ハードウェアの取り外し ] メッセージが表示されます。)
4. ノートブック コンピュータの裏面に固定ネジが取り付けられている場合は、以下の手順で取り外します。
  - a. ノートブック コンピュータを裏返します。
  - b. 固定ネジを取り外します。
  - c. ノートブック コンピュータを裏返して、ディスプレイの面を上にします。
5. オプティカル ドライブをゆっくりと押して①、ロックを解除します。
6. オプティカル ドライブをスライドさせてマルチベイIIから取り出します②。



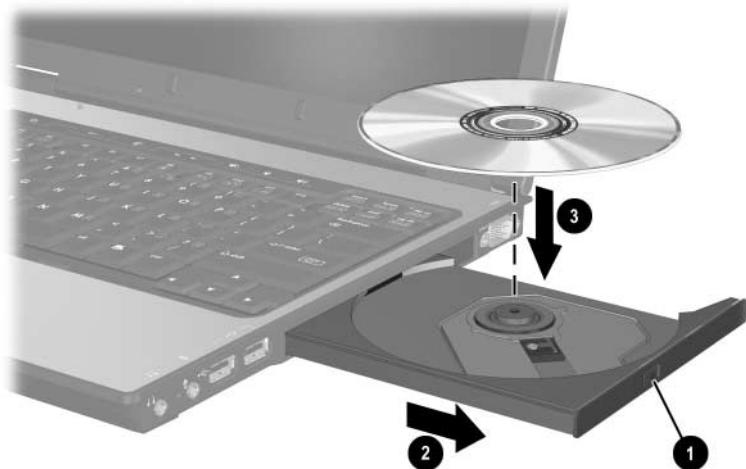
## オプティカル ディスクの使用

### オプティカル ディスクの挿入

この手順でCDやDVDを扱うときは、傷を付けないように、表面ではなく端を持ってください。

オプティカルディスクを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源が入っていることを確認します。
2. ドライブパネルのリリースボタン①を押して、メディアトレイが少し押し出された状態にします。
3. 完全に開くまでメディアトレイをゆっくりと引き出します②。
4. ラベルを上にして、ディスクをメディアトレイに置きます。
5. ディスクの中心付近をそっと下に押して、トレイの回転軸にはめ込みます③。



6. メディアトレイを閉じます。

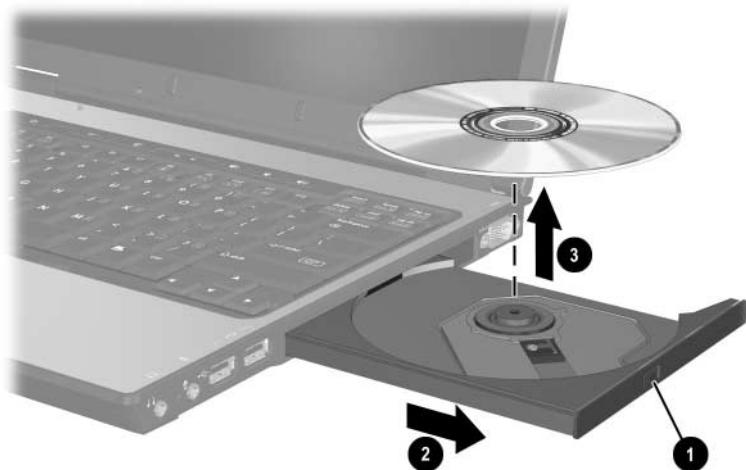


DVDの挿入後、自動実行機能によってDVDおよびDVDプレーヤが起動されるまでに少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

## オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時）

電源使用時には、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン①を押して、メディア ドライブが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します②。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します③。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディア ドライブが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。

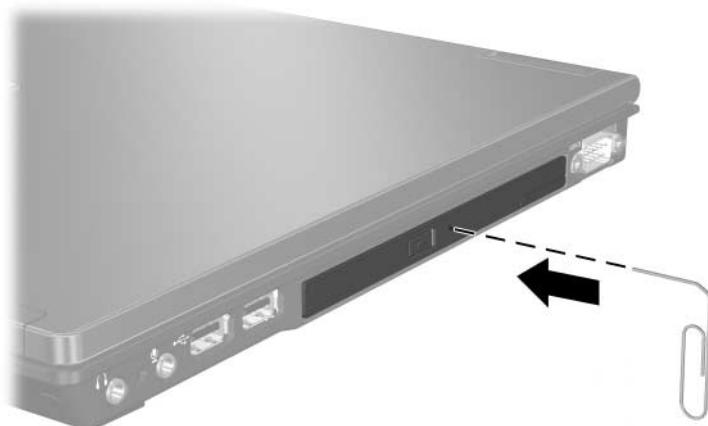


4. メディア ドライブを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

## オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時）

電源を利用できないときは、以下の手順で操作します。

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース アクセスにクリップの端を差し込みます。



2. クリップをそっと押して、メディア トレイが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。ディスクを保護するには保護ケースに入れます。
4. メディア トレイを閉じます。

## オプティカル ディスクの内容の表示

オプティカルディスクをドライブに挿入すると、自動実行機能が有効な場合はディスクの内容が画面に自動的に表示されます。

自動実行機能が有効にされていないときは、次の方法でディスクの内容を表示します。

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択し、次のように入力します。

**x:**

xはディスクが挿入されているドライブ名を示します。

2. [enter]キーを押します。

## スタンバイまたはハイバネーションの防止



**注意:** ビデオの劣化およびオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、メディアを再生しているときにスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

ドライブメディア（フロッピーディスク、CD、CD-RW、DVDなど）を使用中に、誤ってスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断される場合があります。
- [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]を選択します。

電源ボタンを左または右方向に押して、ハイバネーションまたはスタンバイから復帰します。オーディオまたはビデオが再開されるか、ドライブメディアを再起動する必要があります。

## PCカード

### PCカードとは



**注意:** 一部のPCカードがサポートされなくなる恐れがありますので、このPCカード ソフトウェアを他社製のソフトウェアまたはイネーブラで上書きしないでください。PCカードに付属のマニュアルに専用のデバイス ドライバをインストールするように記載されている場合は、次のようにします。

- お使いのオペレーティング システム用のデバイス ドライバだけをインストールしてください。
- PCカードの製造販売元が他のソフトウェア（カード サービス、ソケット サービス、イネーブラなど）を提供していても、それらをインストールしないでください。

PCカードは、クレジットカードと同じくらいの大きさのデバイスで、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) の標準仕様に準拠しています。

- お使いのノートブック コンピュータは32ビット (CardBus) および16ビットのPCカードに対応しています。
- お使いのノートブック コンピュータには1基のPCカード スロットが装備されており、1枚のType IカードまたはType IIカードに対応しています。
- ズーム ビデオ用PCカードには対応していません。

## 挿入



**注意:**PCカード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- PCカード スロットにPCカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。
- PCカードがPCカード スロットに挿入されているときには、ノートブック コンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

1. PCカードのラベル側を上にし、コネクタをノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
2. カードがしっかりとはまるまで、PCカード スロットに静かにスライドさせて挿入します。オペレーティング システムによって音が鳴り、デバイスが検出されたことが示されます。



## 取り出し

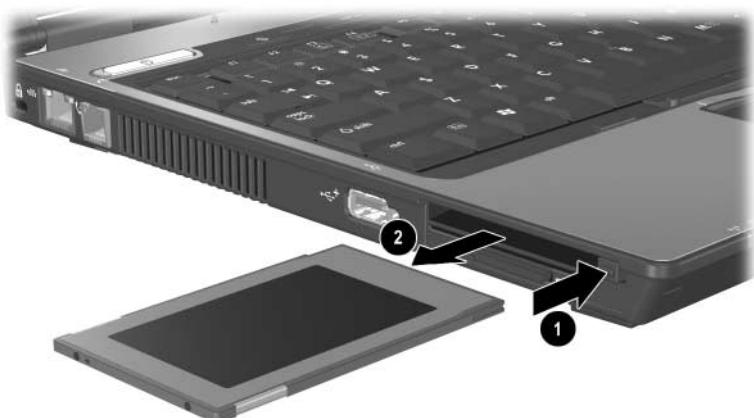


**注意:** データの損失やシステムが反応しなくなることを防ぐために、PCカードを取り出す前にPCカードを停止します。



使用していないPCカードを停止することで節電できます。

1. 以下の手順でPCカードを停止します。
  - a. 通知領域の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択します。(接続されているハードウェアの一覧がダイアログボックスに表示されます。)
  - b. PCカードを選択してから[停止]ボタンを選択します。(画面に[ハードウェアの取り外し]メッセージが表示されます。)
2. PCカード イジェクト ボタンを押します①。これでボタンが外側に出て、PCカードを取り出せるようになります。
3. PCカードを取り出すには、外側に出たPCカード イジェクト ボタンを押します。
4. カードを持ち、ゆっくりとスライドさせて取り出します②。



---

## SDカード

### SDカードとは

SD (Secure Digital) メモリ カードは切手くらいの大きさの記憶装置で、データを格納してそれをPDA、カメラ、その他のSD対応のPCなどのデバイス間で共有することができます。



## 挿入



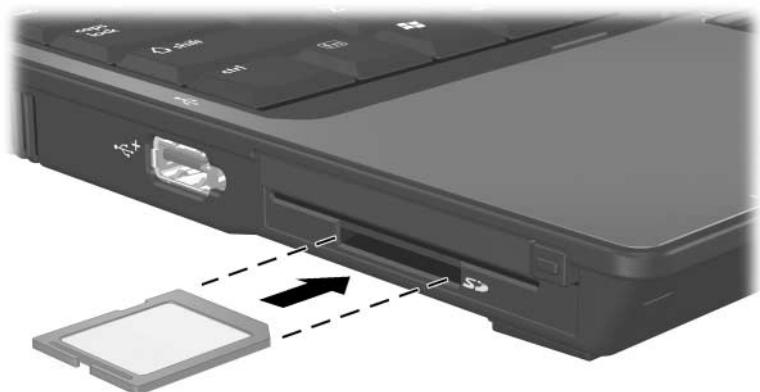
**注意：**SDカード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- SDカード スロットにSDカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。
- SDカードがSDカード スロットに挿入されているときには、ノートブック コンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

---

SDカードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. SDカードのラベル側を上にして、SDカード スロットに挿入します。
2. カチッという音がするまでカードをスライドさせて、しっかりとスロットに挿入します。



## 取り出し



**注意：**データの損失やシステムのロックを防ぐために、SDカードを取り出す前にカードを停止します。

SDカードを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. SDカードを使用しているアプリケーションとファイルをすべて閉じます。
2. 以下の手順でSDカードを停止します。
  - a. 通知領域の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択します。(接続されているハードウェアの一覧がダイアログボックスに表示されます。)
  - b. SDカードを選択してから[停止]ボタンを選択します。(画面に[ハードウェアの取り外し]メッセージが表示されます。)
3. SDカードを静かに押して①、ロックを外します。
4. SDカードをスライドさせて、スロットから取り出します②。



## メモリ モジュール

### メモリ モジュールとは



**警告**：感電やノートブック コンピュータの損傷を防ぐため、メモリ コンパートメントまたはメイン ハード ドライブ以外のコンパートメントにはアクセスしないでください。ユーザがアクセスできるコンピュータの内部コンパートメントは、メモリ コンパートメントまたはメイン ハード ドライブだけです。その他のコンパートメントに対して作業を行う必要がある場合は、必ず弊社のサポート窓口にご依頼ください。



**警告**：感電やノートブック コンピュータの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリ パックをコンピュータから取り外してください。



**注意**：静電気 (ESD) による電子部品の損傷を防ぐため、作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまつた静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、Notebook Documentation CD に収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

メモリ モジュール（メモリ カードとも呼ばれます）は、メモリ チップを内蔵している幅の狭いプリント基板です。メモリ モジュールは、メモリ スロットに取り付けられています。

お使いのノートブック コンピュータには、2基のメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。メイン メモリ モジュール コンパートメントは、キーボードの下にあります。拡張メモリ モジュール コンパートメントは、コンピュータの裏面にあります。

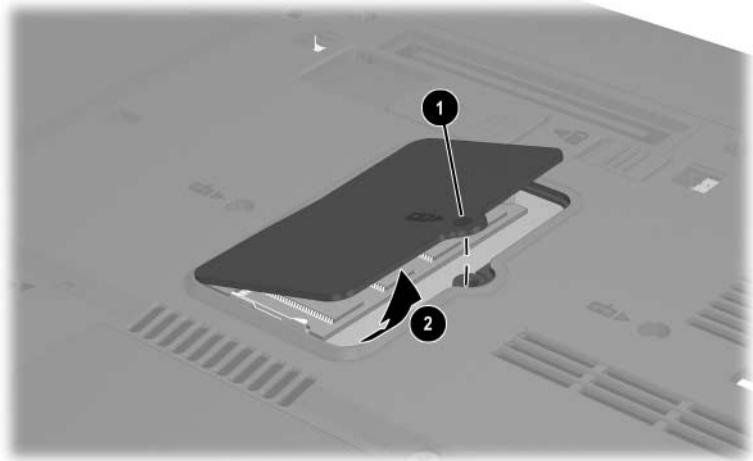
ノートブック コンピュータのメモリ容量をアップグレードするには、メモリ モジュールを拡張スロットに追加するか、メイン メモリ モジュールスロットに装着されているメモリ モジュールをアップグレードします。

## 拡張メモリ モジュール スロット

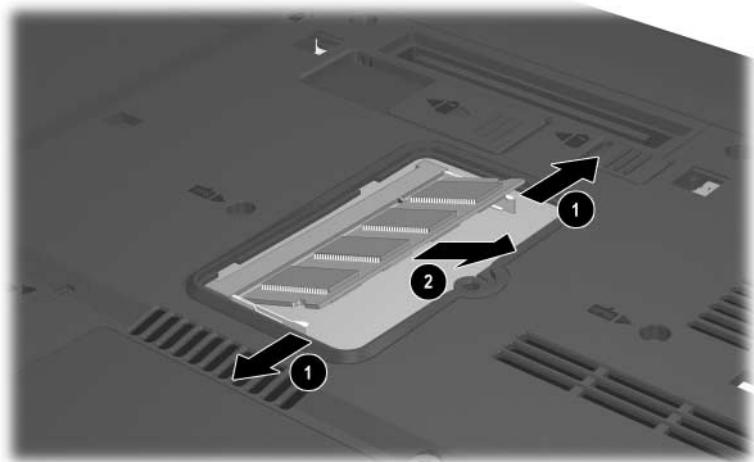
拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加したり、メモリ モジュールをアップグレードしたりするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを左または右方向に押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。
4. ノートブック コンピュータを裏返します。
5. すべてのバッテリ パックをノートブック コンピュータから取り外します。

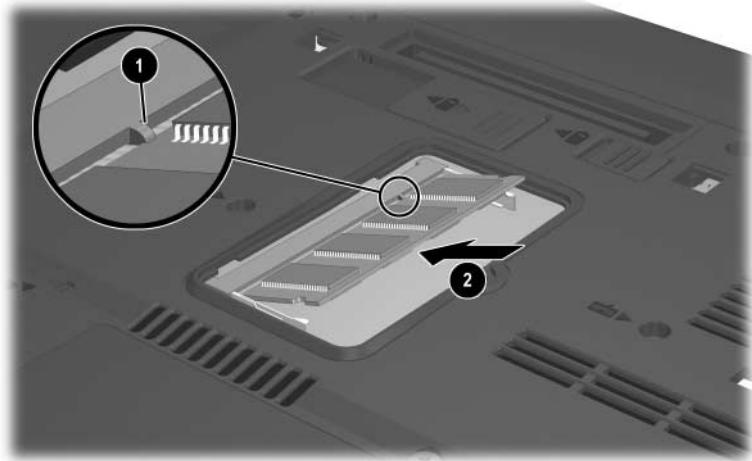
6. メモリ モジュール カバーのネジ①を緩めます。
7. メモリ モジュール カバーをノートブック コンピュータから持ち上げて取り外します②。



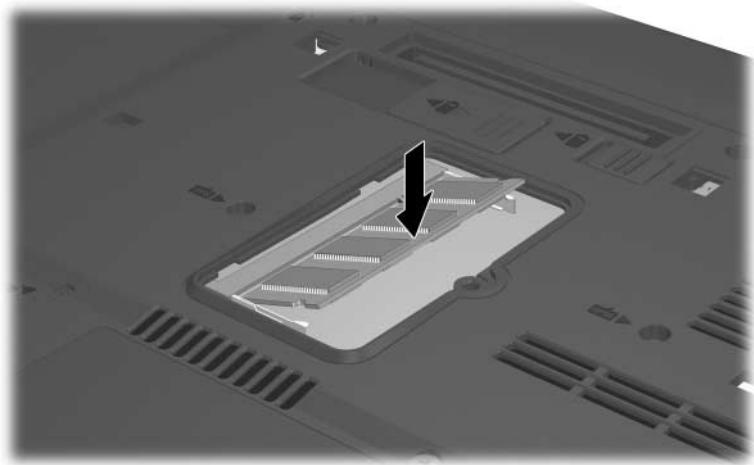
8. メモリ スロットにメモリ モジュールが取り付けられている場合は、以下の手順で取り外します。
  - a. メモリ モジュールの両側にあるプラスチック製の止め具を左右に引っ張ります①。モジュールが少し上に出てきます。
  - b. モジュールの両端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて取り外します②。取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。



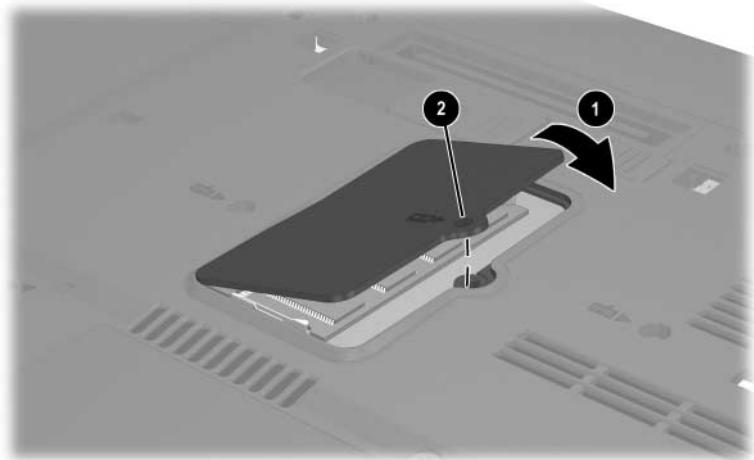
9. 以下の手順に従って、新しいメモリ モジュールを取り付けます。
  - a. モジュールの切り込みとメモリ スロットの切り込みを合わせます①。
  - b. メモリ スロットに収まるまで、メモリ コンパートメントの表面から $45^{\circ}$  の角度でモジュールを差し込みます②。



c. カチッと音がして留め具がモジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます。



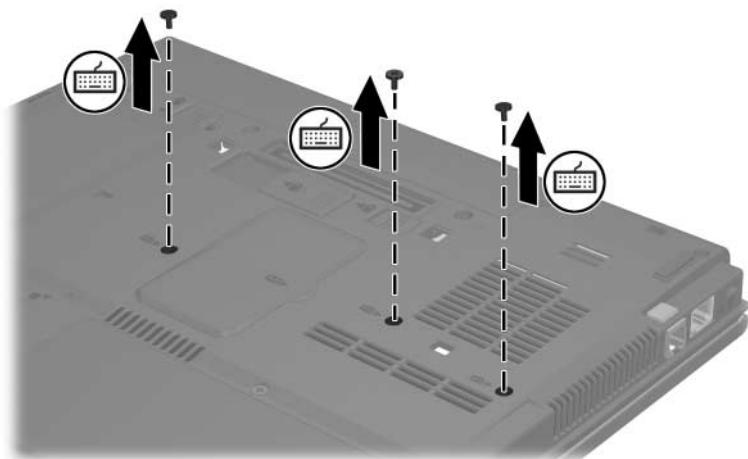
10. メモリ モジュール カバーを取り付けなおして①、メモリ モジュール カバーのネジ②を締めます。



## メイン メモリ モジュール スロット

メイン メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを左または右方向に押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。
4. ノートブック コンピュータを裏返します。
5. すべてのバッテリ パックをノートブック コンピュータから取り外します。
6. ノートブック コンピュータの裏面から、3つのキーボード固定ネジを取り外します。(各キーボード固定ネジの横にはキーボードのアイコンが記されています。)

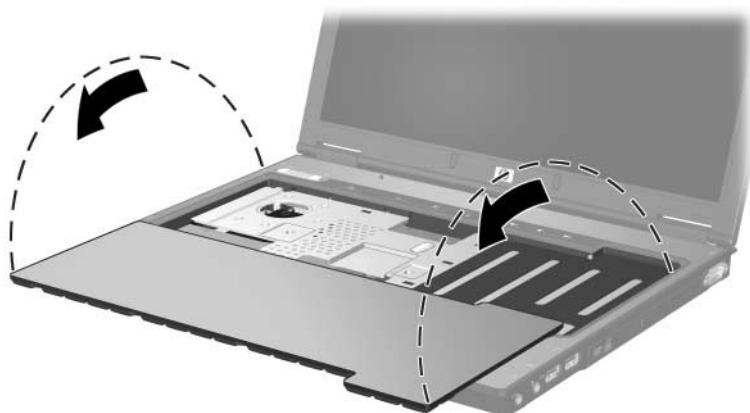


7. ノートブック コンピュータのディスプレイ側を上にして開きます。

8. 4つのキーボード ラッチを、ディスプレイと反対の方向へスライドさせます。

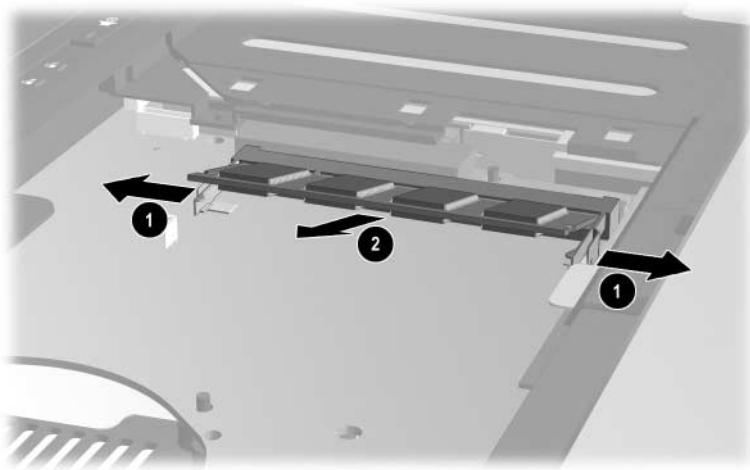


9. キーボードの上端部分を持ち上げて、ノートブック コンピュータのパームレストに乗るまで回転させます。



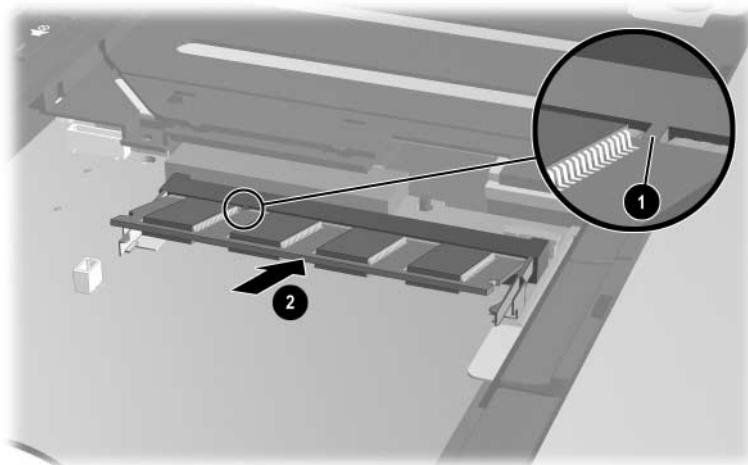
10. 以下の手順に従って、メモリ モジュールスロットからメモリ モジュールを取り外します。

- メモリ モジュールの両端の留め具を外側に引っ張ります①。(メモリ モジュールが解放されると、少し上に出てきます。)
- メモリ モジュールの端を持ち、45° の角度でゆっくりとスロットから取り外します②。

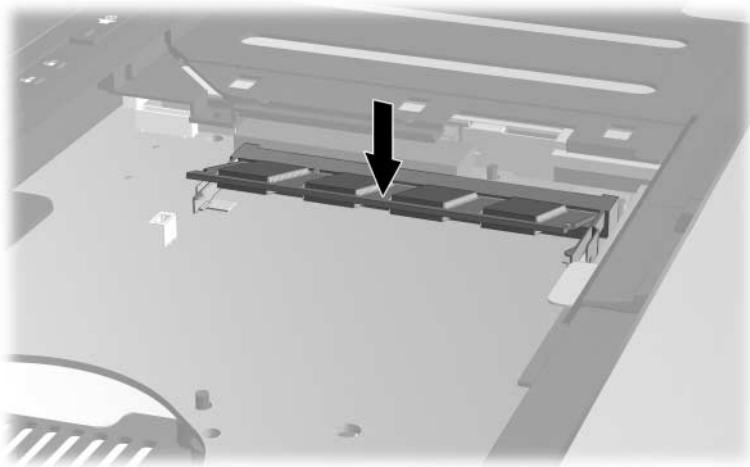


**注意:** 取り外したモジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

11. 以下の手順に従って、新しいメモリ モジュールをメモリ モジュール スロットに取り付けます。
  - a. モジュールの切り込みと拡張スロットの切り込みを合わせます ①。
  - b. メモリ スロットに収まるまで、45° の角度でモジュールを差し込みます ②。



- c. カチッと音がして留め具がモジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます。



12. キーボードを取り付けなおし、キーボード リリース ラッチを上方向にスライドさせて固定します。
13. キーボード固定ネジをノートブック コンピュータの裏面に取り付けなおします。
14. バッテリ パックを装着しなおします。
15. 外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
16. ノートブック コンピュータを起動しなおします。

## ハイバネーション ファイル

ランダム アクセス メモリ (RAM) を増設すると、ハイバネーション ファイルに必要なハード ドライブ 領域がオペレーティング システムによって拡張されます。

メモリを増設した後にハイバネーションに関する問題が発生した場合は、ハイバネーション ファイルの拡張に必要な空き領域がハード ドライブに十分にあることを確認してください。

システムに搭載されたRAMの容量を表示するには、以下の手順で操作します。

» [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[全般]タブの順に選択します。

または

» [fn]+[esc]キーを押します。

ハード ドライブ の空き領域を表示するには、以下の操作を行います。

1. デスクトップの[マイ コンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
2. ハード ドライブ を選択します (ドライブ の容量についての情報が、 ウィンドウ の下部のステータス バー に表示されます)。

ハイバネーション ファイルに必要な容量を表示するには、以下の手順で操作します。

» [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]アイコン→[休止状態]タブの順に選択します。

## USBデバイス

### USBとは

USB (Universal Serial Bus) は、USBキーボード、マウス、ドライブ、プリンタ、スキャナ、ハブなどの外付けデバイスをノートブックコンピュータに接続して使用できるハードウェアのインターフェースです。コンピュータには、USB 2.0およびUSB 1.1のデバイスをサポートする標準USBポートが3つ装備されています。



## USBデバイスの接続

USBハブは、ノートブック コンピュータまたは別売のドッキング デバイスのUSBポート、または他のUSBデバイスに接続できます。ハブはさまざまなUSBデバイスをサポートし、ハブを使用することにより、システムに接続するUSBデバイスの数を増やすことができます。外部電力を使用するハブの場合、外部電力に接続する必要があります。外部電力を使用しないハブの場合、コンピュータのUSBポートまたは外部電力を使用するハブのポートに接続する必要があります。

## オペレーティング システムおよびソフトウェア

USBデバイスは、対応するUSB以外のデバイスと同様に機能しますが、次の1点の例外があります。デフォルトでは、USBをサポートするオペレーティング システムがノートブック コンピュータにインストールされない限り、USBデバイスは動作しません。

USBデバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。追加サポート ソフトウェアおよびそのインストール方法について詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

## USBレガシー サポート

次のような場合に、USBレガシー サポートを有効にする必要があります。

- ノートブック コンピュータの起動時、またはWindows以外のアプリケーションやユーティリティで、コンピュータのUSBポートに接続されたUSBキーボード、マウス、またはハブを使用する場合
- 別売の外付けマルチベイから起動する場合

USBレガシー サポートを有効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. 画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
3. [Advanced] (詳細設定) →[Device Options] (デバイス オプション) の順に選択します。
4. [USB legacy support] (USBレガシーサポート機能) を選択します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (設定を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

## モデムおよびネットワーク接続

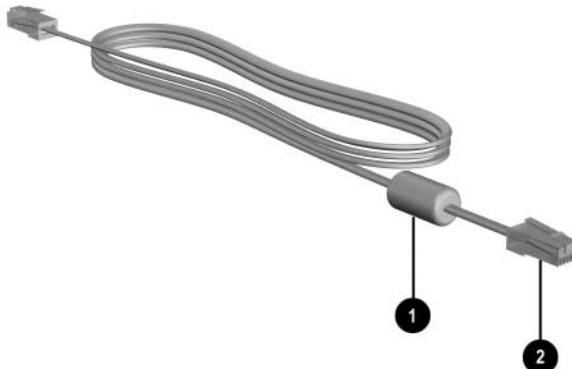
### 内蔵モデム



**注意:** ノートブック コンピュータをデジタル回線に接続すると、モデムが損傷して永久に使用できなくなる場合があります。間違ってモデムケーブルをデジタル回線に接続した場合は、すぐに取り外してください。

6ピンのRJ-11コネクタが両端に付いたモデムケーブルをアナログ電話回線に接続してください。国によっては、各国仕様のモデムアダプタが必要な場合があります。デジタルPBXシステム用のコネクタは、アナログ電話回線用のモジュラコンセントと似ていますが、このモデムには使用できません。

モデムケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア①が付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端②をコンピュータ側に向けます。



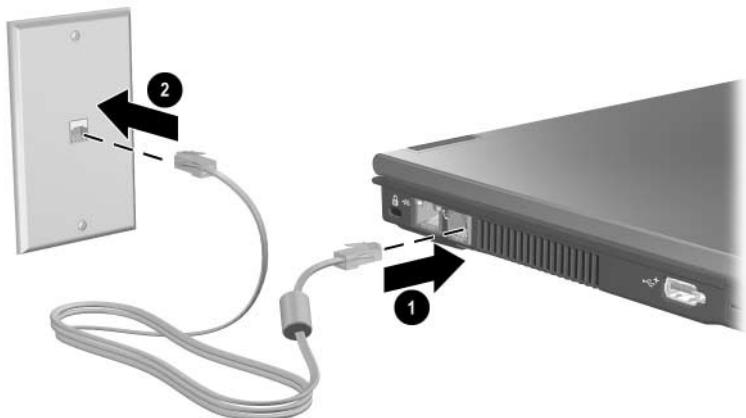
## モデム ケーブルの使用

モデム ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。



**警告：**火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルを RJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。

1. モデム ケーブルをコンピュータ本体の RJ-11 (モデム) コネクタに差し込みます①。
2. モデム ケーブルのもう一方の端を電話回線用モジュラ コンセントに接続します②。



モデムの使用方法またはAT コマンドやダイヤル設定コマンドの使用方法について詳しくは、Notebook Documentation CDに収録されている『モデム コマンドに関するガイドライン（上級者向け）』（英語版）を参照してください。

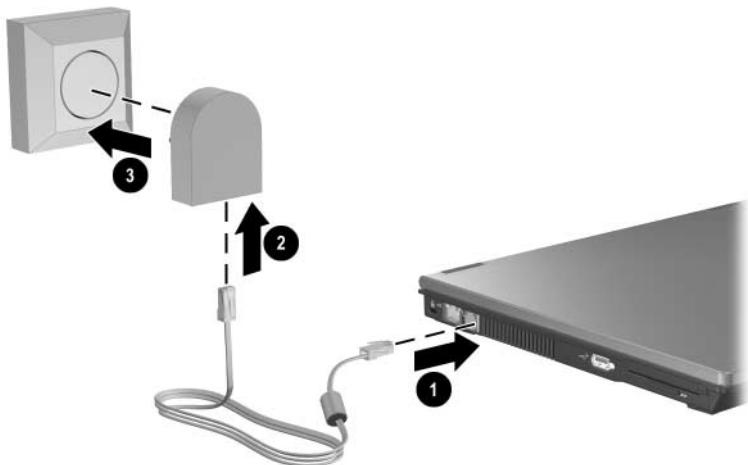
## 各国仕様のモデム ケーブル アダプタの使用



**警告：**火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルを RJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。

モジュラ コンセントは国により異なります。モデムおよびモデム ケーブルを国外で使用する場合は、各国仕様のモデム アダプタを用意する必要があります。RJ-11 モデム コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラ コンセントにケーブルを接続する場合は、以下の手順で操作します。

1. モデム ケーブルをコンピュータ本体の RJ-11 (モデム) コネクタに差し込みます①。
2. モデム ケーブルを各国仕様のモデム アダプタに接続します②。
3. 各国仕様のモデム アダプタを電話回線用モジュラ コンセントに接続します③。



## モデムの使用国の選択

### 使用国設定の確認

現在の国の設定を確認するには、以下の手順で操作します。



**注意:** 日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の通信規格に準拠するように設定されています。このモデムを日本国内で使用する場合は、必ずこのまま日本用の設定でお使いください。日本以外の国用の設定で使用すると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]ウィンドウの左上部分に表示されているメニューから、[電話とモデムのオプション]を選択します。
3. [ダイヤル情報]を選択します。
4. [所在地]リストから現在の所在地を選択して、[編集]を選択します。[所在地の編集]ウィンドウが表示されます。
5. [国/地域]で、現在の国を確認します。
6. [市外局番]に適切な市外局番が表示されていることを確認します。

## 旅行先の所在地の新規追加



**注意:** モデムの日本用の設定は削除しないでください。日本用の設定を保持した状態で国外でモデムを使用できるようにするには、モデムを使用する国や地域ごとに所在地の構成を新規に追加します。



**注意:** お使いのモデムの設定が、旅行先の国や地域の通信規定や法律に違反することを防ぐため、その国や地域の設定を選択してください。また、国を正しく選択しないと、モデムが正しく機能しない場合があります。サポートされていない国を選択するとメッセージが表示されます。その国ではこのモデムの使用が認可されていないので、使用しないでください。

ノートブック コンピュータを国外で使用する場合は、使用する国の規格に準拠するように内蔵モデムを設定することをおすすめします。

デフォルトでは、お使いのモデムで使用可能な所在地設定は日本用の設定のみです。新しく追加した所在地設定はノートブック コンピュータに保存され、設定をいつでも切り替えられるようになります。コンピュータには、任意の国の所在地設定を複数追加できます。

お使いのモデムの所在地設定を追加するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続] ウィンドウの左上部分に表示されているメニューから、[電話とモデムのオプション]を選択します。
3. [ダイヤル情報]を選択します。
4. [新規]を選択します。[新しい所在地] ウィンドウが表示されます。
5. [所在地] テキスト フィールドに、新しく追加する所在地設定を入力します。

6. [国/地域] ドロップダウン リストから、国または地域を選択します。モデムでサポートされていない国または地域を選択すると警告が表示され、デフォルトの[米国]または[英国]が選択されます。
7. [OK] を選択して、新しい所在地設定を保存します。([ダイヤル情報] ウィンドウが表示されます。) 次に、以下の操作を行います。
  - 新しい所在地設定を現在地の設定として使用するには、[OK] を選択します。
  - 他の所在地設定を現在地の設定として使用するには、[所在地] リストから使用する設定を選択して、[OK] を選択します。



国外の設定と同じように、日本国内の所在地設定も追加できます。たとえば、外線に接続するダイヤル情報を含む設定を「仕事」という名前で追加することができます。

---

## 国外での接続に関する問題の解決

ノートブック コンピュータを購入した国以外でモデムを使用しているときに問題が発生した場合は、次のことを試してみてください。

### ■ 電話回線の種類の確認

モデムには必ずアナログ電話回線を使用します（デジタル回線を使用しないでください）。PBX回線と呼ばれる回線は、通常はデジタル回線です。データ回線、FAX回線、モデム回線、標準電話回線と呼ばれている電話回線のほとんどは、アナログ回線です。

### ■ パルスとトーンのどちらのダイヤル方法を使用しているかの確認

アナログ回線では、パルスまたはトーンのダイヤルモードのうち1つをサポートしています。モデムの所在地設定には、ダイヤルモードオプションも含まれています。現在のモデムの所在地設定のダイヤルモードオプションには、お使いの電話回線でサポートされているダイヤルモードを設定する必要があります。

お使いの電話回線でサポートされているダイヤル モードを判断するには、電話機で数桁の番号をダイヤルして、ダイヤル音を聞きます。カタカタという音（パルス音）がする場合は電話回線がパルスダイヤル方式をサポートし、ピポッピ音がする場合はトーン ダイヤル方式をサポートしていることを示しています。

現在のモデムの所在地設定でダイヤル モード オプションを変更するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続] ウィンドウの左上部分に表示されているメニューから、[電話とモデムのオプション]を選択します。
3. [ダイヤル情報]タブを選択します。
4. モデムの所在地設定を選択します。
5. [編集]を選択します。
6. [トーン]または[パルス]を選択します。
7. [OK]→[OK]の順に選択します。

## ■ ダイヤル先の電話番号と受信先のモデムの応答の確認

電話で送信先の電話番号をダイヤルし、受信側のモデムが応答することを確認します。

## ■ ダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定する

認識できないダイヤル トーンを受信すると、モデムはダイヤルせずに、[No Dial Tone]エラー メッセージを表示します。

ダイヤル前のダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定するには、次の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続] ウィンドウの左上部分に表示されているメニューから、[電話とモデムのオプション]を選択します。

3. [モデム]を選択します。
4. お使いのモデムを選択します。
5. [プロパティ]を選択します。
6. [モデム]を選択します。
7. [発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスをオフにします。
8. [OK]→[OK]の順に選択します。

[発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスをオフにしても[No Dial Tone]エラー メッセージが表示される場合は、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]ウィンドウの左上部分に表示されているメニューから、[電話とモデムのオプション]を選択します。
3. [ダイヤル情報]を選択します。
4. 現在のモデムの所在地設定を選択します。
5. [編集]を選択します。
6. [国/地域]ドロップダウンリストから、現在地を選択します。モデムでサポートされていない国または地域を選択すると警告が表示され、デフォルトの[米国]または[英国]が選択されます。
7. [適用]→[OK]の順に選択します。
8. [電話とモデムのオプション]ウィンドウで、[モデム]を選択します。
9. 使用するモデムを選択してから、[プロパティ]を選択します。
10. [発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスをオフにします。
11. [OK]→[OK]の順に選択します。

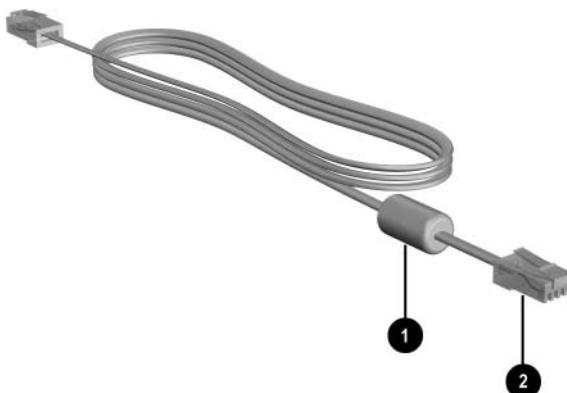
## プリインストールされている通信ソフトウェア

ターミナルエミュレーションおよびデータ転送用に、プリインストールされているモデム ソフトウェアを使用するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順に選択します。
2. 適切なターミナルエミュレーションプログラムを選択するか、インターネット接続 ウィザードの指示に従います。

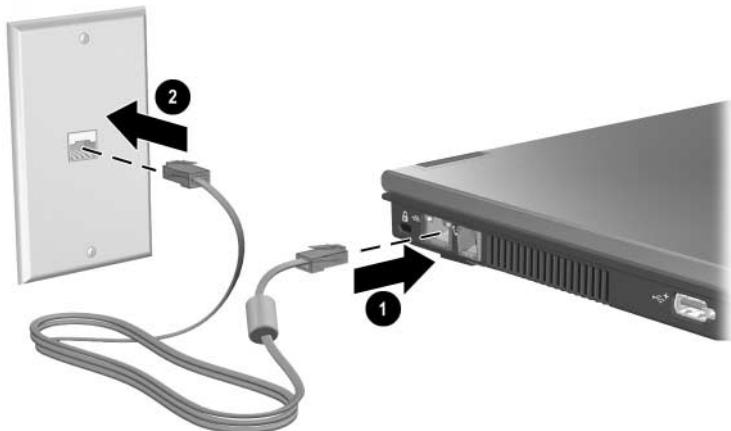
## ネットワーク

ネットワーク ケーブルの両端には8ピンのRJ-45コネクタが付いています。ネットワーク ケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア①が付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端②をコンピュータ側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。

1. ネットワーク ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-45 (ネットワーク) コネクタに差し込みます①。
2. ケーブルのもう一方の端を壁のネットワーク コネクタに差し込みます②。



お使いのノートブック コンピュータにはLAN節電機能が搭載されており、バッテリ電力の消費を抑えることができます。コンピュータが外部電源から切断され、ネットワーク ケーブルが取り外されると、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。詳しくは、「[第2章 電源](#)」の「[LAN節電モードの使用](#)」を参照してください。

---

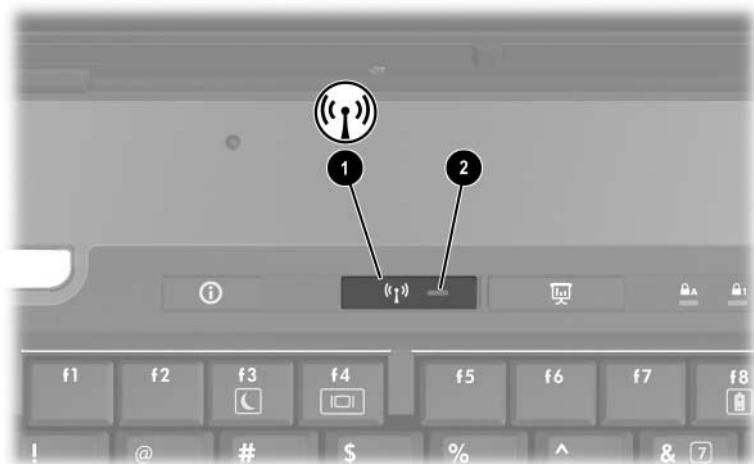
---

## 無線

802.11やBluetoothなどの無線デバイスが内蔵されているノートブック コンピュータは、無線コンピュータです。

- 802.11無線ノートブック コンピュータは職場、自宅、および公共の場所にある無線ネットワークに接続できます。無線ネットワークには、無線ローカルエリアネットワーク（無線LAN）または「無線LANスポット」があります。無線LANスポットは、空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学などの公共の場で使用できるアクセス ポイントです。
- Bluetooth無線ノートブック コンピュータは無線パーソナル エリアネットワーク（PAN）を使用して、他のBluetooth無線対応デバイスに接続できます。

お使いのノートブック コンピュータには、802.11無線デバイスおよびBluetooth無線デバイスを有効/無効にできるボタンと、無線デバイスの状態を示す関連のランプがあります。次の図に、無線ボタン①および無線ランプ②を示します。



無線ボタンとランプの他に、ノートブック コンピュータには、無線デバイスをオン、オフ、有効、および無効にできるソフトウェアがあります。次の表では、これらのソフトウェアについて説明します。

---

#### 無線コントロール 説明

---

Wireless Assistant 802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスのオン/オフを個別に切り替えられるソフトウェア ユーティリティです。  
Wireless Assistantの使用について詳しくは、この章の「[デバイスの電源状態](#)」を参照してください

---

Computer Setup [Computer Setup]で802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスの有効/無効を切り替えられます。[Computer Setup]を使用して802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスを制御する方法については、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください

---

## 無線ローカル エリア ネットワーク (一部のモデルのみ)

802.11無線デバイスを使用して、無線ローカルエリアネットワーク（無線LAN）にアクセスできます。無線LANは、無線ルータや無線アクセスポイントを使用して接続している他のコンピュータおよびデバイスで構成されています。

- 社内無線LANや公共の無線LANスポットなどの大規模無線LANでは通常、無線アクセスポイントが使用されます。無線アクセスポイントは、多数のコンピュータやデバイスに対応でき、重要なネットワーク機能を分離できます。
- 自宅または小規模オフィスの無線LANでは通常、無線ルータが使用されます。無線ルータを使用すると、ハードウェアやソフトウェアを追加せずに、数台の無線コンピュータや有線コンピュータでインターネット接続、プリンタ、およびファイルを共有できます。無線アクセスポイントおよび無線ルータは、同じ意味で使用されることがあります。

802.11無線LANデバイスを搭載するノートブックコンピュータでは、次の3つのIEEE物理層規格のうち1つ以上をサポートしています。

- 802.11a
- 802.11b
- 802.11g

無線LANアダプタには、次の3つの一般的な実装があります。

- 802.11bのみ
- 802.11b/g
- 802.11a/b/g

802.11bは最初に普及した無線LAN規格で、最大11 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、2.4 GHzの周波数で動作します。802.11gは後発の規格で、同様に2.4 GHzで動作しますが、最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートしています。802.11g無線LANデバイスは802.11bデバイスと下位互換性があるため、同じネットワーク上で動作できます。802.11aは最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、周波数5 GHzで動作します。802.11aは802.11bおよび802.11gと互換性がありません。ノートブックコンピュータに搭載されているデバイスの種類については、この章の「[無線LANデバイスの識別](#)」を参照してください。

## 社内無線LANへの無線ノートブックコンピュータの接続

ノートブックコンピュータを社内無線LANに接続する方法については、ネットワーク管理者またはIT部門に問い合わせてください。

## 公共の無線LANへの無線ノートブックコンピュータの接続

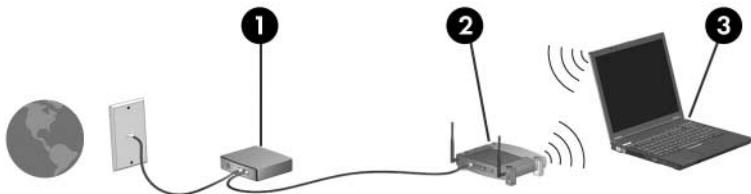
お近くの公共の無線LANの一覧については、ISPに問い合わせるか、インターネットで検索してください。

公共の無線LANの範囲内では、画面の下部に[ワイヤレスネットワーク接続]対話メッセージが表示されます。料金や接続の要件については、それぞれの公共の無線LANで確認してください。

## 自宅での無線LANの設定

自宅で無線LANを設定してインターネットに接続するには、次の設備が必要です。下の図に、完成した無線ネットワークの例を示します。この無線ネットワークには次のものが含まれます。

- インターネット サービス プロバイダ (ISP) から購入またはレンタルした、ブロードバンド モデム (DSLまたはケーブル) および高速インターネット サービス①
- 別売の無線ルータ (別途購入する必要があります) ②
- 無線ノートブック コンピュータ③



ネットワークの規模の拡大に応じて、追加の無線コンピュータおよび有線コンピュータをネットワークに接続してインターネットにアクセスできます。



無線LANのインストールの技術的な質問については、ルータの製造元またはISPに問い合わせてください。

## 無線LAN接続の使用

無線LAN接続を使用するには、以下のことを行います。

- 802.11 無線デバイスで必要なすべてのドライバがインストールされており、802.11無線デバイスが正しく設定されていることを確認します。
  -  内蔵 802.11 無線デバイスを使用している場合は、必要なすべてのドライバのインストールおよびアダプタの設定があらかじめ行われており、すぐに使用できる状態になっています。
- 内蔵802.11無線デバイスを使用している場合は、802.11無線デバイスがオンになっていることを確認します。802.11無線デバイスがオンになっていると、無線ランプが点灯します。無線ランプが消灯している場合は、802.11無線デバイスをオンにします。「[デバイスの電源状態](#)」を参照してください。
- ホーム無線LANの場合は、ルータが正しく設定されていることを確認します。手順については、ルータのマニュアルを参照してください。



その後の無線LAN接続の機能の範囲は、ノートブック コンピュータの無線LAN実装、ルータの製造元、さまざまな種類の壁面やその他の電子機器からの干渉によって、異なります。

無線LAN接続の使用について詳しくは、以下を参照してください。

- ISPからの情報や、無線ルータおよびその他の無線LAN機器に付属するマニュアルを参照します。
- [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して表示される情報や Webサイトにアクセスします。
- ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照します。 Notebook Documentation CDに収録されている『トラブルシューティング』には、無線LANデバイスの問題と解決方法に関する項目が記載されています。

## 無線セキュリティ機能の使用

独自の無線LANを設定する場合や既存の無線LANにアクセスする場合は、常にセキュリティ機能によって無線LANを保護する必要があります。無線LANのセキュリティを有効にしないと、権限のない無線ユーザからノートブックコンピュータのデータにアクセスされ、知らないうちにインターネット接続を利用されることがあります。

最も一般的なセキュリティレベルはWi-Fi Protected Access (WPA)-PersonalおよびWired Equivalent Privacy (WEP)です。ルータでWPA-PersonalまたはWEPセキュリティ暗号化を有効にするほかに、次のセキュリティ対策を使用できます。

- デフォルトのネットワーク名 (SSID) およびパスワードを変更する
- ファイアウォールを使用する
- Webブラウザにセキュリティを設定する
- ルータでMACアドレス フィルタを有効にする

無線LANのセキュリティについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/wireless> (英語サイト) を参照してください。

## 無線ソフトウェアのインストール (オプション)

Microsoft Windows XPでは、Zero Client Configuration機能による無線LAN設定をサポートしています。HPでは、Cisco Compatible Extensionsの使用を予定している場合にインストールする必要がある、個別の無線LAN設定ユーティリティを提供しています。Cisco Compatible Extensionsによって、無線デバイスでCiscoベースの無線LANを使用できるようになります。

## 無線LANデバイスの識別

内蔵802.11無線デバイス用のHP無線LANソフトウェアをインストールするには、ノートブックコンピュータの内蔵802.11無線デバイスの名称を知っておく必要があります。コンピュータに搭載されている802.11無線デバイスを識別するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータに搭載されている802.11無線デバイスのすべての名前を表示します。
  - a. [スタート]→[マイコンピュータ]の順に選択します。
  - b. [マイコンピュータ]ウィンドウ内を右クリックします。
  - c. [プロパティ]→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]→[ネットワークアダプタ]の順に選択します。
2. 表示されたリストから、802.11無線デバイスを探します。
  - 802.11無線デバイスの名前には、「wireless LAN」、「WLAN」、または「802.11」という文字が含まれます。
  - リストに802.11無線デバイスが表示されない場合、ノートブックコンピュータに内蔵802.11無線デバイスが搭載されていないか、802.11無線デバイス用のドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。

## 無線LANソフトウェアおよびマニュアルへのアクセス

無線LANソフトウェアはノートブックコンピュータにあらかじめプリロードされており、Software Setupユーティリティから使用できます。

次の手順で、無線LANソフトウェアをインストールします。

- » [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択し、画面の指示に従います。インストールするソフトウェアを選択するように求められたら、対応するチェックボックスをオンまたはオフにします。

無線LANソフトウェアはHPのWebサイトにて、SoftPaqとしても提供されています。SoftPaqにアクセスしてダウンロードし、お使いのノートブックコンピュータにインストールするには、次のどちらかの方法で操作します。

- [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

または

- HPのWebサイト (<http://www.hp.com/support>) にアクセスします。
  - 言語と地域を選択します。
  - [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]のオプションボタンを選択します。
  - お使いのコンピュータのモデル情報を入力し、Webサイトに表示される指示に従います。



無線LANソフトウェアは[ネットワーク]カテゴリに分類されています。お使いのコンピュータのモデルに関する情報は、コンピュータ本体に貼付されているシリアル番号ラベルを参照してください。シリアル番号ラベルはノートブックコンピュータの裏面に貼付されています。

無線LANソフトウェアのマニュアルにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. この章で説明した手順に従って、無線 LAN ソフトウェアをインストールします。
2. ユーティリティを開きます。
3. メニューバーの[ヘルプ]を選択します。

## デバイスのトラブルシューティング

トラブルシューティングについて詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/go/wireless>、英語サイト) にアクセスするか、ノートブックコンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

## Bluetooth（一部のモデルのみ）

Bluetoothデバイスによって近距離の無線通信が可能になり、次のような電子機器と接続するために従来使用されていた物理的なケーブル接続から無線通信へと、通信手段を変更できます。

- ネットワーク アクセス ポイント
- コンピュータ（デスクトップおよびノートブック コンピュータ、PDA）
- 電話（携帯電話、コードレス電話、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンタ、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカ）

Windows対応Bluetoothソフトウェアでは、デバイスは物理的な特徴を表すグラフィック アイコンで表示されます。これにより、デバイスを簡単に見分けられるようになります。他のクラスのデバイスと区別できます。

Windows対応Bluetoothソフトウェアには次の機能があります。

- 個人情報管理（PIM）アイテムの転送：他のBluetoothコンピュータやデバイスとの間で、名刺、予定表項目、メモ、メッセージ項目などの情報ファイルを送受信します。
- PIM 同期：Bluetoothを通じて、コンピュータ、PDA、または携帯電話間でPIMデータを同期します。
- ファイル転送：他のBluetoothコンピュータとの間でファイルの送受信を行います。
- ネットワーク アクセス（パーソナルエリア ネットワーク プロファイル）：2台以上のBluetooth対応デバイスでアドホック（ピアツーピア）ネットワークを構築できます。Bluetoothデバイスがネットワーク アクセス ポイントを通じてリモートネットワークに接続するための機能を提供します。ネットワーク アクセス ポイントとして、従来のLANデータ アクセス ポイント、または互いにのみ接続しているデバイスの組み合わせを表す複数のアドホック ネットワークを設定できます。

- ダイヤルアップ ネットワーク：Bluetooth対応デバイスをインターネットに接続します。
- Bluetoothシリアル ポート：仮想COMポートを使用して、Bluetoothリンク経由でデータを転送します。
- ハンズフリー：自動車内蔵型のハンズフリー ユニットまたはハンズフリー ユニットとして機能するノートブック コンピュータで、携帯電話との無線通信を確立し、Bluetooth対応携帯電話のオーディオ入出力装置として動作させることができます。
- 基本イメージング：Bluetooth対応カメラと他のBluetoothデバイスとの間での無線接続を提供します。カメラをノートブック コンピュータからリモートで制御でき、イメージをカメラからコンピュータに転送して保存したり、印刷したりできます。
- ヒューマンインターフェース デバイス：キーボード、ポインティングデバイス、ゲーム デバイス、およびリモート監視デバイスなどの他のBluetoothデバイスとの無線接続を提供します。
- Fax：ノートブック コンピュータで、Bluetooth携帯電話やBluetooth モデムを通じてFax メッセージを送受信するためのBluetooth接続を提供します。
- ヘッドセット：ヘッドセットとノートブック コンピュータまたは携帯電話との無線接続を提供します。ヘッドセットは、デバイスのオーディオ入出力装置として機能し、移動性を高めます。

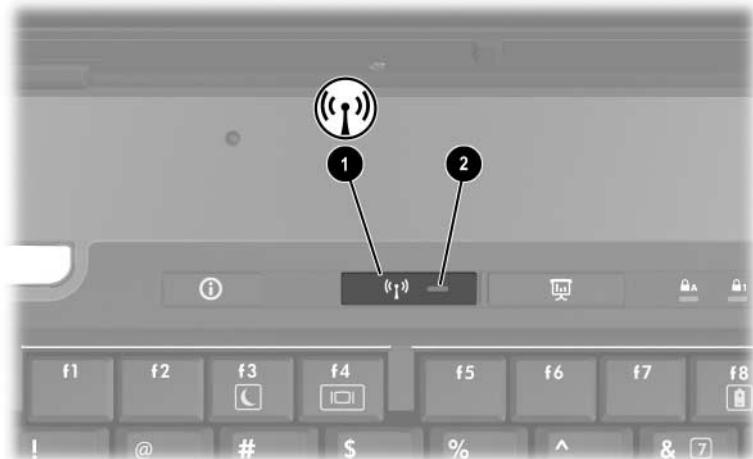
お使いのノートブック コンピュータでのBluetoothの使用について詳しくは、コンピュータに付属するWireless Documentation CDを参照してください。

## デバイスの電源状態

Wireless Assistantとともに無線ボタン①を使用して、802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスを有効または無効にできます。デフォルトでは、ノートブックコンピュータの電源を入れると、802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスおよび無線ランプ②が点灯します。



無線デバイスをオンにしても、自動的に無線LANを確立したり、無線LANに接続したりすることはできません。無線LANの設定について詳しくは、この章の「[無線ローカルエリアネットワーク（一部のモデルのみ）](#)」を参照してください。



802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスには、次の2つの電源状態があります。

- 有効
- 無効

[Computer Setup]で無線デバイスを有効または無効にできます。

[Computer Setup]を使用して802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスを制御する方法について詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。無線ボタンを使用して、無線デバイスを有効または無効にすることもできます。

[Computer Setup]および無線ボタンで無線デバイスを有効にした場合、Wireless Assistantを使用して、デバイスのオン/オフを個別に切り替えることができます。無線デバイスが無効になっている場合は、Wireless Assistantでオン/オフを切り替える前にデバイスを有効にする必要があります。

無線デバイスの状態を表示するには、通知領域の[Wireless Assistant]アイコンの上にカーソルを置くか、通知領域のアイコンをダブルクリックしてWireless Assistantを開きます。デバイスの状態がオン、オフ、または無効としてWireless Assistantに表示されます。さらに、Wireless Assistantには、[Computer Setup]でのデバイスの状態が有効または無効の形で表示されます。

Wireless Assistantについて詳しくは、以下の手順でヘルプを参照してください。

1. 通知領域のアイコンをダブルクリックして、Wireless Assistantを開きます。
2. [ヘルプ]ボタンを選択します。



[Computer Setup]で無線デバイスが無効にされている場合は、無線ボタンまたはWireless Assistantを使用してそれらのデバイスを制御することができません。

## デバイスの電源投入

状態	目的	操作
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方とも オフになっている	どちらかまたは両方の デバイスをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> <li>通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします</li> <li>オンにするデバイスを選択します</li> </ol>
■ 無線ランプが消灯している		 無線デバイスがオフになっている場合は、無線ボタンを押すと、両方のデバイスが無効になります。ボタンを押してもデバイスはオンになりません
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方とも 無効になっている*	どちらかまたは両方の デバイスをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> <li>無線ボタンを押します(デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります)</li> <li>無線デバイスがオフの場合、通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします</li> <li>オンにするデバイスを選択します</li> </ol>
■ 無線ランプが消灯している		
■ Wireless Assistant で、一方のデバイスが オンでもう一方のデバイスがオフになっている	どちらかまたは両方の デバイスをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> <li>通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします</li> <li>オンにするデバイスを選択します</li> </ol>
■ 無線ランプが点灯している		

\*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオンになっていた場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオンになりません。



ノートブックコンピュータの電源を入れたときに、無線デバイスもオンにするには、コンピュータをシャットダウンまたは再起動する前に無線デバイスをオンにしておく必要があります。

## デバイスの電源切斷および無効化

状態	目的	操作
■ Wireless Assistantで、無線LANおよびBluetooth が両方ともオンになっている	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが点灯している	どちらかまたは両方のデバイスをオフにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します
■ Wireless Assistantで、無線LANおよびBluetooth が両方ともオフになっている	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが消灯している	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ Wireless Assistantで、一方のデバイスがオンでもう一方のデバイスがオフになっている*	両方のデバイスをオフにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します
■ 無線ランプが点灯している	両方のデバイスをオフにする	無線ボタンを押します

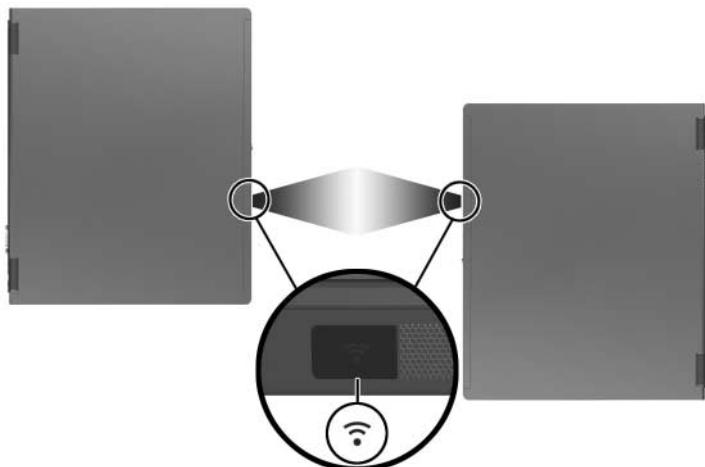
\*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオンになっていた場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオフにならない。

## 赤外線通信

ノートブック コンピュータはIrDAに準拠しているため（標準4 Mbps）、IrDAに準拠した他の赤外線装置との通信が可能です。

赤外線ポートは、最大115 Kbpsまでの低速通信および4 Mbpsまでの高速通信をサポートします。赤外線通信のパフォーマンスは、赤外線装置の性能、赤外線装置間の距離、および使用するアプリケーションによって異なります。

赤外線信号は、目に見えない赤外線ビームを介して通信されるので、赤外線装置間に障害物を置かないでください。



## 赤外線転送の設定

赤外線ソフトウェアの設定方法については、オペレーティングシステムのヘルプ ファイルを参照してください。

赤外線装置の転送を最適化するには、以下に注意します。

- 両方の装置の赤外線ポートを、転送可能な状態にします。
- 赤外線ポートが 1 メートル以内の距離で向かい合うように装置を設置します。
- 通信しようとしている装置の赤外線ポートから相手のポートへの方向の角度が 30° 以上（中心線から±15°）ずれないようにします。
- 直射日光、フラッシュ、蛍光灯などが赤外線ポートに直接あたらないようにします。
- ワイヤレス ヘッドフォンやオーディオ機器のリモコンなどを赤外線ポートに向けないようにします。
- データ転送中に装置を動かしたり、ビームをさえぎるような物を置いたり、動作を行ったりしないようにします。

## 赤外線転送中のスタンバイの使用

赤外線転送を行うときは、スタンバイは使用できません。お使いのノートブック コンピュータがスタンバイ状態の場合は、赤外線転送は開始されません。赤外線転送中にスタンバイが開始されると、転送は停止します。スタンバイから復帰するには、電源ボタンを右または左方向に押します。コンピュータがスタンバイから復帰すると、転送が再開されます。ただし、スタンバイが開始されたときに赤外線転送を使用していたプログラムは、停止した時点から続行されないことがあります。たとえば、プログラムで印刷が行われていたときにスタンバイが開始された場合、コンピュータがスタンバイから復帰したときに、そのプログラムの転送は再開されますが、印刷ジョブは再開されません。

## Mobile Printing

Mobile Printing for Notebooks を使用すると、ノートブック コンピュータに必要なプリンタ ドライバが付属していなくても、PostScript対応のHP ネットワーク プリンタで印刷できます。

Mobile Printingを使用するには、以下の手順で操作します。

1. 使用しているアプリケーションで、[ファイル]→[印刷]の順に選択します。
2. プリンタのリストから**[Mobile Printing]**を選択します。
3. **[印刷]**を選択します。
4. プリンタのIPアドレスまたはネットワーク パスを入力します。
5. **[印刷]**を選択します。

Mobile Printing のダウンロード方法および使用方法について詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/go/mobileprinting>、英語サイト) を参照してください。

## セキュリティ

### セキュリティの機能



セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブックコンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

ノートブックコンピュータで提供されているセキュリティ機能によって、コンピュータ本体、個人情報、およびデータをさまざまな危険から保護することができます。環境によっては、一部のセキュリティ機能が不要な場合もあります。

Windowsオペレーティングシステムのセキュリティ機能の他に使用するセキュリティ機能を決定するには、次ページの表が役立ちます。

これらの機能のほとんどは、[Computer Setup]で設定できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」の「[\[Security\] \(セキュリティ設定\) メニュー](#)」を参照してください。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
ノートブック コンピュータの不正な使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源投入時パスワード (Power-on password) *</li> <li>■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 詳しくは、この章の「<a href="#">HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ（一部のモデルのみ）</a>」を参照してください</li> </ul>
[Computer Setup]ユーティリティ (f10) HP管理者パスワード*への不正なアクセス	
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	DriveLock (ドライブロック) *
CD、フロッピーディスク、または内蔵ネットワーク アダプタ ブートからの不正な起動	Device security (デバイス セキュリティ) *
Windowsユーザ アカウントへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 別売のスマート カード 有効なスマート カードには、Windowsユーザ パスワードおよびWindows管理者パスワードの両方を保管できます。このため、アカウントにアクセスするにはスマート カードとスマート カードのPINの両方が必要になります</li> <li>■ Credential Manager for ProtectTools 詳しくは、この章の「<a href="#">Credential Manager for ProtectTools</a>」を参照してください</li> </ul> <p> このセキュリティ機能は特定のスマート カード リーダーでのみサポートされます</p>
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HP管理者パスワード</li> <li>■ Windowsファイアウォール ソフトウェア</li> <li>■ Windows Update</li> <li>■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 詳しくは、この章の「<a href="#">HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ（一部のモデルのみ）</a>」を参照してください</li> </ul>

(続く)

---

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
BIOS設定およびその他のシステム識別 情報への不正なアクセス	HP管理者パスワード
ノートブック コンピュータの 不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセ キュリティ ロック ケーブルとともに使用） セキュリティ ロック ケーブル用スロットについて詳 しくは、この章の「 <a href="#">別売のセキュリティ ロック ケ ブル</a> 」を参照してください

\*このセキュリティ機能は、[Computer Setup]で設定されます。[Computer Setup]は、ノートブック コンピュータが起動または再起動したときに[f10]キーを押すことでアクセスできる、Windowsで動作しないユーティリティです。[Computer Setup]を使用して特定のセキュリティ機能の設定を行う手順については、この章で説明します。システム情報の表示および他の[Computer Setup]機能の使用については、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

---

## [Computer Setup]でのセキュリティ設定

ほとんどのセキュリティの設定は、[Computer Setup]で設定します。  
[Computer Setup]はWindowsのユーティリティではないため、ノートブック コンピュータのポインティングデバイスはサポートされません。  
[Computer Setup]を使用するときは、キー入力で移動や選択を行う必要があります。

詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

## パスワード

ほとんどのセキュリティ機能では、パスワードが使用されます。パスワードを設定したら、パスワードを書き留め、ノートブックコンピュータから離れた安全な場所に保管してください。

- 電源投入時パスワード（Power-on password）やHP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、コンピュータを起動したりハイバネーションから復帰したりできなくなります。詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。
- HP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、[Computer Setup]にアクセスできなくなります。
- DriveLockのuser password（ユーザパスワード）だけを忘れてしまった場合は、master password（マスタパスワード）を使用してDriveLockを解除できます。

詳しくは、この章の「[DriveLock（ドライブロック）](#)」を参照してください。

## HPパスワードとWindowsのパスワード

HPセキュリティ機能とWindowsオペレーティングシステムのセキュリティ機能は、互いに独立しています。たとえば、[Computer Setup]で使用禁止にした装置をWindowsで使用可能にすることはできません。

パスワードオプションには、HPのソフトウェアで提供されるものとオペレーティングシステムによって提供されるものがあります。また、HPパスワードとWindowsのパスワードは互いに独立しています。次ページの表にパスワードとWindowsのパスワードの一覧を示し、それぞれの機能を説明します。

スクリーンセーバのパスワードなど、他のWindowsのパスワードについて詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]を参照してください。

HPパスワード	機能
HP管理者パスワード	[Computer Setup]へのアクセスを保護します
電源投入時パスワード (Power-on password)	起動時または再起動時にノートブック コンピュータにアクセスするために使用します
DriveLock (ドライブロック) の master password (マスタ パスワード)	HP管理者が、DriveLockによって保護されているドライブにアクセスするため、およびDriveLockによるドライブへの保護を解除するために使用します
DriveLockのuser password (ユーザ パスワード)	ノートブック コンピュータの通常のユーザが、起動時にDriveLockによって保護されたドライブにアクセスするために使用します
スマート カードのPIN	スマート カードの認証に使用します 別売のスマート カード リーダーがこの機能に対応している場合は、電源投入時パスワードおよびHP管理者パスワードをスマート カードに保管できます。[Computer Setup]でスマート カードのセキュリティ機能を有効にしてから、HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ) を有効にする必要があります。詳しくは、この章の「 <a href="#">HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)</a> 」を参照してください
Windowsのパスワード	機能
管理者パスワード*	ノートブック コンピュータの内容へのアクセスを、Windowsの管理者レベルで保護します
ユーザ パスワード*	スタンバイを終了した後の、ノートブック コンピュータの内容を保護します

\*Windowsの管理者パスワードまたはWindowsのユーザ パスワードの設定については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

## HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン

HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに代替できるものではありません。HPパスワードの入力画面ではHPパスワードを、Windowsのパスワードの入力画面ではWindowsのパスワードを使用する必要があります。たとえば、次のようになります。

- 電源投入時パスワード (Power-on password) を設定した場合は、ノートブックコンピュータが起動するかハイバネーションから復帰するときに、Windowsのパスワードではなく電源投入時パスワードを入力する必要があります。
- スタンバイから復帰する前にパスワードの入力を要求するようにWindowsを設定した場合、スタンバイから復帰するには電源投入時パスワードではなくWindowsのパスワードを入力する必要があります。

以下の点を考慮すれば、HPパスワードとして使用する単語、文字列、または数字を、別のHPパスワードやWindowsのパスワードとして使用できます。

- HPパスワードは32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。
- HPパスワードは、設定したときと同じ種類のキーで入力する必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHPパスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。

内蔵テンキーについては、「[第3章 ポイントティング デバイス および キーボード](#)」の「テンキー」を参照してください。

さまざまなパスワードに対して同じ文字を使用できますが、HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに独立しています。HPパスワードおよびWindowsのパスワードに対して同じ文字を使用する場合でも、HPパスワードを[Computer Setup]で、Windowsのパスワードをオペレーティングシステムで設定する必要があります。



HP管理者パスワードとWindowsの管理者パスワードは、名前は似ていますが機能は異なります。たとえば、Windowsの管理者パスワードは[Computer Setup]へのアクセスには使用できず、HP管理者パスワードはノートブックコンピュータの内容への管理者レベルのアクセスは提供できません。ただし、両方のパスワードに同じ文字を使用することはできます。

## HP管理者パスワード

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティ内のコンフィギュレーションの設定値とシステム識別情報を保護します。いったんこのパスワードを設定すると、次回から[Computer Setup]ユーティリティで操作するにはパスワードの入力が必要になります。

HP管理者パスワードには、次のような特徴があります。

- HP管理者パスワードとWindowsの管理者パスワードには、同じ単語、文字列、または数字を使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じ種類のキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHP管理者パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

## HP管理者パスワードの設定

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティで設定、変更、または削除できます。

パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [Administrator password] (管理者パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
  - HP管理者パスワードを設定する場合は、パスワードを [New password] (新しいパスワード) フィールドと [Verify new password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - HP管理者パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを [Old password] (現在のパスワード) フィールドに入力し、新しいパスワードを [New password] フィールドと [Verify new Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - HP管理者パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを [Old password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。

5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## HP管理者パスワードの入力

管理者パスワードの入力画面が表示されたら管理者パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して入力し、[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

## 電源投入時パスワード（Power-On Password）

電源投入時パスワードはノートブックコンピュータが不正に使用されることを防ぎます。パスワードの設定後は、コンピュータの電源投入時または再起動時に入力が必要になります。電源投入時パスワードには以下の特徴があります。

- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じ種類のキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使って電源投入時パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

## 電源投入時パスワードの設定

[Computer Setup] ユーティリティを使用して、電源投入時パスワードを設定、変更、または削除できます。

パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [Power-On password] (電源投入時パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
  - 電源投入時パスワードを設定する場合は、パスワードを[New password] (新しいパスワード) フィールドと[Verify new password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - 電源投入時パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを[Old password] (現在のパスワード) フィールドに入力し、新しいパスワードを[New password] フィールドと[Verify new password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - 電源投入時パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを[Old password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。

5. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。  
[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## 電源投入時パスワードの入力

電源投入時パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力して[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

## 再起動時の電源投入時パスワードの要求

ノートブックコンピュータを再起動するたびに電源投入時パスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Password options]（パスワードオプション）→[Require password on restart]（再起動時にパスワードを要求する）の順に選択します。

5. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。
6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→ [Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLock（ドライブロック）

---



**注意：**DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスタ パスワード）の両方を忘れてしまうと、ハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、**保証期間内でもドライブの交換は有償で承っております**のでご了承ください。

---

DriveLockは、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止します。いったんDriveLockによるプロテクトを設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLockのパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブを別売のドッキングデバイス（一部のモデルのみ）や外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータに装着する必要があります。

DriveLockでは、[Computer Setup]で設定されたmaster passwordおよびuser passwordが必要です。

- DriveLockによってプロテクトされているハードドライブにアクセスするには、user passwordまたはmaster passwordのどちらかが必要です。
- DriveLockによるドライブのプロテクトを解除しないと、user passwordやmaster passwordを削除できません。DriveLockによるハードドライブのプロテクトを解除するには、master passwordが必要です。

- user passwordは、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザが設定する必要があります。master passwordは、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザが設定できます。
- user passwordとmaster passwordは、同じであってもかまいません。



電源投入時パスワード (Power-on password) とDriveLockパスワードの両方に同じパスワードを使用している場合、DriveLockでプロテクトされたハードドライブからノートブックコンピュータを起動すると、電源投入時パスワードとDriveLockパスワードの両方の入力ではなく、電源投入時パスワードの入力のみを要求されます。

## DriveLockパスワードの設定

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブックコンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロックパスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択して、[f10]キーを押します。

6. プロテクトを有効にして、[f10]キーを押します。
7. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[f10]キーを押します。
8. user passwordを[New password]（新しいパスワード）フィールドと[Verify new password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
9. master passwordを[New password]フィールドと[Verify new password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
10. 選択したドライブに対するDriveLockのプロテクトを確定するには、確認用のフィールドに「**DriveLock**」と入力して、[f10]キーを押します。
11. DriveLockの設定を保存するには、[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLockパスワードの入力

1. ハードドライブが、別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなくノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイに装着されていることを確認します。
2. DriveLockパスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用してuser passwordまたはmaster passwordを入力し、[enter]キーを押します。



---

2回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

---

## 再起動時のDriveLockパスワードの要求

ノートブックコンピュータを再起動するたびにDriveLockパスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Password options]（パスワードオプション）→[Require password on restart]（再起動時にパスワードを要求する）の順に選択します。
5. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。
6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLockパスワードの変更

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブックコンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロックパスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[f10]キーを押します。
6. 矢印キーを使用して、変更するパスワードに対するフィールドを選択します。[Old password] (古いパスワード) フィールドに現在使用しているパスワードを入力してから、[New password] (新しいパスワード) フィールドと[Verify new password] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパスワードを入力して、[f10]キーを押します。
7. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロック パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[f10]キーを押します。
6. プロテクション フィールドを無効にして、[f10]キーを押します。
7. [Old password] (古いパスワード) フィールドにmaster passwordを入力し、[f10]キーを押します。
8. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## デバイス セキュリティ

[Computer Setup] の [Device Security] (デバイス セキュリティ) で、ほとんどのポートおよびドライブを使用禁止または部分的に使用禁止にできます。

[Computer Setup] でノートブック コンピュータの機能を無効または再び有効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. [Security] (セキュリティ設定) → [Device security] の順に選択し、装置の有効/無効を設定します。
5. 設定を確定するには、[f10]キーを押します。
6. 設定を保存するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## システム情報

システム情報の設定では、お使いのノートブック コンピュータおよびバッテリ パックについての詳細情報が表示されます。以下の項では、他のユーザがシステム情報を表示させることを防ぐ方法、および [Computer Setup] でシステム情報のオプションを設定する方法について説明します。

[システム情報] オプションでは、次の作業を行うことができます。

- ノートブック コンピュータのシリアル番号、アセット タグ (Asset Tag)、およびオーナシップ タグ (Ownership Tag) の表示または入力
- バッテリ パックのシリアル番号の表示



この情報への不正なアクセスを防ぐには、HP管理者パスワードを作成する必要があります。詳しくは、この章の [「HP管理者パスワードの設定」](#) を参照してください。

### [システム情報] オプションの設定

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup] を起動します。画面の左下隅に [F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10] キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2] キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1] キーを押します。

4. 以下の手順に従って、選択した設定値にアクセスするか、値を設定します。
  - システム情報全般を表示する場合は、[File] (ファイル) → [System Information] (システム情報) の順に選択します。
  - システム コンポーネントの識別番号を表示または入力する場合は、[Security] (セキュリティ設定) → [System ID] (システム ID) の順に選択します。
5. 情報または設定を確定するには、[f10]キーを押します。
6. 情報または設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## ウィルス対策ソフトウェア

ノートブックコンピュータで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピュータがコンピュータウィルスの危険にさらされます。コンピュータウィルスに感染すると、オペレーティングシステム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスを検出し、駆除できます。また、多くの場合、ウィルスの被害にあった箇所を修復できます。新しく発見されたウィルスからノートブックコンピュータを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを更新する必要があります。

Norton AntiVirusソフトウェアは、お使いのノートブックコンピュータにプリインストールされています。Norton AntiVirusソフトウェアの使用方法については、以下の手順で参照します。

» [スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

コンピュータウィルスについて詳しくは、以下の手順で参照します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
2. [検索]テキストフィールドに「ウィルス」と入力します。
3. [enter]キーを押します。

## ファイアウォール ソフトウェア

電子メール、ネットワーク、またはインターネットにアクセスするためにはノートブックコンピュータを使用する場合、第三者がユーザ、お使いのコンピュータ、およびデータに関する情報を取得する可能性があります。ファイアウォールは、ログおよびレポートの作成機能、自動警報装置、およびファイアウォールを構成するユーザインターフェースなどによって、コンピュータのすべての着信/送信トラフィックを監視します。プライバシを保護するため、ファイアウォールソフトウェアを使用することをお勧めします。

お使いのノートブックコンピュータでは、Windowsオペレーティングシステムのファイアウォールが利用できます。このファイアウォールについて調べるには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windowsファイアウォール]の順に選択します。
2. [全般]タブを選択します。  
□ Windowsファイアウォールについて詳しくは、[Windowsファイアウォールのその他の詳細]リンクを選択してください。

- Windowsファイアウォールを無効にするには、[無効]を選択します（お勧めしません）。
- Windowsファイアウォールを再び有効にするには、[有効]を選択します（お勧めします）。

3. [OK]を選択します。

状況によっては、ファイアウォールはインターネットゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタまたはファイルの共有を妨害したり、承認済みの形式の電子メール添付ファイルを開けなくしたりすることができます。Windowsファイアウォールを使用しており、アプリケーションがノートブックコンピュータに初めて着信接続を試みる場合は、セキュリティに関する警告が表示されます。この警告では、アプリケーションへのファイアウォールによるアクセス許可を設定できます。

- アプリケーションのノートブックコンピュータへの接続を許可する場合は、[ブロックを解除する]を選択します。（アプリケーションが[例外]タブのリストに追加され、Windowsファイアウォールによってブロックされなくなります。）
- アプリケーションを常にブロックする場合は、[ブロックする]を選択します。（Windowsファイアウォールにより、アプリケーションが接続しようとするたびにブロックされます。）
- アプリケーションを一時的にブロックする場合は、[後で確認する]を選択します。（次回アプリケーションがノートブックコンピュータに接続しようとすると、セキュリティ警告が表示されます。）

アプリケーションがファイアウォールによってブロックされないように、手動で[例外]タブのリストに追加するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windowsファイアウォール]の順に選択します。
2. [例外]タブを選択します。
3. [プログラムの追加]を選択し、アプリケーションに関する必要な情報を入力します。

4. [OK]を選択します。(アプリケーションが[例外]タブのリストに追加され、Windowsファイアウォールによってブロックされなくなります。)

オプションのファイアウォールを使用している場合に、ブロックされているアプリケーションに接続するには、以下の操作を行います。

- 一時的に問題を解決するには、ファイアウォールを無効にし、タスクを実行してから再びファイアウォールを有効にします。
- 永続的に問題を解決するには、ファイアウォールを再設定します。ファイアウォールのマニュアルを参照するか、ファイアウォールの提供元にお問い合わせください。

## Windows XPの緊急セキュリティ アップデート



**注意:**日々新しいコンピュータ ウィルスが検出されるため、Microsoft社から通知があった場合は直ちにすべての緊急アップデートをインストールすることをお勧めします。また、Windows Updateは毎月実行し、Microsoft社が提供する最新の推奨アップデートをインストールしてください。

ノートブック コンピュータが構成された後で提供が始まったアップデートは、Critical Security Updates for Windows XPディスクに収録されてコンピュータに付属していることがあります。コンピュータの使用期間中を通して、Microsoft社ではオペレーティングシステムのアップデートを行い、それらをMicrosoft社のWebサイト上で配布していきます。

Critical Security Updates for Windows XPディスクを使用してシステムをアップデートするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをドライブに挿入します。自動的にディスクのインストール アプリケーションが実行されます。
2. 画面上の指示に従って、すべてのアップデートをインストールします。インストールが完了するまで数分お待ちください。
3. ディスクを取り出します。

## スマート カード リーダーの使用

お使いのノートブック コンピュータにはスマート カード リーダーが内蔵されており、スマート カード リーダー用のドライバがプリインストールされています。ドライバをインストールするための操作は必要ありません。

スマート カード リーダーには業界標準のスマート カード（クレジットカード サイズの小さなプラスチックのカード）を使用します。スマート カードは、メモリとマイクロプロセッサが埋め込まれたマイクロチップを搭載しています。パーソナル コンピュータと同様に、スマート カードには入出力を管理するオペレーティング システムがあり、改ざんから保護するためのセキュリティ機能が組み込まれています。

マイクロチップの内容にアクセスするには、PIN（Personal Identification Number：個人識別番号）が必要です。したがって、スマート カードによって保護されているコンピュータにアクセスできるのは、正しいスマート カードを持ち、PINを知っている場合のみです。

HP ProtectToolsセキュリティマネージャを使用してスマート カードのセキュリティ機能を管理する方法については、この章の「[Smart Card Security for ProtectTools](#)」を参照してください。

## スマート カードの挿入

スマート カードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. スマート カードをスマート カードリーダーに挿入します。



2. 画面上の指示に従って、スマート カードのPINを使用してノートブック コンピュータにログオンします。

## スマート カードの取り出し

スマート カードを取り出すには、次の操作を行います。

- » スマート カードの両端をつかんで、スマート カード リーダーから引き出します。



## HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)

お使いのノートブック コンピュータにはHP ProtectToolsセキュリティ マネージャがプリインストールされており、Microsoft Windowsの【コントロール パネル】からアクセスできます。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピュータ本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するのに役立ちます。HP ProtectTools セキュリティ マネージャのアドオン モジュールには、以下のものが含まれます。

- Embedded Security for ProtectTools
- Credential Manager for ProtectTools
- BIOS Configuration for ProtectTools
- Smart Card Security for ProtectTools

ノートブック コンピュータのモデルによって、アドオン モジュールがプリインストールまたはプリロードされている場合と、HPのWebサイトからダウンロードする場合があります。詳しくは、<http://www.hp.com/jp>にアクセスしてください。

### Embedded Security for ProtectTools



Embedded Security for ProtectTools を使用するためには、オプションの内蔵セキュリティ チップが必要です。

Embedded Security for ProtectTools のセキュリティ機能を使用して、ユーザ データや証明書を不正なアクセスから保護することができます。データや証明書には、以下のものが含まれます。

- 管理者の機能（管理者パスワードのオーナシップや管理など）
- ユーザの機能（ユーザ パスワードの登録や管理など）

- 設定情報（ユーザデータを保護するための、高度なMicrosoft EFSおよびPersonal Secure Driveのセットアップを含む）
- マネジメント機能（キー階層のバックアップや復元など）
- 内蔵セキュリティ使用時にデジタル認証の操作を保護する、他社製のアプリケーション（Microsoft OutlookやInternet Explorerなど）のサポート

オプションの内蔵セキュリティチップを使用すると、HP ProtectToolsセキュリティマネージャの他のセキュリティ機能を強化したり有効にしたりできます。たとえば、Credential Manager for ProtectToolsでは、内蔵チップをWindowsへのログオン時の認証要素として使用できます。一部のモデルでは、BIOS Configuration for ProtectToolsからアクセスする高度なBIOSセキュリティ機能を、内蔵セキュリティチップを使用して有効にすることもできます。

詳しくは、Embedded Security for ProtectToolsのオンラインヘルプ、またはNotebook Documentation CDに収録されている『HP ProtectTools内蔵セキュリティガイド』を参照してください。

## Credential Manager for ProtectTools

Credential Manager for ProtectToolsでは、ノートブックコンピュータへの不正なアクセスに対するセキュリティ機能を提供します。セキュリティ機能には、以下のものが含まれます。

- Microsoft Windowsへのログオン時のパスワードに代わる、スマートカードなどの使用
- Webサイト、アプリケーション、および保護されたネットワークリソースでの証明書を自動的に記憶するシングルサインオン機能
- スマートカードおよび指紋認証機能などの、オプションのセキュリティデバイスのサポート

詳しくは、Credential Manager for ProtectToolsのオンラインヘルプを参照してください。

## BIOS Configuration for ProtectTools

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用すると、HP ProtectToolsセキュリティマネージャアプリケーション内のBIOSのセキュリティ設定にアクセスできます。これにより、システムBIOSが管理するシステムのセキュリティ機能に、より簡単にアクセスできるようになります。

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用して、次のことができます。

- 電源投入時のユーザ パスワードおよび管理者パスワードの管理
- スマート カード パスワードおよび電源投入時パスワードなどの、ブート前の認証機能の設定
- ハードウェアの機能の有効化または無効化（CD-ROMのブート機能の有効化など）
- ブート オプションおよびブート順序の設定（メイン ハード ドライブ以外の ドライブからのブートの無効化など）



BIOS Configuration for ProtectToolsの機能の多くは、[Computer Setup]でも使用できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

詳しくは、BIOS Configuration for ProtectToolsのオンライン ヘルプを参照してください。

## Smart Card Security for ProtectTools

Smart Card Security for ProtectToolsを使用して、次のことができます。

- スマートカードのオプションのセキュリティ機能へのアクセス。セキュリティの強化機能は、別売のHP ProtectToolsスマートカードおよび対応するスマートカードリーダー（HP PCカードスマートカードリーダーなど）でサポートされます。
- 別売のHP ProtectToolsスマートカードの初期化を行い、Credential Manager for ProtectToolsで使用できるようにします。
- BIOSを使用して、プリブート環境での別売のスマートカードによる認証を有効にし、管理者とユーザで別々のスマートカードを設定します。この操作を行うには、オペレーティングシステムのロードを許可する前に、スマートカードの挿入および任意のPINの入力を行う必要があります。

BIOSのセキュリティ機能について詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

- 別売のスマートカードでユーザの認証に使用するパスワードの設定および変更を行います。
- 別売のスマートカードに保存されている証明書のバックアップおよび復元を行います。

詳しくは、Smart Card Security for ProtectToolsのオンラインヘルプを参照してください。

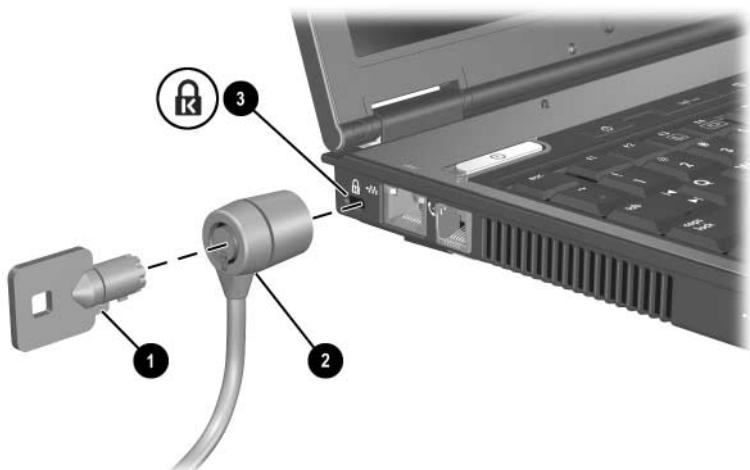
## 別売のセキュリティ ロック ケーブル



セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

セキュリティ ケーブルを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. 安定した固定物にセキュリティ ケーブルを巻き付けます。
2. 鍵①をケーブル ロック②に差し込みます。
3. ケーブル ロックをセキュリティ ロック ケーブル用スロット③に差し込み、鍵を回転させてケーブル ロックを固定します。



## [Computer Setup]

[Computer Setup]は、プリインストールされたROMベースのユーティリティで、オペレーティングシステムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。オペレーティングシステムが動作している場合は、[Computer Setup]を終了すると、オペレーティングシステムが再起動されます。



[Computer Setup]ではポインティングデバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。



[Computer Setup]では、USBレガシー サポート機能が有効な場合にのみUSB接続された外付けキーボードを使用できます。USBについて詳しくは、「[第9章 USBデバイス](#)」の「[USBデバイスの接続](#)」を参照してください。

この章の後の方にあるメニューの表に、[Computer Setup]のオプションの概要を示しています。

## [Computer Setup]へのアクセス

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Tools]（ツール）、[Advanced]（詳細設定）の4つのメニューからアクセスできます。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
  - [Computer Setup]の初期メニューに戻るには、[esc]キーを押します。
2. [File]、[Security]、[Tools]、または[Advanced]メニューを選択します。
3. 次のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
  - 設定を保存せずに終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore Changes and Exit]（設定を変更せずに終了）の順に選択してから、画面の指示に従って操作します。
  - 入力した設定を保存してから終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Save Changes and Exit]（設定を保存して終了）の順に選択してから、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## [Computer Setup]のデフォルト設定

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[File] (ファイル) →[Restore defaults] (デフォルトに設定) の順に選択します。
3. [Restore Defaults] (デフォルト設定) を選択します。
4. 復元を確定するには、[f10]キーを押します。
5. [File]→[Save Changes and Exit] (設定を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

コンピュータを再起動すると、工場出荷時の設定が復元され、ユーザが入力した識別情報は保存されます。



工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティ関連の設定は変更されません。

## [File] (ファイル) メニュー

項目	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートブック コンピュータおよびバッテリ パックについての識別情報を表示します</li> <li>■ プロセッサ、メモリ、キャッシュサイズ、ビ デオのリビジョン、キーボード コントローラ のバージョン、およびシステムROMについて の仕様情報を表示します</li> </ul>
Save to floppy (フロッピーディスクに保存)	フロッピーディスクにシステム コンフィギュレー ション設定を保存します
Restore from floppy (フロッピーディスクから復元)	フロッピーディスクからシステム コンフィギュ レーションをリストア (復元) します
Restore defaults (デフォルトに設定)	[Computer Setup] の設定を工場出荷時の設定に戻 します (識別情報は失われません)
Ignore changes and exit (設定を変更せずに終了)	今まで行った変更をキャンセルします。次に [Computer Setup] を終了し、ノートブック コン ピュータを再起動します
Save changes and exit (設定を保存して終了)	今まで行った変更を保存します。次に [Computer Setup] を終了して、ノートブック コン ピュータを再起動します。保存した変更は、コン ピュータが再起動されると有効になります

## [Security] (セキュリティ設定) メニュー

選択する項目	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	HP管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-on password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワード (Power-on password) を入力、変更、または削除します
Password options (パスワード オプション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 厳重なセキュリティを有効/無効にします</li> <li>■ 再起動時に要求されるパスワードを有効 / 無効にします</li> </ul>
DriveLock passwords (ドライブロック パスワード)	DriveLock (ドライブロック) を有効/無効にします。ドライブロックのuser password (ユーザ パスワード) またはmaster password (マスタ パスワード) を変更します   ノートブック コンピュータを再起動するのではなく、電源を入れて[Computer Setup]を開いた場合にのみ、DriveLockの設定値にアクセスできます
Smart Card Security (スマート カードセキュリティ)	ブート前のスマート カードの認証のサポートを有効/無効にします   この機能は一部のスマート カード リーダーでのみサポートされます
Embedded Security (内蔵セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内蔵セキュリティ チップを有効/無効にします</li> <li>■ 内蔵セキュリティ チップを工場出荷時設定に復元します</li> <li>■ 起動時の認証サポートを有効/無効にします</li> <li>■ 自動DriveLockを有効/無効にします</li> <li>■ 起動時の認証資格情報をリセットします</li> </ul>  [Embedded Security]の設定には、ノートブック コンピュータにセキュリティ チップが内蔵されている場合にのみアクセスできます
Device security (デバイス セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システムのデバイスを有効/無効にします</li> <li>■ マルチブートにNICを含める設定を有効にします</li> </ul>
System IDs (システムID)	ユーザ定義の識別値を入力します

## [Tools] (ツール) メニュー

項目	設定内容
HDD Self-Test options (ハードディスク セルフテスト オプション)	システム内の任意のハードドライブに自己診断テストを実行します
Battery Information (バッテリ情報)	ノートブック コンピュータに取り付けられている任意のバッテリ パックの情報を表示します
Memory Check (メモリ チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートブック コンピュータに取り付けられているメモリ モジュールの自己診断テストを実行します</li> <li>■ ノートブック コンピュータに取り付けられているメモリ モジュールの情報を表示します</li> </ul>

## [Advanced] (詳細設定) メニュー

項目	設定内容
Language (言語) (または[f2]キーを押す)	[Computer Setup] ユーティリティの使用言語を変更します
Boot options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ f10およびf12の遅延秒数を設定します</li> <li>■ MultiBoot (マルチブート) を有効/無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスとメディアの起動順序を設定します。詳しくは、このガイドの「<a href="#">録B マルチブート</a>」を参照してください</li> <li>■ ブート順序を設定します</li> </ul>
Device options (デバイス オプション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 起動時に複数の標準ポインティング デバイスを有効/無効にします (通常標準ではないポインティング デバイスを、起動時に1つだけ有効にする場合は、[Disable]を選択します)</li> <li>■ パラレル ポートのモードを、EPP (Enhanced Parallel Port) モード、標準モード、双方向モード、または ECP (Enhanced Capabilities Port) モードから選択します</li> </ul>

(続く)

項目	設定内容
Device Options (デバイス オプション) (続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ USB対応キーボード、マウス、およびハブをサポートするUSB レガシー サポート機能を有効/無効にします。このUSB レガシー サポート機能を有効にすると、次のことが可能になります           <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> Windowsオペレーティング システムがロードされなくてもUSB対応キーボード、マウス、およびハブを使用できます</li> <li><input type="checkbox"/> ブート可能なハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ内のフロッピーディスク、またはノートブック コンピュータか別売のドッキング デバイスにUSB コネクタで接続されたドライブに挿入されているCD-R、CD-RW、またはDVDからコンピュータを起動することができます</li> </ul> </li> <li>■ ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合のファンの常時使用を有効/無効にします</li> <li>■ [fn] キーと左側の [ctrl] キーの機能を入れ替えます</li> <li>■ Bluetooth および無線LAN デバイスを有効/無効にします           <ul style="list-style-type: none"> <li> ノートブック コンピュータにBluetoothまたは802.11無線デバイスが装備されている場合にのみ、Bluetoothおよび無線LAN設定にアクセスできます</li> </ul> </li> <li>■ LAN/無線LANの切り替えを有効/無効にします</li> <li>■ LANの省電力モードを有効/無効にします</li> <li>■ Intel SpeedStepを有効/無効にします</li> </ul>

## ソフトウェアの更新と修復

### ソフトウェアの更新

ノートブック コンピュータの性能を最大限に活用するために、またお使いのコンピュータを技術革新に対応させていくためには、常に最新のHP ソフトウェアをインストールしておくことをお勧めします。

HP ソフトウェアを更新するには、以下の手順で操作します。

1. 更新する前に、お使いのノートブック コンピュータの種類、シリーズ名またはファミリ名、およびモデルを確認しておきます。この章の「ノートブック コンピュータ情報へのアクセス」を参照してください。システムROMを更新する前に、お使いのコンピュータに現在インストールされているROMのバージョンを[Computer Setup] ユーティリティで確認しておきます。
2. HPのWebサイトにある更新情報にアクセスします。
3. 最新ソフトウェアをダウンロードし、インストールします。



ノートブック コンピュータのシステムROMには、BIOSが格納されています。BIOSは、コンピュータのハードウェアがオペレーティングシステムおよび外付けデバイスとやり取りする方法を決定し、日時などのコンピュータのサービスもサポートします。



お使いのノートブック コンピュータをネットワークに接続している場合は、最新のソフトウェアをインストールする前、特にシステムROMを更新する前に、ネットワーク管理者に相談してください。

## ノートブック コンピュータ情報へのアクセス

ノートブック コンピュータの更新情報にアクセスするには、以下の情報が必要です。

- 製品カテゴリは、「ノートブック コンピュータ」です。
- 製品のファミリ名およびシリーズ番号は、ディスプレイ パネルの右下隅に記載されています。
- モデル情報は、ノートブック コンピュータの裏面にあるシリアル番号のラベルに記載されています。

提供されている最新ROMに、お使いのノートブック コンピュータに現在インストールされているROMのバージョンよりも新しいものが含まれているかどうかを確認するには、現在インストールされているシステムROMのバージョンを確認する必要があります。

ROMのバージョン情報は、[Computer Setup]に表示されます。

[Computer Setup]でROMの情報を表示するには、以下の操作を行います。

- [fn]+[esc]キーを押します。

または

- 以下の手順で[Computer Setup]を起動します。
  1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
    - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
    - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
  2. [File] (ファイル) →[System Information] (システム情報) の順に選択します。(システムROMの情報が表示されます。)
  3. 設定を保存せずに[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore Changes and Exit] (設定を変更せずに終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。([Computer Setup]が終了すると、ノートブック コンピュータが再起動されます。)

## インターネット上のソフトウェア

HPのWebサイトでは、ほとんどのソフトウェアを「SoftPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。一部の最新ROMは、「ROMPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。

ほとんどのダウンロードパッケージには、Readme.txtという名前のファイルが含まれています。Readme.txtファイルには、ダウンロードについての詳しい説明と、ファイルのインストールおよび問題解決のための情報が記載されています。ROMPaqに収録されているReadme.txtファイルは、英語で提供されています。

## システムROMのダウンロード



**注意：**ノートブックコンピュータに重大な損傷を与えることなく、インストールに失敗したりしないために、ACアダプタを使用して安定した外部電源にコンピュータを接続しているときのみ、最新のROMのダウンロードおよびインストールを行ってください。コンピュータをバッテリ電源で動作させているとき、別売のドッキングデバイスに接続しているとき、または別売の電源装置を使用しているときには、ROMのダウンロードおよびインストールを行わないでください。ダウンロードおよびインストール中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コンセントからノートブックコンピュータの電源コードを抜かないでください。
- ノートブックコンピュータをシャットダウンしたり、スタンバイやハイバネーションを起動したりしないでください。
- デバイスを着脱することや、ケーブルまたはコードを接続したり取り外したりすることはお止めください。

## 最新のROMのダウンロード

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択し、お使いのノートブックコンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリ、機種、オペレーティングシステム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
4. 表示された一覧の中から、現在インストールされているシステムROMより新しいROMのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。

## 最新のROMのインストール

ダウンロードしたROMによってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される指示に従って操作します。指示が表示されない場合は、以下の手順で操作します。

1. Windowsエクスプローラを起動します。[スタート]ボタンからWindowsエクスプローラを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]の順に選択します。
2. [エクスプローラ]ウィンドウ内の左側のウィンドウで、以下の操作を行います。
  - a. [マイコンピュータ]→ハードドライブの順に選択します（ハードドライブ名は通常は[ローカルドライブ（C:）]です）。
  - b. 最新のROMが含まれているフォルダにアクセスします。
3. インストールを開始するには、以下の操作を行います。
  - a. 最新のROMが含まれているフォルダを開きます。
  - b. 拡張子が.exeのファイル（filename.exeなど）をダブルクリックします。最新のROMのインストールが開始されます。
4. 画面の説明に従って、インストールを完了します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードファイルを削除できます。

## その他のソフトウェアのダウンロード

その他のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリ、機種、オペレーティングシステム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
4. 表示された一覧の中から、現在インストールされているシステムROMより新しいROMのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。
5. ダウンロードが完了したら、Windows エクスプローラを起動し、ダウンロードしたファイルを選択して実行します。
6. インストールを完了するには、画面の指示に従って操作します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードパッケージを削除できます。

## システムの復元

ノートブック コンピュータのシステムの復元プロセスには、システムの機能を復元するためのいくつかの方法があります。Driver Recoveryディスクおよびオペレーティング システム ディスクを使用すると、個人データを失わずにコンピュータを復元または修復できます。また、オペレーティング システム ディスクを使用して、コンピュータに付属のオペレーティング システム ソフトウェアを再インストールすることもできます。



最高の結果を得るために、次の操作を順番通りに実行してノートブック コンピュータの機能を最適な状態に復元するようにしてください。

---

## データの保護

ノートブック コンピュータに追加されたソフトウェアまたはデバイスによって、システムが不安定になる場合があります。文書を保護するため、個人ファイルを[マイ ドキュメント]フォルダに保存し、定期的に[マイ ドキュメント]のバックアップ コピーを作成するようにしてください。

## Altiris Local Recovery

Altiris Local Recoveryを使用すると、コンピュータ上のファイルを複製することで、これらのファイルを保護します。複製されたファイルはスナップショットと呼ばれます。コンピュータ上のファイルが誤って削除されたり破損したりしても、簡単にファイルを復元できます。また、ファイルシステム全体を以前の状態に戻すこともできます。

Altiris Local Recoveryでは、復元用の隠しパーティションにバックアップを作成することによりファイルが保護されます。このソフトウェアをインストールすると[Recovery Agent Partition Wizard](Recovery Agentパーティション ウィザード)が表示され、画面上の説明に従って操作すると復元用パーティションを作成できます。パーティションが作成されると、ノートブック コンピュータが再起動して最初のスナップショットが作成されます。スナップショットの作成後にコンピュータが再起動し、Windows上で復元を行うためのスナップショットが作成されます。

Local Recoveryのインストール時には、スナップショットが定期的に自動作成されるよう、スケジュールがデフォルトで設定されています。スナップショットの作成スケジュールは変更できます。詳しくは、Altiris Local Recoveryのヘルプを参照してください。

スナップショットには、[Altiris Recovery Agent] フォルダからアクセスできます。デスクトップの[Altiris Recovery Agent]アイコンを右クリックして[開く]を選択します。フォルダ内のスナップショットの状態に復元するには、使用するスナップショットを選択して、そのファイルをハードドライブ上の該当する場所にドラッグします。

Altiris Local Recoveryの設定方法および使用方法について詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照するか、ソフトウェアを起動してメニューバーの[Help]（ヘルプ）を選択してください。

## [システムの復元]ポイントの使用

Windows XP オペレーティング システムで動作しているノートブック コンピュータでは、個人設定を変更するたびに、毎日[システムの復元]ポイント（ベンチマーク）が設定されます。さらに、新しいソフトウェアやデバイスを追加したときにも復元ポイントが設定されます。コンピュータが最適なパフォーマンスで機能しているとき、および新しいソフトウェアやデバイスをインストールする前に、システムの復元ポイントを定期的に設定する必要があります。これによって、問題が発生した場合に、以前の構成の復元ポイントまで戻すことができます。

システムの復元ポイントを設定するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
2. [ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]を選択します。
3. [システムの復元]を選択します。（[システムの復元]ウィンドウが開きます。）
4. [復元ポイントの作成]を選択し、画面の指示に従って操作します。

ノートブック コンピュータを正常に機能していた当時の日時に復元するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
2. [ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]を選択します。
3. [システムの復元]を選択します。（[システムの復元]ウィンドウが開きます。）
4. [コンピュータを以前の状態に復元する]を選択し、画面の指示に従って操作します。

## アプリケーションの修復または再インストール

ノートブック コンピュータにプリインストールまたはプリロードされているアプリケーションはすべて、Software Recoveryディスクを使用して修復または再インストールできます。



オペレーティング システムを再インストールしていない場合、一部のプリロードされているアプリケーション（[Software Setup]ユーティリティからインストールできるものなど）はハードドライブからも修復または再インストールできます。

アプリケーションを再インストールすると、アプリケーション内の壊れたシステム ファイルが修復されるか置き換えられ、アプリケーション内の削除されたシステム ファイルが再インストールされます。

- ほとんどの場合、修復または再インストールするアプリケーションがまだノートブック コンピュータにインストールされている状態で再インストールを実行しても、アプリケーション内の設定には影響しません。
- アプリケーションがノートブック コンピュータから削除された状態で再インストールを実行すると、そのアプリケーションまたはユーティリティは必ず工場出荷時の状態で再インストールされます。

## ハードドライブからのアプリケーションの再インストール

プリロードされているアプリケーションまたはユーティリティをハード ドライブから再インストールするには、次の操作を行います。

- » [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択し、画面の指示に従って操作します。再インストールするソフトウェアを選択するよう指示されたら、該当するチェック ボックスをオンまたはオフにします。

## オペレーティング システムの修復

個人データを失わずにオペレーティング システムの修復を実行するには、ノートブック コンピュータに付属のオペレーティング システム ディスクを使用します。

1. ACアダプタを使用してノートブック コンピュータを外部電源に接続し、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにオペレーティング システム ディスクをノートブック コンピュータに挿入します。
3. 電源ボタンを5秒間押し続けて、ノートブック コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源ボタンを押し、ノートブック コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、ディスクから起動します。(数分後に、[セットアップ]画面が表示されます)。
6. [enter]キーを押して先に進みます。([ライセンス契約]画面が表示されます。)
7. [f8]キーを押して契約書に同意し、先に進みます。([セットアップ]画面が表示されます。)
8. 選択したWindowsインストールを修復するには、[R]キーを押します。(修復プロセスが開始されます。このプロセスの実行には最大2時間程度かかります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。)

## オペレーティング システムの再インストール



**注意:** オペレーティング システムを再インストールする前に、個人データやノートブック コンピュータにインストールしたソフトウェアを保護するため、これらのデータのバックアップを作成してください。ファイルのバックアップ方法について詳しくは、Windowsのオンラインヘルプユーティリティを参照してください。



再インストール中に、プロダクトキーを入力するよう求められることがあります。プロダクトキーは、ノートブック コンピュータの裏面にある Microsoft Certificate of Authenticity ラベルに記載されています。

他の復元作業でオペレーティング システムを正しく修復できなかった場合は再インストールします。

オペレーティング システムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. ACアダプタを使用してノートブック コンピュータを外部電源に接続し、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにオペレーティング システムディスクをノートブック コンピュータに挿入します。
3. 電源ボタンを5秒間押し続けて、ノートブック コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源ボタンを押し、ノートブック コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、ディスクから起動します。(数分後に、[セットアップ]画面が表示されます)。
6. [enter]キーを押して先に進みます。([ライセンス契約]画面が表示されます。)
7. [f8]キーを押して契約書に同意し、先に進みます。([セットアップ]画面が表示されます。)
8. [esc]キーを押して、修復ではなくオペレーティング システムの新規インストールを続行します。

9. [enter]キーを押して、オペレーティング システムをセットアップします。
10. [C]キーを押し、このパーティションを使用してセットアップを続行します。
11. [NTFS ファイル システムを使用してパーティションをフォーマット (クイック)]を選択して、[enter]キーを押します。



**注意:** ドライブをフォーマットすると、現在のすべてのファイルが削除されます。

---

12. [F]キーを押して、ドライブをフォーマットします。(再インストールのプロセスが開始されます。このプロセスの実行には1~2時間程度かかります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。)



プロダクト キーの入力を求められたら、ノートブック コンピュータの裏面にあるMicrosoft Certificate of Authenticity ラベルを参照してください。

---

## デバイス ドライバとその他のソフトウェアの再インストール

オペレーティング システムのインストールプロセスが完了したら、ドライバを再インストールする必要があります。

ノートブック コンピュータに付属のDriver Recoveryディスクを使用してドライバを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. Windowsを実行している時に、Driver Recoveryディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

自動実行を有効にしていない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。次に、「D:¥SWSETUP¥APPINSTL¥SETUP.EXE」と入力します。Dはオプティカル ドライブを示します。

2. 画面の指示に従って、ドライバをインストールします。

ドライバを再インストールした後、ノートブック コンピュータに追加していたすべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。ソフトウェアに付属のインストール手順に従って操作します。

## ノートブック コンピュータの手入れ



**警告:** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、ノートブック コンピュータのキーボードに液体をかけないでください。



**注意:** ディスプレイの損傷を防ぐため、ノートブック コンピュータをキャリング ケースに入れているときでも、上に物を乗せないでください。



**注意:** 過熱を防ぐため、通気孔はふさがないでください。通気を妨げる恐れがありますので、隣にプリンタなどの表面の硬いものを設置したり、布類や絨毯などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。

お使いのノートブック コンピュータは、耐久性を備えた製品として設計されています。コンピュータのパフォーマンスを維持し、長くお使いいただくために、次のガイドラインに従ってください。

- ノートブック コンピュータを持ち運ぶときは、携帯用のキャリング ケースに保管してください。
- ノートブック コンピュータおよびキーボードに液体を垂らしたり、湿気にさらしたりしないでください。有償の修理が必要になる場合があります。
- ノートブック コンピュータを直射日光や紫外線があたる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所に長時間放置しないでください。
- ノートブック コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、内部コンポーネントを冷やすために通気孔が確保されるようにしてください。

- 1週間以上コンピュータを使用しないときは、ノートブック コンピュータの電源を切っておきます。
- 2週間以上ノートブック コンピュータを外部電源から切断しておくときは、以下の操作を行います。
  - ノートブック コンピュータをシャットダウンします。
  - バッテリ パックをすべて取り出し、涼しく乾燥した場所に保管します。

## 温度



**警告：**ユーザが健康を損なったり火傷したりする恐れがありますので、通気孔をふさいだり、長時間ひざの上でノートブック コンピュータを使用したりしないでください。お使いのコンピュータは、パフォーマンスを最大限発揮した状態で、要件の多いアプリケーションを動作させることができるように設計されています。多量の電力を消費するため、通常、長時間使用するとコンピュータ内の温度が上昇します。お使いのコンピュータは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

---

## ノートブック コンピュータ本体



**警告：**コンピュータやそのコンポーネントを清掃する場合は、感電を防ぐため、必ず電源から切り離し、周辺機器を取り外してから行ってください。

---



**警告：**コンピュータが完全に機能しなくなる恐れがありますので、ディスプレイ、キーボード、またはコンピュータ表面に液体をかけないでください。

---

## キーボード

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの下に空気を吹き付ける方法が最適です。



**注意：**キーボードが完全に機能しなくなることを防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- キーボードの清掃には、どのような液体も使用しないでください。
- 家庭で出るごみくずがキーボードの表面にかかる恐れがありますので、家庭用掃除機等でキーボードを清掃しないでください。

## ディスプレイ



**注意：**コンピュータが完全に機能しなくなる恐れがありますので、水、クリーニング液、または化学薬品をディスプレイにかけないでください。

---

汚れやほこりを取り除くため、糸くずの出ない、軽く湿らせた柔らかい布を使って定期的にディスプレイを清掃します。汚れが落ちにくい場合は、静電気防止の画面用クリーナや軽く湿らせた静電気防止の拭き取り用の布を使用します。

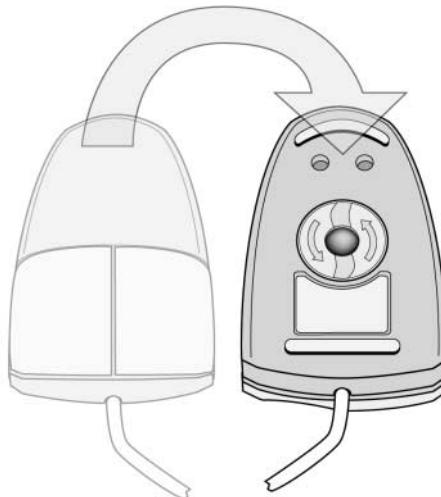
## タッチパッド

タッチパッドに脂やごみが付着していると、カーソルが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、ノートブック コンピュータを使用するときは手をよく洗い、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃します。

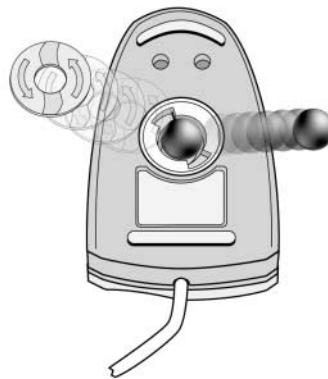
## 外付けマウスの清掃

外付けマウスを定期的に清掃しておくと、動きが非常に良くなり、マウス ポインタを最適に制御できるようになります。外付けマウスを清掃するには、以下の手順で操作します。

1. マウスを裏返し、円形の蓋を反時計回りに6 mm程度回転させて取り外します。通常、マウスの裏面には、蓋を回転させる方向を示す矢印が記されています。



2. マウスからボールを取り出して、静電気防止の拭き取り用の布や糸くずの出ない清潔な綿の布で清掃します。



3. 圧縮空気をマウスの内側に吹き付けるか、けば立たない綿棒を使って、マウスの内側のごみくずやほこりを取り除きます。



4. ボールと円形の蓋を元に戻します。

## 持ち運びおよび送付

### 持ち運びおよび送付の準備

お使いのノートブック コンピュータを持ち運んだり荷物として送った  
りする場合は、以下の準備を行います。

1. データのバックアップを作成します。
2. オプティカルディスク、デジタルカード、またはPCカードをすべて取り出します。
3. すべての外付けデバイスの電源を切り、コンピュータ本体から取り外します。
4. ノートブック コンピュータの電源を切ります。
5. 2週間以上ノートブック コンピュータを外部電力に接続しない場合は、バッテリ パックを取り外し、涼しく乾燥した場所に保管してください。
6. ノートブック コンピュータを荷物として送る場合は、購入時の梱包箱または同様の頑丈な箱にコンピュータと外付けデバイスを入れ、保護材を充分に詰めてから梱包し、「コワレモノ—取り扱い注意」などのラベルを貼付します。

## 持ち運びの際の注意

- データのバックアップ コピーの予備を1部作成して、持参してください。バックアップはノートブック コンピュータと別の場所に保管してください。
- 飛行機に乗る場合などは、ノートブック コンピュータを他の荷物と一緒に預けず、手荷物として持ち運んでください。
- ノートブック コンピュータやフロッピーディスクが磁気の影響を受けることがないように注意してください。
  - 手荷物をのせるベルト コンバア タイプの金属探知器はX線を使用しているので、ノートブック コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することはありません。
  - 歩いてくぐり抜けるタイプおよび検査員が手に持って押し当てるタイプの金属探知器は磁気を使用しているので、ノートブック コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することがあります。
- 機内でノートブック コンピュータを使用する場合は、使用できるかどうかを航空会社にあらかじめ確認してください。航空会社によっては、機内でのコンピュータの使用が制限されることがあります。
- お使いのノートブック コンピュータにGPRSマルチポートモジュールなどのGSM装置が装備されている場合は、飛行機に搭乗する前にGSM装置の電源を切り、機内でコンピュータを使用する際にも電源を切ったままにしておいてください。
- ノートブック コンピュータを持って国外へ旅行する場合は、次の情報を参照してください。
  - 滞在する国に適応した電源コードを、滞在する国のHP製品販売店で購入してください。電源コードは、各国の規格に合ったものを使う必要があります。
  -  **警告**：感電、火災、装置の損傷などを防ぐため、コンピュータを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバータは使用しないでください。
  - 滞在先の国の通関手続きを確認してください。

# A

## 仕様

### 作業環境

次の表には、ノートブック コンピュータを苛酷な環境で使用する場合に役立つ、作業環境に関する情報を記載します。

動作保証温度	
動作時（通常）	0～35°C
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	5～35°C
非動作時	-20～60°C
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～95%
最大標高（非与圧）	
動作時（14.7～10.1 psia）	-15～3,048 m
非動作時（14.7～4.4 psia）	-15～12,192 m

## 定格入力電源

ここで説明する電源の情報は、ノートブック コンピュータを国外で使用する場合に役立ちます。

ノートブック コンピュータは、AC電源またはDC電源から供給されるDC電力で動作します。コンピュータは単独のDC電源で動作しますが、コンピュータの電力供給には、HPコンピュータ用に提供されているまたは認可されているACアダプタまたはDC電源コードのみを使用することを強くお勧めします。

お使いのノートブック コンピュータは、以下の仕様のDC電力で動作できます。

---

入力電源	定格
動作電圧	18.5 V DC (3.5 A、65 Wの場合)
動作電流	3.5 A

---

## マルチブート

ブート可能なメディアまたはNIC（ネットワーク インタフェース カード）には、ノートブック コンピュータの正常な起動および動作に必要なファイルが収められています。マルチブートユーティリティ（デフォルトで無効に設定されています）を使用すると、ブート可能なデバイスを識別したり、コンピュータの起動時にそのデバイスからブートする順序を制御したりできます。

ブート可能なデバイスには、CDやDVDなどのオプティカル ドライブディスク、ブート可能なフロッピーディスク、NICなどがあります。



USBデバイスやNICなど一部のデバイスは、ブート シーケンスに含める前に[Computer Setup]で有効に設定しておく必要があります。詳しくは、この付録の [\[Computer Setup\]でのブート可能なデバイスの設定](#) を参照してください。

## デフォルトのブート シーケンス

デフォルトでは、システムにブート可能なデバイスが複数ある場合、ノートブック コンピュータは、有効なデバイスとその場所を特定の順番で検索することによって起動デバイスを選択します。

ブートのたびに、まずブート可能なA ドライブのデバイスが検索されます。検出されない場合は、ブート可能なC ドライブのデバイスが検索されます。A ドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやフロッピーディスク ドライブが含まれます。C ドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやメインハードドライブが含まれます。

メイン ハードドライブはC ドライブとしてのみブート可能です。NICにはドライブ名が割り当てられていません。



オプティカル ドライブ デバイス (CD-ROM ドライブなど) はCDの形式により、A ドライブまたはC ドライブとしてブートできます。ほとんどのブート可能なCDは、A ドライブとしてブートします。CDがC ドライブとしてブートする場合は、CDより先にフロッピーディスク ドライブがブートします。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータは、有効なデバイスまたは場所を特定の順番で検索することによって起動デバイスを選択します。

マルチブートを有効にして新しいブート シーケンス (「ブート順序」とも呼ばれます) を入力すれば、ブートするメディアまたはデバイスの検索順序を変更することができます。また、MultiBoot Expressを使用すれば、ノートブック コンピュータを起動または再起動するたびにブート場所を確認する画面が表示されるように設定することもできます。

以下に、デフォルトでドライブ番号が割り当てられる順序の一覧を示します。実際のブート シーケンスは、コンフィギュレーションによって異なります。

- A ドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブート シーケンスは次のとおりです。
  - a. A ドライブとして起動するディスクが挿入された、別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
  - b. A ドライブとして起動するディスクが挿入された、内蔵マルチベイII内のオプティカル ドライブ
  - c. 別売のドッキング デバイスまたは外付けマルチベイ内のフロッピーディスク ドライブ
- C ドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブート シーケンスは次のとおりです。
  - a. C ドライブとして起動するディスクが挿入された、別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
  - b. C ドライブとして起動するディスクが挿入された、内蔵マルチベイII内のオプティカル ドライブ
  - c. ノートブック コンピュータのメイン ハードドライブ ベイ内のハードドライブ
  - d. 別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のハードドライブ



NICにはドライブ名が関連付けられていないため、NICのブート順序を変更しても他のデバイスのドライブ名には影響しません。

## [Computer Setup]でのブート可能なデバイスの設定

デバイスがマルチブートに含まれるように指定されている場合にのみ、USBデバイスまたはNICからノートブックコンピュータを起動できます。

デバイスまたは場所をマルチブートに含めるには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. USBドライブ内または別売のドッキングデバイスに取り付けられたドライバ内のブート可能なメディアを有効にするには、矢印キーを使用して[Advanced]（詳細設定）メニュー→[Device Options]（デバイスオプション）の順に選択し、[USB legacy support]（USBレガシーサポート機能）を[Enable]（有効）に設定します。  
または  
NICを有効にするには、[Security]（セキュリティ設定）メニュー→[Device Security]（デバイスセキュリティ）の順に選択して、[Internal Network adapter boot]（内蔵ネットワークアダプタブート）を[Enable]（有効）に設定します。
3. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。



マルチブートを使用せずに起動時にPXE (Preboot eXecution Environment) サーバまたはRPL (Remote Program Load) サーバにNICを接続するには、画面の左下隅に[Network Service Boot] (ネットワーク サービス ブート) メッセージが表示されている間に、すばやく[f12]キーを押します。

## マルチブートの結果

ブート順序を変更する際には、以下の点を考慮してください。

- ブート順序を変更した後にノートブック コンピュータを再起動すると、オプティカルデバイスを除く、同じ種類の最初のデバイスのみが起動の対象になります。

たとえば、ハードドライブが取り付けられている別売のドッキングデバイス (一部のモデルのみ) がコンピュータに接続されている場合、このハードドライブは、「USBハードディスク」として[Computer Setup]のブート順序に表示されます。このドライブがブート順序内でメインハードドライブベイのハードドライブよりも前に位置していて、ドッキングステーションのドライブからブートされない場合は、メインハードドライブベイのハードドライブからではなく、ブート順序内で2番目の種類のデバイス (フロッピーディスク、オプティカルデバイス、またはNIC) からブートされます。ただし、オプティカルデバイスが2つあり、メディアが挿入されていないかブート可能でないために最初のオプティカルデバイスからブートされない場合は、2番目のオプティカルデバイスからブートされます。

- ブート順序を変更すると、論理ドライブ名も変更されます。たとえば、C ドライブとしてブートするディスクが挿入されたCD-ROM ドライブから起動する場合、このCD-ROM ドライブがC ドライブになり、ハードドライブベイ内のハードドライブがD ドライブになります。
- NICから起動しても、論理ドライブの指定には影響しません。NICにドライブ名が関連付けられていないためです。
- 別売のドッキングデバイス内のドライブのブートシーケンスは、外付けUSBデバイスのブートシーケンスと同様に扱われ、[Computer Setup]で有効にする必要があります。

## マルチブート設定

マルチブートの順序を設定する方法には、次の2種類があります。

- ノートブック コンピュータを起動するたびに使用されるデフォルトのブート シーケンスを新しく設定する

または

- MultiBoot Expressを使って可変ブート シーケンスを使用する  
この機能により、ノートブック コンピュータの起動または再起動のたびに起動デバイスの確認メッセージが表示されます。

### 新しいデフォルトのブート シーケンスの設定

起動または再起動するたびに使用されるブート シーケンスを[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Advanced] (詳細設定) メニュー→[Boot Options] (ブート オプション) の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [MultiBoot] (マルチブート) フィールドを有効にします。
4. [Boot Order] (ブート順序) フィールドで、ブート シーケンスを変更します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## MultiBoot Express画面の設定

起動または再起動するたびにマルチブートの起動場所を指定するメニューが表示されるように[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Advanced] (詳細設定) メニュー → [Boot Options] (ブートオプション) の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [Express Boot Popup Delay (Sec) ] (高速ブート ポップアップ 遅延 (秒)) フィールドで、ノートブック コンピュータが起動場所の選択メニューを表示する時間を秒単位で選択します。この秒数を超えると、マルチブートの現在の設定値がデフォルトとして使用されます(0を選択すると、Express Bootの起動場所の選択メニューは表示されません)。
4. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## MultiBoot Express設定の入力

起動時に[Express Boot]（高速ブート）メニューが表示された場合は、次の操作を行います。

- [Express Boot]メニューから起動場所を指定する場合は、指定時間内に希望の場所を選択し、[enter]キーを押します。
- 現在のマルチブートの設定値をデフォルトとして起動しないようにする場合は、指定時間内に任意のキーを押します。起動場所を選択して[enter]キーを押すまで、ノートブック コンピュータは起動されません。
- 現在のマルチブートの設定値に従ってノートブック コンピュータが起動するようにする場合は、指定時間が過ぎるまで待ちます。

## Client Management Solutions

Client Managementでは、ネットワーク環境にあるデスクトップ、ワークステーション、およびノートブックコンピュータの管理の分野で、標準のソリューションを提供しています。

Client Managementの主要な機能と特長は以下のとおりです。

- 出荷時のソフトウェアイメージの展開
- リモートシステムソフトウェアインストール
- ソフトウェアマネジメントおよびアップデート機能
- ROMの更新
- コンピュータの資産情報の管理機能およびセキュリティ機能（コンピュータの資産とは、取り付けられているハードウェアやインストールされているソフトウェアのことです）
- 一部のシステムソフトウェアおよびハードウェアコンポーネントの障害通知および復旧機能



この章で説明される機能のサポートは、ノートブックコンピュータモデルまたはインストールされているマネジメントソフトウェアのバージョンにより異なることがあります。

## 出荷時設定の変更

HPのコンピュータには、システム ソフトウェア イメージがプリインストールされています。出荷時のソフトウェア イメージは、コンピュータの初期設定を行うときに設定されます。ソフトウェアの設定手順を簡単に済ませると、すぐにコンピュータを使用できます。

以下の方法で、カスタマイズされたソフトウェア イメージを展開できます。

- プリインストールされたソフトウェアを展開した後、追加するアプリケーションをインストールする
- Altiris Deployment Solutionsなどのソフトウェアの導入用ツールを使用して、プリインストール ソフトウェアの代わりにカスタマイズされたソフトウェア イメージを使用する
- ディスク複製手順を使用して、ハードドライブの内容を別のハードディスクにコピーする

最適なコンピュータ環境の構築方法は、所属する企業の情報技術内容や作業内容によって異なります。所属する企業に最適なコンピュータ環境の構築方法について詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/solutions>（英語サイト）を参照してください。



システム リカバリ ディスク、[Computer Setup]ユーティリティ、およびその他のシステム機能により、システム ソフトウェアのリストア、コンフィギュレーションマネジメント機能、トラブルシューティング、および省電力機能を利用することができます。

---

## ソフトウェアの管理とアップデート

HPでは、クライアントPCのソフトウェアを管理し、アップデートするための以下のツールを提供しています。

- HP Client Manager Software
- Altiris PC Transplant Pro
- System Software Manager

### HP Client Manager Software

HP Client Manager Software (HP CMS) はAltirisソフトウェア内でHPのインテリジェントマネジメント機能を統合します。HP CMSは、HPのデバイスに以下のような優れたハードウェア管理機能を提供します。

- 資産管理用のハードウェア インベントリの詳細表示
- コンピュータの状態検査の監視および診断
- マシン温度についての警告、メモリ異常の警告など、企業活動における重大な状況についての、Webサイトを利用した報告
- システム ソフトウェア (デバイス ドライバやROM BIOSなど) のリモート アップデート



HP CMSを別売のAltiris Solutionsソフトウェアとともに使用すると、機能を追加できます。詳しくは、この章の「[Altiris PC Transplant Pro](#)」を参照してください。

HP Client Managerについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy> (英語サイト) を参照してください。

クライアント コンピュータにインストールされているHP Client Manager Softwareを、管理用コンピュータにインストールされているAltiris Solutionソフトウェアとともに使用すると、HP CMSから提供される管理機能が向上します。HP Client Managerでは、HPクライアントデバイスのハードウェアの中央管理機能が、以下のITライフサイクル分野に提供されます。

■ 資産管理

- ソフトウェア ライセンスの準拠
- コンピュータの管理および報告
- コンピュータのリース契約情報および固定資産の管理

■ システム ソフトウェアの展開と移行

- Windows 2000/XPへの移行
- システムの展開
- 個人設定の移行

■ ヘルプデスクと問題解決

- ヘルプデスク チケットの管理
- リモートでのトラブルシューティング
- リモートでの問題解決
- クライアントでの問題修復

■ ソフトウェアおよび操作の管理

- クライアント管理の実行
- HPシステム ソフトウェアの展開
- アプリケーションの自己修復（アプリケーションの一部の問題を検出し、修復する機能）

Altiris Solutions ソフトウェアには、使いやすいソフトウェア配布機能も含まれています。一部のデスクトップおよびノートブック コンピュータには、プリロード ソフトウェアの1つとしてAltirisマネジメント エージェントが含まれています。このエージェントにより Altiris Solutions ソフトウェアとの通信が可能になります。Altiris Solutions ソフトウェアを使用すると、簡単なウィザードに従って、新しいハードウェアの展開や新しいオペレーティング システムへの個人設定の移行を完了することができます。

Altiris Solutions ソフトウェアを System Software Manager または HP Client Manager と組み合わせて使用すると、管理者は ROM BIOS とデバイス ドライバのソフトウェアを中央管理コンソールからアップデートすることもできます。

詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

## Altiris PC Transplant Pro

Altiris PC Transplant Proを使用すると、既存の設定、ユーザ設定、およびデータを保存し、新しい環境に迅速かつ簡単に移行することができます。

詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

## System Software Manager

System Software Manager (SSM) を使用すると、複数のシステムにおいてシステム レベルのソフトウェアをリモートで同時に更新できます。クライアント コンピュータで SSM を実行すると、SSM はハードウェアとソフトウェアのバージョンを検出し、検証済みのファイル サーバから適切なソフトウェアを更新します。SSM でサポートされるドライバのバージョンは、HP のドライバのダウンロード サイトおよびサポート ソフトウェア ディスクに、独自のアイコンで示されています。ユーティリティのダウンロードまたは SSM について詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/ssm> (英語サイト) を参照してください。

# 索引

## 数字

802.11無線デバイス 11-3, 11-6, 11-8

## A

ACアダプタ 1-14, 2-3  
[Advanced]メニュー、[Computer Setup] 13-6

Altiris

  Local Recovery 14-6  
  PC Transplant Pro C-3

## B

BIOS Configuration for ProtectTools 12-29

BIOS情報、表示 12-3

BIOSバージョン 3-8

Bluetoothデバイス 11-10

Bluetoothラベル 1-16

## C

Caps Lockランプ 1-2  
CD

  「リカバリ ディスク」も参照

CD-ROM ドライブ 5-10, 5-11

Certificate of Authenticityラベル 1-16

Client Management Solutions C-1

[Computer Setup]

  [Advanced]メニュー 13-6  
  [File]メニュー 13-4  
  [Security]メニュー 13-5  
  [Tools]メニュー 13-5  
  アクセス 13-1  
  言語 13-6  
  セキュリティの設定 12-3  
  定義 13-1

デバイス 13-6

デフォルト設定 13-3

ブート オプション 13-6

ブート可能なデバイス B-4

無線機能 11-2

Credential Manager for ProtectTools

12-28

## D

DIMM

  「メモリ モジュール」を参照

DriveLock 12-12

DVD

  「リカバリ ディスク」を参照

  DVD ドライブ 5-10, 5-11

  「ハード ドライブ」も参照

  DVD の 地域 設定 4-9

## E

Embedded Security for ProtectTools 12-27

## F

[File]メニュー、[Computer Setup] 13-4

[fn]キー 1-6

## H

HP Client Manager Software C-3

HP ProtectToolsセキュリティ マネー

  ジヤ 12-27

  HP管理者パスワード 12-7

  HPパスワード 12-4

  HPパスワードに関するガイドライン 12-6

<b>I</b>	
Info Center	[Security] メニュー、[Computer Setup] 13-5
説明	3-9, 3-16
ボタンの位置	1-4
InterVideo WinDVD	4-7
InterVideo WinDVD Creator Plus	4-7
<b>L</b>	
LAN節電モード	2-31
<b>M</b>	
Microsoft Certificate of Authenticity ラベル	ラベル 1-16
Mobile Printing	11-18
<b>N</b>	
Norton AntiVirus	12-21
Num Lockランプ	1-2
<b>P</b>	
PCカード	
説明	6-1
挿入	6-2
取り出し	6-3
PCカードイジェクトボタン	1-10
PCカードスロット、位置	1-10
Presentation Mode Button、位置	1-5, 3-9, 3-11
<b>Q</b>	
Quick Launch Buttons	
位置	3-9
ソフトウェア	3-10
Quick Tile	3-15
<b>R</b>	
RJ-11コネクタ	1-10
RJ-45コネクタ	1-10
<b>S</b>	
SDカード	
説明	7-1
挿入	7-2
取り出し	7-3
SDカードスロット、位置	1-10
<b>T</b>	
[Tools] メニュー、[Computer Setup]	13-5
<b>U</b>	
USB	
説明	9-1
ソフトウェア	9-2
別売のデバイスの接続	9-2
レガシー サポート	9-2
USBポートの位置	1-9, 1-10, 9-1
<b>W</b>	
Windows	
アプリケーションキー	1-6
ロゴキー	1-6
Windows Media Player	4-7
Windows XPの緊急セキュリティ アップデート	12-23
Windowsのパスワードに関するガイドライン	12-6
Windowsファイアウォール	12-2, 12-21
Wireless Assistant	11-2
<b>あ</b>	
アプリケーション、再インストールまたは修復	1-15
アプリケーションリカバリ ディスク	1-15
アンテナ、無線	1-7
印刷、Mobile Printing	11-18
インターネットサービス プロバイダ	11-5
インターネット接続ファイアウォール	12-21
ウィルス対策ソフトウェア	12-20

エッジ モーション	3-4	左側面	1-9
オーディオ		表面	1-1
機能	4-1	右側面	1-9
スピーカ	1-7	裏面	1-12
ヘッドフォン コネクタ	1-9, 4-2	環境の仕様	A-1
オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	1-9, 4-2	完全なローバッテリ状態	2-24
オーディオ入力 (マイク) コネクタ	1-9, 4-1	画面の輝度	3-5, 3-7
オプション	13-6	キー	
オプティカル ディスク		[fn]	1-6
挿入	5-12	Windows アプリケーション	1-6
電源使用時の取り出し	5-13	Windows ロゴ	1-6
電源切断時の取り出し	5-14	テンキー	1-6
内容の表示	5-15	ファンクション	1-6, 2-3
オプティカル ドライブ	5-10, 5-11	キーボード	
オペレーティング システム	12-21	清掃	15-2
Microsoft Certificate of Authenticity		外付け	3-8
ラベル	1-16	規定情報	
再インストール	14-10	規定ラベル	1-16
修復	14-10	無線認定/認証ラベル	1-16
セキュリティ	12-1	モデル認定/認証ラベル	1-16
パスワード	12-4	緊急停止手順	2-11
プロダクト キー	1-16	空港のセキュリティ装置	5-2
オペレーティング システム、 Windows		空港のセキュリティの影響を受けるドライブ メディア	5-2
再インストールまたは修復	1-15	ケーブル、セキュリティ	1-10
オペレーティング システム リカバリ		ケーブル ロック、セキュリティ	12-31
ディスク	1-15	公共の無線LAN	11-4
温度		コネクタ	
警告	15-2	RJ-11	1-10
仕様	A-1	RJ-45	1-10
音量、調整	4-3	Sビデオ出力	1-8, 4-5
音量ボタン	1-5, 4-1	電源	1-8
か		ドッキング	1-12
拡張スロット		ヘッドフォン	1-9, 4-2
位置	8-2	マイク	1-9, 4-1
メモリ モジュールの取り付け	8-5	さ	
メモリ モジュールの取り外し	8-2	サービス タグ	1-16
各部		作業環境の仕様	A-1
前面	1-7	システムID	13-5
背面	1-8	システムROM、ダウンロード	14-3
		システム情報	
		[Computer Setup] のメニュー	13-4

表示	12-19	デバイス	13-5
システムの復元	14-6	内蔵セキュリティチップ	13-5
[システムの復元]ポイント	14-8	無線セキュリティ	11-7
湿度の仕様	A-1	セキュリティ機能	
シャットダウン手順	2-8, 2-11	[Computer Setup]	12-3
社内無線LAN	11-4	概要	12-1
周辺光センサ		セキュリティロックケーブル、接続	12-31
使用	3-13	セキュリティロックケーブル用ス	
有効化	3-7	ロット	1-10
出荷時設定の変更	C-2	前面の各部	1-7
仕様		外付けキーボード	3-8
作業環境	A-1	外付けディスプレイ	3-5
定格入力電源	A-2	外付けマウス、清掃	15-5
シリアル番号、ノートブックコン		外付けモニタポート	1-8
ピュータ	1-16	ソフトウェア	
シリアルポート	1-9	USB	9-2
自宅の無線LAN	11-5	Wireless Assistant	11-13
自動再生機能	4-9	インストール	4-8
スイッチ、ディスプレイ	1-5, 2-3	インターネット	14-3
スタンバイ	2-3	ウィルス対策	12-20
起動	2-6, 2-10, 3-5, 3-6	管理	C-3
定義	2-4	更新	14-1
ディスク再生中の防止	5-15	再インストール	14-9, 14-10
復帰	2-10	再インストールまたは修復	1-15
スピーカ	1-7, 4-2	システムROM	14-3
スマートカードリーダー		修復	14-9
位置	1-10	セキュリティ機能	12-1
使用	12-24	ダウンロード	14-5
ズームビデオPCカード	6-1	ファイアウォール	12-2, 12-21
清掃		マルチメディア	4-7
キーボード	15-2	無線	11-2, 11-7, 11-8
外付けマウス	15-5	モデム	10-6
タッチパッド	15-4	ソフトウェアのインストール	4-8
ディスプレイ	15-4	ソフトウェアの更新	14-1
製品名と製品番号、ノートブックコン		ソフトウェアの再インストール	
ピュータ	1-16	14-9, 14-10	
赤外線		ソフトウェアの再インストールまたは修復	
使用	11-16	リカバリディスク	1-15
ポートの位置	1-7	ソフトウェアのダウンロード	14-5
セキュリティ			
スマートカードのサポート	13-5		

<b>た</b>	
タッチパッド	
位置	1-3, 3-1
使用	3-2
清掃	15-4
タップ	3-4
タッチパッドのボタン	3-2
タップ、タッチパッド	3-4
著作権に関する警告	4-8
通気孔	1-10, 1-12
定格入力電源の仕様	A-2
テンキー	1-6, 3-17
テンキー、外付け	3-19
テンキー、内蔵	3-16
ディスク、オプティカル	
Driver Recovery	14-6
オペレーティングシステム	14-6
挿入	5-12
電源使用時の取り出し	5-13
電源切断時の取り出し	5-14
内容の表示	5-15
ディスプレイ	
切り替え	3-6
清掃	15-4
ディスプレイスイッチ	1-5, 2-3
ディスプレイリリースラッチ	1-7
データの保護	14-6
デジタルメモリカード	
「PCカード」、「SDカード」を参照	
デバイスオプション、[Computer Setup]	13-6
デバイスセキュリティ	12-18
デバイスの制限	12-18
デフォルトのブートシーケンス	B-1
電源	2-3
「バッテリパック」、「ハイバネーション」、「シャットダウン手順」、「スタンバイ」も参照	
ACアダプタ	1-14, 2-3
コネクタの位置	1-8
設定	2-11, 2-13, 2-14
デフォルトの設定	2-8
<b>バッテリランプ</b>	2-2
<b>電源コード</b>	1-14
<b>電源/スタンバイランプ</b>	1-1, 2-2
<b>電源ボタン</b>	1-4, 2-2
<b>[電源メーター]</b>	2-12
<b>ドッキングコネクタ</b>	1-12
<b>ドライバ、再インストールまたは修復</b>	1-15
<b>ドライバリカバリディスク</b>	1-15
<b>ドライブ</b>	
「ハードドライブ」も参照	
<b>USB</b>	5-1
<b>空港のセキュリティによる影響</b>	
<b>取り扱い上の注意</b>	5-1
<b>動作ランプ</b>	5-3
<b>ハードドライブ自己診断テスト</b>	13-5
<b>マルチベイIIオプティカルドライブ</b>	5-10, 5-11
<b>マルチベイIIハードドライブ</b>	5-8, 5-9
<b>メインハードドライブ</b>	
説明	5-3
装着	5-6
取り外し	5-4
<b>な</b>	
<b>内蔵セキュリティチップ</b>	13-5
<b>ネットワークケーブル</b>	10-6
<b>ネットワークコネクタ</b>	1-10
<b>ネットワーク、ノイズ抑制コア</b>	10-6
<b>ノイズ抑制コア</b>	
ネットワークケーブル	10-6
モデムケーブル	10-1
<b>ノートブックコンピュータの情報</b>	
環境の仕様	A-2
無線認定/認証ラベル	1-16
モデム認定/認証ラベル	1-16
<b>ノートブックコンピュータの送付</b>	
ノートブックコンピュータの手入れ	15-1

ノートブック コンピュータの電源切 断	2-6, 2-8, 2-11	保管	2-32
ノートブック コンピュータの電源投 入	2-8	ローバッテリ状態	2-24
ノートブック コンピュータの持ち運 び		バッテリ パックの処理	2-33
注意点	16-1	バッテリ パックの保管	2-32
ノートブック コンピュータを開く	1-7	バッテリ ベイ	1-16
		バッテリ ランプ	1-2, 2-2, 2-20
		バッテリ リリース ラッチ	1-13
		パーム チェック	3-4
		パスワード	
は		DriveLock	12-13
ハードウェア、その他	1-14	HP	12-4
ハードドライブ		HP管理者	12-7, 13-5
DriveLock	12-12	HPパスワードに関するガイドライ ン	12-6
自己診断テスト	13-5	Windows	12-4
ランプ	1-2	Windowsのパスワードに関するガ イドライン	12-6
ハードドライブ ベイ	1-12	組み合わせ	12-6
ハイバネーション		使用	12-4
起動	2-6, 2-9	セキュリティ	2-13
定義	2-4	電源投入時	12-9, 13-5
ディスク再生中の防止	5-15	ドライブロック	13-5
ハイバネーション ファイル	8-12	忘れた場合	12-4
復帰	2-9	左側面の各部	1-10
有効化	2-6	標高の仕様	A-1
背面の各部	1-8	表面の各部	1-1
バッテリ		ビデオ機能	4-3
充電	2-20	ファイアウォール ソフトウェア	12-21
充電源	2-20	ファンクション キー	1-6, 2-3
充電情報	2-22, 3-7	復元、システム	14-6
情報の表示	3-5	復元ポイント	14-8
節電	2-30	ブート オプション、[Computer Setup]	13-6
バッテリ パック	2-16	ブート、デフォルトのシーケンス	B-1
バッテリ パックの装着	2-18	プレゼンテーション モード	
バッテリ パックの取り出し	2-18	使用	3-11
メイン固定ラッチ	1-12	設定	3-11
メイン バッテリ パック	1-14	プロジェクト キー	1-16
メイン ベイ	1-12	ヘッドフォン コネクタ	1-9, 4-2
メイン リリース ラッチ	1-12		
バッテリ、トラベル、コネクタ	1-12		
バッテリ パック			
LAN節電モード	2-31		
完全なローバッテリ状態	2-24		
処理	2-33		
バッテリ ゲージの調整	2-26		

ベイ、バッテリ	1-16	右側面の各部	1-9
ホットキー	3-5, 3-8	ミュート ボタン	4-1
ボタン		ミュート ランプ	1-2
Info Center	1-4	無線	
PCカード ディジェクト	1-10	Bluetoothデバイス	11-10
Presentation Mode	1-5	Wireless Assistant	11-13
音量	1-5, 4-1	アンテナ	1-7
タッチパッド	1-3, 3-1	公共の無線LAN	11-4
電源	1-4, 2-2	社内無線LAN	11-4
ポインティング スティック	1-3, 3-1	自宅の無線LAN	11-5
無線	1-5, 11-2, 11-12	セキュリティ機能	11-7
ポインティング スティック		ソフトウェア	11-2, 11-7, 11-8
位置	1-3, 3-1	デバイスの種類	11-1
キヤップの交換	3-3	デバイスの電源切断	11-15
使用	3-2	デバイスの電源投入	11-14
ボタン	3-2	デバイスの無効化	11-15
ポインティング デバイス	3-1	電源状態	11-12
位置	1-3	ボタンの位置	1-5, 11-2, 11-12
タッチパッド	1-3	無線LAN接続	11-6
ポインティング スティック	1-3	無線LAN、定義	11-3
ポート		ランプ	1-1, 11-2, 11-12
USB	1-9, 9-1	ルータ (別売)	11-5
シリアル	1-9	無線LANラベル	1-16
赤外線	1-7	無線認定/認証ラベル	1-16
外付けモニタ	1-8	メインスロット	
		位置	8-7
		メモリ モジュールの取り付け	8-10
		メモリ モジュールの取り外し	8-7, 8-9
ま		メディア、ドライブ、空港のセキュリ	
マイク コネクタ	1-9, 4-1	ティによる影響	5-2
マイク、内蔵	1-9, 4-2	メモリ モジュール	
マウス		拡張スロット	8-2
設定	3-3	拡張モジュール ベイ	1-12
プロパティ	3-4	ハイバネーション ファイル	8-12
マウスの設定	3-3	メインスロット	8-7
マルチブート	B-1	メモリ チェック	13-5
マルチベイII、位置	1-9	モデル	
マルチベイIIオプティカル ドライブ		各国仕様のモデル ケーブルアダプ	
挿入	5-10	タ	10-3
取り出し	5-11	ケーブルの接続	10-2
マルチベイIIハードドライブ		コネクタの位置	1-10
挿入	5-8		
取り出し	5-9		
マルチメディア ソフトウェア	4-7		

使用国の選択	10-4	無線LAN	1-16
説明	10-1	無線認定/認証	1-16
ソフトウェア	10-6	モデム認定/認証	1-16
ノイズ抑制コア	10-1	ドライブ	
問題の解決	10-6	ランプ	1-2
モデムアダプタ	1-14	ランプ	
モデムケーブル	1-14, 10-1	Caps Lock	1-2
モデムコネクタ	1-10, 10-2	IDE ドライブ	1-2, 5-3
モデム認定/認証ラベル	1-16	Num Lock	1-2
モニタ		位置	1-1
外付け	4-6	電源/スタンバイ	1-1, 2-2
ポート	1-8	バッテリ	1-2, 2-20
		ミュート	1-2
		無線	1-1, 11-2, 11-12
<b>ら</b>			
ラベル		リカバリディスク	1-15
Bluetooth	1-16	裏面の各部	1-12
Microsoft Certificate of Authenticity	1-16	ローバッテリ状態	2-24
規定	1-16	ロック、セキュリティケーブル	12-31
サービスタグ	1-16		